ふれあい文化センター新館 図書館大規模改修工事
（建築工事）

図　面　リ　ス　ト

意　　匠

図面番号	図　面　名　称	縮　尺	図面番号	図　面　名　称	縮　尺	図面番号	図　面　名　称	縮　尺
Ａ－０	表紙、図面リスト	Ｎ．Ｓ	Ａ－１９	１階平面詳細図（1）【改修後】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００	Ａ－４８	書架・家具姿図（2）	図示
特－１	特記仕様書（1）	Ｎ．Ｓ	Ａ－２０	１階平面詳細図（2）【改修後】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００	Ａ－４９	書架・家具姿図（3）	図示
特－２	特記仕様書（2）	Ｎ．Ｓ	Ａ－２１	１階平面詳細図（3）【改修後】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００	Ａ－５０	書架・家具姿図（4）	図示
特－３	特記仕様書（3）	Ｎ．Ｓ	Ａ－２２	１階平面詳細図（4）【改修後】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００	Ａ－５１	書架・家具姿図（5）	図示
特－４	特記仕様書（4）	Ｎ．Ｓ	Ａ－２３	１階展開図（1）【現況・撤去図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００	Ａ－５２	書架・家具姿図（6）	図示
特－５	特記仕様書（5）	Ｎ．Ｓ	Ａ－２４	１階展開図（2）【現況・撤去図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００	Ａ－５３	１階サインキープラン【改修図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００
特－６	特記仕様書（6）	Ｎ．Ｓ	Ａ－２５	１階展開図（3）【現況・撤去図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００	Ａ－５４	サイン詳細図(1)	図示
特－７	特記仕様書（7）	Ｎ．Ｓ	Ａ－２６	１階展開図（4）【現況・撤去図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００	Ａ－５５	サイン詳細図(2)	図示
特－８	特記仕様書（8）	Ｎ．Ｓ	Ａ－２７	１階展開図（5）【現況・撤去図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００	Ａ－５６	サイン詳細図(3)	図示
特－９	特記仕様書（9）	Ｎ．Ｓ	Ａ－２８	１階展開図（1）【改修図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００			
特－１０	特記仕様書（１０）	Ｎ．Ｓ	Ａ－２９	１階展開図（2）【改修図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００			
Ａ－０１	付近見取図、配置図	図示	Ａ－３０	１階展開図（3）【改修図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００			
Ａ－０２	仕上表【改修前・後】	Ｎ．Ｓ	Ａ－３１	１階展開図（4）【改修図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００			
Ａ－０３	地下１階平面図【現況・撤去図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００	Ａ－３２	１階展開図（5）【改修図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００			
Ａ－０４	１階平面図【現況・撤去図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００	Ａ－３３	１階展開図（6）【改修図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００			
Ａ－０５	２階平面図【現況図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００	Ａ－３４	建具キープラン【改修図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００			
Ａ－０６	３階平面図【現況図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００	Ａ－３５	建具表（1）【現況・撤去図、改修図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００			
Ａ－０７	R階平面図【現況図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００	Ａ－３６	建具表（2）【現況・撤去図、改修図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００			
Ａ－０８	１階平面図【改修図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００	Ａ－３７	１階中庭部分詳細図【現況・撤去図】	Ａ１：１／３０ Ａ３：１／６０			
Ａ－０９	立面図(1)	Ａ１：１／３０ Ａ３：１／６０	Ａ－３８	１階中庭部分詳細図【改修図】	Ａ１：１／３０ Ａ３：１／６０			
Ａ－１０	立面図(2)	Ａ１：１／３０ Ａ３：１／６０	Ａ－３９	雑詳細図(1)	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００			
Ａ－１１	断面詳細図【現況・撤去図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００	Ａ－４０	雑詳細図(2)	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００			
Ａ－１２	断面詳細図【改修図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００	Ａ－４１	雑詳細図(3)	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００			
Ａ－１３	地下１階天井撤去・新設図【改修図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００	Ａ－４２	１階便所平面詳細図【現況・撤去図、改修図】	Ａ１：１／３０ Ａ３：１／６０			
Ａ－１４	１階天井伏図【改修図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００	Ａ－４３	１階便所展開図(1)【現況・撤去図、改修図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００			
Ａ－１５	１階平面詳細図(1)【現況撤去図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００	Ａ－４４	１階便所展開図(2)【現況・撤去図、改修図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００			
Ａ－１６	１階平面詳細図(2)【現況撤去図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００	Ａ－４５	１階家具キープラン【現況・撤去図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００			
Ａ－１７	１階平面詳細図(3)【現況撤去図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００	Ａ－４６	１階家具キープラン【改修図】	Ａ１：１／１００ Ａ３：１／２００			
Ａ－１８	１階平面詳細図(4)【現況撤去図】	Ａ１：１／５０ Ａ３：１／１００	Ａ－４７	書架・家具姿図(1)	図示			

発 注 者：春日市　経営企画部　経営企画課

設計監理：株式会社手島建築設計事務所

１級建築士登録大臣第350116号
野田　廣広

工事名称	ふれあい文化センター新館 図書館大規模改修工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図　名	表紙・図面リスト	縮尺 A1:N・S A3:N・S	意・構・電・設	令和８年　月　日			

株式会社 手島建築設計事務所
１級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号
１級建築士登録大臣第280194号　手島　誠

Ⅰ 工 事 概 要

1．工事場所　福岡県春日市大谷6-28

2．完成期限　令和○年　○月○日（○）

3．指定部分　⊙無　・有　対象部分（　　）
指定部分工期　令和　　年　　月　　日（　曜日）

4．概成工期　⊙無　・有　令和　　年　　月　　日（　曜日）　(1.2.1)[1.2.1]

5．建物概要

建物名称		ふれあい文化センター 新館 図書館			
工種		改修			
構造		RC造			
階数		3－1			
建築基準法による	建築面積(㎡)	5496.04㎡			
	延べ面積(㎡)	15465.69㎡			
消防法施行令別表第一の区分		(16) 項 イ			
改修面積（㎡）		1,562㎡			
備考					

6．工事種目
⊙ 印の付いたものが対象工事種目

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別			
⊙ 2 仮設工事	一式			
⊙ 3 防水改修工事	一式			
⊙ 4 外壁改修工事	一式			
⊙ 5 建具改修工事	一式			
⊙ 6 内装改修工事	一式			
⊙ 7 塗装改修工事	一式			
・ 8 耐震改修工事				
⊙ 9 環境配慮改修工事	一式			
・ 10 とりこわし工事				
・ 電気設備工事				
・ 機械設備工事				
・				

Ⅱ 工 事 仕 様

1．共通仕様

（1）この工事の受注者は、独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、図面120枚及び本特記仕様書10枚によるほか、下記仕様書等のうち、○印の付いたものを適用する。
⊙ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）(令和7年版)（以下「標準仕様書」という。）
⊙ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）(令和7年版)（以下「改修標準仕様書」という。）
⊙ 文部科学省建築工事標準仕様書（特記基準）(令和4年版)（以下「文科仕様書」という。）
⊙ 文部科学省建築改修工事標準仕様書（特記基準）(令和4年版)（以下「文科改修仕様書」という。）
⊙ 工事写真撮影要領（令和5年9月）
⊙ 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）
⊙ 建築工事標準詳細図（令和4年版）
・

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の特記仕様書は（特E-01,02）、
機械設備工事の特記仕様書は（特M-01,02）による。

2．特記仕様

（1）本特記仕様書の表記
1）項目は、⊙ 印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の［　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の（(　)）内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の［[　]］内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章	項目	特記事項
1 各章共通事項	⊙ 適用区分	・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・ 風圧力 風速（Vo= 34 m/s） 地表面粗度区分（・Ⅰ ・Ⅱ ⊙Ⅲ ・Ⅳ） ・ 積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（ 38 ）
	⊙ 電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者	(1.3.3～4)[1.3.3～4] この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。 1 第３種電気主任技術者以上の資格を有する者 ⊙ 2 １級電気工事施工管理技士の資格を有する者 ⊙ 3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者 ⊙ 4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者 ⊙ 5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者 ⊙ 6 第１種電気工事士の資格を有する者 ⊙ 7 ２級電気工事施工管理技士の資格を有する者 ⊙ 8 第２種電気工事士以上の資格を有する者 ⊙ 9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者 ・ 工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。
	⊙ 施工条件	この工事現場では、次の施工条件による。 (1.3.5)[1.3.5] ⊙学校行事、授業、試験等について、常に学校側と共有しながら工程管理を行うこと。作業については事前に監督職員と協議の上施工すること。 ⊙騒音、振動等授業や教育研究活動に影響を及ぼす恐れのある作業は、事前に監督職員と協議の上実施する事。 ⊙通行止め、停電、断水を伴う作業は、事前に作業計画書を提出し、監督職員の承諾を得た上で実施すること。なお、停電を伴う作業は原則休日(土・日・祝日)とし、日程は監督職員との協議により決定する。
	⊙ 発生材の処理等	(1.3.11)[1.3.12] （1）引渡しを要するもの 1）品名 引渡し先 集積場所 （2）特別管理産業廃棄物 1）品名 処理方法 （3）現場において再利用を図るもの 1）品名 使用箇所 （4）再資源化を図るもの 1）品名 ⊙建設発生土 受入場所 地域共生交流施設　敷地内 2）品名 （5）その他発生材については、標準仕様書に従い、適切に処理する。 （4）、（5）について、 1）搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。 2）日々の搬出量等をとりまとめた土砂等搬出調書を作成し、監督職員に提出する。 3）工事発注後に明らかになった事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議する。
	⊙ 環境への配慮	(1.4.1)[1.4.1] 建築物内部に使用する材料等とは、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジーｎ－ブチル及びフタル酸ジーｎ－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	⊙ 材料の品質等	(1.4.2)[1.4.2] （1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）製品名が記載された材料は、当該製品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 （3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 （4）本工事に使用する材料のうち、（5）に指定する材料の製造所等は、以下に指定する事項を満たすものとし、その証明となる資料を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ・ 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ・ 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ・ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ・ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ・ 安定的な供給が可能であること。 ・ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 （5）製造所等に関する資料の提出を求める材料

・ 材料の検査等　(1.4.4)[1.4.4]

材料名	備考

・ 石綿含有建材の調査　事前調査　[1.5.1]
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
事前調査及び分析調査は、それぞれ厚生労働大臣が定めるものが行う。
貸与資料（　　）
・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析方法 (JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	定量分析方法 (JIS A 1481-3)、(JIS A 1481-4) または (JIS A 1481-5)
	・ （箇所）	・ （箇所）
	・ （箇所）	・ （箇所）
	・ （箇所）	・ （箇所）

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取箇所
・図示による　・

⊙ 技能士　(1.5.2)[1.7.2]

適用工事種別	技能検定の種別
仮設工事	⊙ とび（とび作業）
鉄筋工事	・ 鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	・ コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業） ・ 左官（左官作業） ・ 型枠（型枠工事作業）
鉄骨工事	・ 鉄工（構造物鉄工作業） ・ とび（とび作業）
ブロック・ＡＬＣパネル工事	・ ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
防水工事	・ 防水施工（アスファルト防水工事作業） ⊙ 防水施工（ウレタンゴム系塗膜防水工事作業） ・ 防水施工（アクリルゴム系塗膜防水工事作業） ・ 防水施工（合成ゴム系シート防水工事作業） ・ 防水施工（塩化ビニル系シート防水工事作業） ・ 防水施工（セメント系防水工事作業） ⊙ 防水施工（シーリング防水工事作業） ・ 防水施工（改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業） ・ 防水施工（改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業） ・ 防水施工（ＦＲＰ防水工事作業）
石工事	⊙ 石材施工（石張り作業）
タイル工事	⊙ タイル張り（タイル張り作業）
木工事	⊙ 建築大工（大工工事作業）
屋根、とい工事	・ 建築板金（内外装板金作業）
左官工事	⊙ 左官（左官作業）
建具工事	⊙ サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ⊙ ガラス施工（ガラス工事作業）
ＰＣカーテンウォール工事	・ カーテンウォール施工（金属製カーテンウォール工事作業）
塗装工事	⊙ 塗装（建築塗装作業）
内装工事	⊙ 内装仕上げ施工（プラスチック系床仕上げ工事作業） ⊙ 内装仕上げ施工（カーペット系床仕上げ工事作業） ・ 内装仕上げ施工（木質系床仕上げ工事作業） ⊙ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） ⊙ 内装仕上げ施工（ボード仕上げ工事作業） ⊙ 表装（壁装作業）
植栽工事	・ 造園（造園工事作業）

⊙ 施工の検査等　(1.5.5)[1.7.5]
標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す施工については、監督職員の検査を受ける。

検査等を行う施工	備考
軽量鉄骨天井下地及び軽量鉄骨壁下地工事	下地が完了した段階
仕上げ塗材下地工事	下地調整が完了した段階
外壁仕上げの施工	外部足場を取り外す前の段階

・ 施工の立会い　(1.5.8)[1.7.8]
標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。

施工の立会いを行う工程	備考
・躯体ｺﾝｸﾘｰﾄの試験採取及び各種試験時	
・鉄筋の超音波探傷試験時	

⊙ 化学物質の濃度測定　(1.5.10)[1.7.10]
（1）施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。

測定対象化学物質	指針値（両単位の換算は、25℃の場合による。）
ホルムアルデヒド	100μg/m³ (0.08ppm) 以下
トルエン	260μg/m³ (0.07ppm) 以下
キシレン	200μg/m³ (0.05ppm) 以下
エチルベンゼン	3800μg/m³ (0.88ppm) 以下
スチレン	220μg/m³ (0.05ppm) 以下

（2）測定対象室及び測定箇所数は以下表による。

棟名称	階	室名	採取本数
	1～4階	療室	各 1
		交流スペース	各 1

（3）測定方法は、（・吸引方式（アクティブ法）⊙拡散方式（パッシブ法））により行う。

（4）文部科学省の「学校環境衛生基準」に基づき、採取は室内の温度が高い時期に行い、吸引方式では30分間で２回以上、拡散方式では８時間以上行う。

（5）測定結果が指針値を超えていた場合は、発生源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定し、基準値以下であることを確認してから引渡しを行う。

・ 技術検査　(1.6.2)[1.8.2]
本工事期間中に中間技術検査を、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に行う。ただし、工事内容により、これによりがたい場合は、監督職員と協議するものとする。

⊙ 完成時の提出図書　(1.7.1～3)[1.9.1～3]
次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事目的物に関し使用するための権利については、発注者に委譲する。
⊙ 完成図（施工図、施工計画書を除く。）
CADデータ（電子納品） 1 部
A3版原図 1 部
A1版原図 1 部
A3複写図（製本） 2 部
A1複写図（製本） 2 部
朱書き訂正図 1 部
⊙ 施工計画書
A4ファイル綴じ 1 部
⊙ 保全に関する資料
A4ファイル綴じ 2 部
⊙ 施工図（次に示すものを標準とし、その他必要な図、提出部数等は監督職員と協議による。）
鉄筋配筋図（納まり図含む） 一式
コンクリート躯体図 一式
鉄骨製作図 一式
カーテンウォール製作図 一式
機器製作図 一式
制御システム図 一式
試験成績書 一式
機器・配管固定の施工図 一式
⊙ 工事写真（「工事写真撮影要領」による。）
原本（電子媒体） 1 部
アルバム（紙又は電子媒体） 1 部

⊙ 完成写真
工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面 1箇所	カラー印画紙キャビネ判		4500×3000 ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
	カラー印画紙キャビネ判 Ａ４アルバム綴じ ※			
	電子データ（JPEGフル カラー・圧縮率1/4程度）	1		
	カラー木製パネル半切 (324×400mm)			
上記と異なる 外部：4箇所 内部：4箇所	カラー印画紙キャビネ判			
	カラー印画紙キャビネ判 Ａ４アルバム綴じ ※			
	電子データ（JPEGフル カラー・圧縮率1/4程度）	1		
外部：4箇所 内部：4箇所 程度	カラー印画紙キャビネ判 Ａ４アルバム綴じ		1280× 960 ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
	電子データ （JPEGフルカラー）	1		

注：※ のアルバムは併せて作成する。

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	ふれあい文化センター新館 図書館大規模改修工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図名	改修特記仕様書(1)	縮尺 A1：N・S A3：N・S	特／01 意・構・電・設	令和８年　月　日			

株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号
1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠

電子納品は次の規定に従うものとする。
1） 貸与する設計図のＣＡＤデータは以下による。
著作名：熊本高等専門学校
ファイル形式：JWWデータ　及び　DXFデータ　及び　PDFデータ
貸与条件：貸与するＣＡＤデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。
2） 完成写真の撮影に関する著作者の権利等については次のⅰ）及びⅱ）によることとし、受注者は撮影者等との契約に当たってもそれらの承諾を条件とする。
ⅰ）提出された写真は、独立行政法人国立高等専門学校機構が行う事務及び認めた用途に関して、無償で利用することができるものとする。この際、著作者名を表示しないこと及びその利用に必要な範囲で改変を行うことができるものとする。
ⅱ）受注者及び撮影者等は、撮影時に取得した全ての写真（提出していないものを含む。）及びその改変物、複製物を公表、閲覧、譲渡その他一切の方法により第三者に使用させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。
3） 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。
4） 電子成果品は、提出前に電子成果品作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。
5） 提出方法及びファイル形式は以下による。
電子媒体：ＣＤ－Ｒ又はＤＶＤ－Ｒ
ＣＡＤデータ：ＪＷＷ、ＳＸＦ、ＤＸＦ及びＰＤＦ
上記の他、監督職員が認めた形式

・ 他工事又は他工種との取合い

工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。

・ 埋設配管・配線および鉄筋調査

あと施工アンカー工事
６章および８章による

コア抜き、はつり工事等
※ 既存資料調査
・ 探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査
配管・配線等の位置の墨出を行う
範囲　※図示による　・
・ 放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
(1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
(2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
(3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
(4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
(5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
撮影枚数＿＿＿枚
フィルムサイズ＿＿＿＿＿＿＿＿
コンクリート厚さ＿＿＿ｃｍ
・ 既存躯体に穿孔する場合に、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いる。

2 仮設工事

・ 騒音・粉じん等の対策

・防音パネル　[2.1.3]
・防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
・図示による　・

⊙ 足場等　[2.2.1][表 2.2.1]

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場
⊙設置する
（設置範囲　⊙工事に必要な範囲　・図示による　・　　）
・設置しない
防護シート
⊙設置する
（設置範囲　⊙工事に必要な範囲　・図示による　・　　）
・設置しない
内部足場
⊙設置する
（※脚立、足場板等　・　　）
・設置しない
・材料、搬去材等の運搬方法
種別（・A種　・B種　・C種　⊙D種　・E種 ）
C種：利用可能なエレベーター　（・図示による　・　　）
D種：利用可能な階段　（⊙図示による　・屋外階段 ）

⊙ 既存部分の養生

養生方法等　[2.3.1]
⊙既存部分
養生方法（※ビニルシート、合板　・　　）
⊙既存家具、既存設備等
養生方法（※ビニルシート等　・　　）
⊙既存ブラインド、カーテン等
養生方法（⊙ビニルシート等　・　　）
保管場所（・図示による　・　　）
・固定された備品、机、ロッカー等の移動
・図示による　・
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

⊙ 仮設間仕切り

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　[2.3.2][表 2.3.1]
・図示による　・
仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填
・A種	・せっこうボード 種類(・　　) 厚さ(・　mm　※9.5mm) ・合板 材種(・　　) 厚さ(・　mm　※9mm) ・	・無し ・片面 ・	グラスウール 厚さ　mm
・B種			
※C種	防炎シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※木製	※合板張り程度	・無し	・　か所
・	・	・片面	・図示による

3 防水改修工事

・ 施工数量調査

調査範囲　[1.6.2、3]
・図示による　・
調査方法
・図示による　・
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による　・
調査報告書（提出部数　・2部　・　）

⊙ 降雨等に対する養生方法（とい共）

※改修標準仕様書3.1.3(5)(ｱ)～(ｳ)による　[3.1.3]
・

⊙ 改修工法の種類及び工程

[3.1.4]
防水改修工法の種類　（・　POX　）工法
シーリング改修工法の種類　（・　再充填　）工法

⊙ 既存防水の処理

既存保護層の撤去　[3.1.4][3.2.3、4、6]
・行う（範囲　・図示による　・　　）
⊙行わない
既存防水層の撤去
・行う（範囲　・図示による　・立上り　）
⊙行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・行う（・M4AS　・M4ASI　・M4C　・M4DI　・L4X）
⊙行わない

・ 既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　[3.2.6]
・図示による　・
POS工法及びPOSI工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※改修標準仕様書3.2.6(4)(ｳ)(g)①～③による
・
設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による

・ アスファルト防水

・屋根保護防水（既存）　[3.3.2～5]
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材G	絶縁用シート
・P2A	・A-1			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度 ・
	・A-2			
	・A-3			
・P1B	・B-1			
	・B-2			
・P2AⅠ	・AⅠ-1		(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き） (厚さ)(mm) ・	※フラットヤーンクロス70g/㎡程度 ・
	・AⅠ-2			
	・AⅠ-3			
・P1BⅠ	・BⅠ-1			
	・BⅠ-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
床タイル張り　※水下　60mm以上　・
立上り部の保護工法
・乾式保護材
窯業系パネルⅠ類（厚さ　　(mm)　幅　　(mm)）
・れんが押え（※JIS R 1250　・　　）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による　・

・屋根露出防水（既存）
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水G	備考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	
・M3D ・P0D	・D-1 ・D-2			・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・P0DⅠ ・M3DⅠ ・M4DⅠ	・DⅠ-1 ・DⅠ-2		改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) ・ (厚さ)(mm) ・	・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　（個）
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による　・

・屋内防水
防水層の種別

改修工法	種別	施工箇所
・P1E	・E-1	
・P2E	・E-2	

保護層　・設ける（※図示による　・　　）
・設けない
E-1のエ程3を行う部位
※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
排水溝
※図示による　・

・ 改質アスファルトシート防水

屋根露出防水（既存）　[3.4.2、3]
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水G	備考
・M4AS	・AS-T1			・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	
	・AS-T2						
	・AS-J2						
・M3AS	・AS-T3			・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・AS-T4						
	・AS-J1						
・P0AS	・AS-T3			・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・AS-T4						
	・AS-J1						
	・AS-J3						
・M3ASI ・M4ASI ・P0ASI	・ASI-T1		改修標準仕様書3.4.2(3)(ｳ) (種類) ・ (厚さ)(mm) ・	・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない
	・ASI-J1						

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上

・ 合成高分子系ルーフィングシート防水

・屋根保護防水　[3.5.2～4][表3.5.1～3]
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水G	備考
・P0S ・S4S	・S-F1			・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・S-F2			—	—	・適用する	
	・S-M1			・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する	
	・S-M2			—	—	・適用する	
・S3S	・S-F1	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・		・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-F2	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・		—	—	・適用する	
・M4S	・S-M1			・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-M2			—	—	・適用する	
・P0SI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・SⅠ-F1	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・	改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(b) (種類) ・ (厚さ)(mm) ・ 25 ・50	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・SⅠ-F2	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・				・適用する	
	・SⅠ-M1		改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(a) (種類) ・ (厚さ)(mm) ・ 25 ・50			・適用する	
	・SⅠ-M2					・適用する	

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
・軽歩行仕様
SⅠ-M1及びSⅠ-M2における防湿用フィルム
・設置する　・設置しない
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類　・
厚さ　・　mm以上
絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量　※ルーフィングシートの製造所の仕様
・　（個）
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示による　・　）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SⅠ-F1の場合）
・行う（・図示による　・　）
・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による　・

1級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

工事名称	ふれあい文化センター新館 図書館大規模改修工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図名	改修特記仕様書(2)	特／02　意・構・電・設	令和８年　月　日				
		縮尺 A1:N・S A3:N・S					

株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号
1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠

・屋内防水
防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	保護層	
			平場のモルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚
・P1S	・S-C1		・	※7mm以下 ・

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
目地割
※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度
・
目地の種類
※押し目地
・
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類 ・
厚さ ・ mm以上
絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
排水溝
※図示による ・

⊙ 塗膜防水

新設防水層の種別 [3.6.2、3]

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 G	備考
⊙FOX	※X-1 ⊙X-2 ・X-1H ・X-2H ・	屋上	・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ⊙設ける ・設けない 改修用ドレン ⊙設ける ・設けない
・L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※主材料の製造所の仕様
・
設置数量 ※主材料の製造所の仕様
・ (個)

新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない

⊙ シーリング

シーリング改修工法の種類 [3.1.4] [3.7.2、3、7、8]
・シーリング充填工法
⊙シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り
・適用する ・適用しない
エッジング材張り
・適用する ・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
打継目地	新規PU-2 20×10
誘発目地	新規PU-2 10×10

仕上げを行わない施工箇所
・図示による ・
シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
・図示による
・
接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

・ とい

といその他の材種 [3.8.2、3]
・配管用鋼管
・硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフドレン（JCM 301による）
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類 ・ ）
・

・ アルミニウム製笠木

とい受金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品（とい径100以下）
※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
足金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品
・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
多雪地域
・適用する ・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
・図示による ・
鋼管製とい の防露巻き
※改修標準仕様書表3.8.4による
・

ルーフドレンの種類及び呼び

種類		呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80 ・100 ・125 ・150	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80 ・100 ・125 ・150	
・バルコニー中継用	※ねじ込み式	・50 ・80 ・100	
	・差し込み式	・50 ・75 ・100	
・バルコニー用	※ねじ込み式	・50 ・80 ・100	
	・差し込み式	・50 ・75 ・100	

たてどい受金物の取付け
※図示による ・
ルーフドレンの取付け
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
・

種類 [3.9.2、3]
・オーブン形式（・押出250形 ・押出300形 ⊙押出350形）
・板材折曲げ形（・オーブン形式 ・シール形式）
本体幅（ ）mm 板厚（※2.0mm ・ mm）
表面処理
種別 ・
色合い等 ・次の色とする（ ） ・標準色 ・特注色
既存笠木等の撤去
・行う（範囲 ・図示による ・ ）
・行わない
下地補修の工法
※図示による ・
板材折曲げ形の笠木の取付方法
※図示による ・
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

4 外壁改修工事（共通事項）

⊙ 施工数量調査

調査範囲 [1.6.2、3]
⊙外壁改修範囲
・図示による
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による ・
調査報告書（提出部数 ・2部 ・ ）

4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

・ ひび割れ部改修工法

・ 樹脂注入工法 [4.1.4] [4.2.4~7]

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	※200～300 ・	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5 未満	・100～200 ・	・70 ・
	0.5以上～1.0 以下	・150～250 ・	・130 ・

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
※図示による ・
・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う ・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法

・充填工法 [4.1.4] [4.2.4、7]
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
・

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

⊙ ひび割れ部改修工法

⊙樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5~8]

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	※200～300 ・	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5 未満	・100～200 ・	・70 ・
	0.5以上～1.0 以下	・150～250 ・	・130 ・

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
※図示による ・
・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う ・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

⊙ 欠損部改修工法

⊙充填工法 [4.1.4] [4.3.9、10]
⊙エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
・モルタル塗替え工法
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による）
・既調合材料（ ）
既製目地材
・使用する（形状 ・図示による ・ ）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による ・

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

・ タイルの形状、寸法等

タイルの形状、寸法等 [4.4.5、8]

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐潜り性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・行う（施工箇所： ） ・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による） ・行わない

・ ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法 [4.1.4] [4.4.5、6]

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	※200～300 ・	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5 未満	・100～200 ・	・70 ・
	0.5以上～1.0 以下	・150～250 ・	・130 ・

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
・図示による ・

・ 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法 [4.1.4] [4.4.5~8]
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル （・現場調合材料 ・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書表4.4.2による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う ・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り ・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り ・モザイクタイル張り
シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

⊙ 浮き部改修工法

[4.1.4] [4.3.11~16]

工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)
⊙アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	—	—	※25 ・
⊙アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	—	—	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・充填工法	—	—	—	—	—
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
・
注入工法用材料
・ポリマーセメントスラリー
充填工法用材料
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

広がり速度(cm/s)	長さ変化量(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm²)	曲げ性能(材齢28日)(N/mm²)	吸水性(72時間)(%)	耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm²)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数 0.35~0.55
粘調係数 0.50~1.00
モルタル塗替え工法用材料
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による）
・既調合材料（ ）
既製目地材
・使用する（形状 ・図示による ・ ）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による ・

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	ふれあい文化センター新館 図書館大規模改修工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図名	改修特記仕様書(3)	特／03 意・構・電・設	令和８年 月 日				
	縮尺 A1:N・S A3:N・S	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録 福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠				

・浮き部改修工法　[4.1.4][4.4.5、9～15][4.5.9～15]

工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数（本/㎡）		注入口の箇所数（箇所/㎡）		注入量（mL/箇所）
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	―	―	※25 ・
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	―	―	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	―	―	※25 ・
・タイル部分張り替え工法	―	―	―	―	―
・タイル張り替え工法	―	―	―	―	―

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
・
・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル　（・現場調合材料　・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書4.4.2による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う　・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り　・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り　・モザイクタイル張り
シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・目地改修工法　[4.1.4][4.4.5、16]
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法
・図示による　・
シーリングは、改修特記仕様書第3章　防水改修工事による。

4-4 外壁改修工事　塗り仕上げ外壁

・既存塗膜等の除去
下地処理及び下地調整　[4.5.4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	○ひび割れ部改修工法 ○浮き部改修工法 ○欠損部改修工法
・高圧水洗工法 加圧力 ※30～50MPa程度	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
○水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ・図示による	

・下地調整塗材　[4.5.4]
※下地調整塗材
・ポリマーセメントモルタル

・仕上塗材仕上げ　新規仕上塗材の種類　[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]

・薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	調湿形	防火材料
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・	・吹付け ・ﾛｰﾗｰ塗り	・適用する	・
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・	・吹付け ・	・適用する	・
・防水形外装薄塗材E	・凹凸状 ・	・吹付け ・ﾛｰﾗｰ塗り	・適用する	・
・内装薄塗材	・砂壁状じゅらく ・	・吹付け ・	・適用する	・
・	・	・	・適用する	・

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	調湿形	上塗材	防火材料
・			・適用する	・適用する	・
・			・適用する	・適用する	・

・複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材E	・凸部処理	吹付け	樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り	・	・	・
・複層塗材RE	・凸部処理	吹付け	・	・	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り	・	・	・
・複層塗材Si	・凸部処理	吹付け	・	・	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り	・	・	・
・防水形複層塗材E	・凸部処理	吹付け	・	・	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り	・	・	・
・			・	・	・

・可とう形改修用仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・			樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
・	・	・	・	・	・

・マスチック塗材塗り　種別　[4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1]
・A種　・B種

・外壁用塗膜防水材塗り　仕上げの形状　[4.1.5][4.7.2,3][表4.7.1]
・
工法
・
仕上塗料の耐候性
・
下地挙動緩衝材の適用
・適用する
・適用しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。
吹付け工法の模様材の種類
・　（・所要量　(kg/㎡)）
外壁用仕上塗料の種類
・　（・所要量　(kg/㎡)）
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による。

5 建具改修工事

○改修工法　[5.1.3]

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
○アルミニウム製建具	○	○	○建具表による
・樹脂製建具	―	・	・建具表による
○鋼製建具 ○外部	・	・	○建具表による
○鋼製建具 ○内部	・	・	○建具表による
○鋼製軽量建具	・	・	○建具表による
○ステンレス製建具	・	・	○建具表による
○木製建具	・	・	○建具表による

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
※図示による　・
新規建具周囲の補修工法及び範囲
※図示による　・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・防火戸　・指定する　適用箇所（・建具表による　・　）[5.1.4]
・指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる　適用箇所（・建具表による　・　）
・連動させない

・見本の製作等　建具見本の製作　・行う（建具符号：　）[5.1.5]
・行わない
建具見本製作の目的等　・
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　）
・行わない

・防犯建物部品　・適用する（・建具表による　・　）[5.1.7]
・適用しない

○アルミニウム製建具　性能値等　[5.2.2～5][表 5.2.2]
耐風圧性の等級（・ S-5 ）
（建具符号　・建具表による　・　）
気密性の等級　（・ A-4 ）
（建具符号　・建具表による　・　）
水密性の等級　（・ W-5 ）
（建具符号　・建具表による　・　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　）
○B種（建具符号　・建具表による　・　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　）
枠の見込み寸法
○建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
・BB-1　・BB-2（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色　・特注色
屋内の建具
種別
・BC-1　・BC-2（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色　・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式　・排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による　・

・網戸等　[5.2.3、5.3.3]

種類	材質	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

・樹脂製建具　性能値等　[5.2.2][5.3.2～5]
耐風圧性の等級（　）
気密性の等級　（　）
水密性の等級　（　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　）
・B種（建具符号　・建具表による　・　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
枠の見込み寸法
・建具表による
・
材料
ガラス
※複層ガラス
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面色
・標準色　・特注色
工法
水切り板、ぜん板
※図示による　・

○鋼製建具　性能値等　[5.2.2][5.4.2～4][表5.4.2]
簡易気密型ドアセット
○適用する
（建具符号：○建具表による　・　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・ S-5 ）
（建具符号：・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ A-4 ）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.4.2による
・　mm　使用箇所（　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による
・

○鋼製軽量建具　性能値等　[5.2.2][5.5.2～6]
簡易気密型ドアセット
○適用する
（建具符号：・建具表による　・　）
・適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
材料
鋼板
○亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
召合わせ、縦小口包み板の材質
※鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム合金の押出形材
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.5.1による
・　mm　使用箇所（　）
標準型鋼製軽量建具の形式及びすき
※建具表による
・

○ステンレス製建具　性能値等　[5.2.2] [5.4.2] [5.6.2～5]
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号：・建具表による　・　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・　）
（建具符号：○建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL
・鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ

1級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

工事名称	ふれあい文化センター新館 図書館大規模改修工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
		特／04 意・構・電・設	令和８年　月　日				
図名	改修特記仕様書(4)	縮尺 A1:N・S A3:N・S	株式会社 手島建築設計事務所 1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠				

・ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 [5.7.2～4]
※A種 ・
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)による
・
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 G	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（・1類 ・2類）	
・天然木化粧合板 G	樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類）	
・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類 ・2類）	
・MDF G		

表面板の厚さ
※改修標準仕様書5.7.6による
・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない ・適用する
・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法
※36mm ・建具表による ・
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法
※19.5mm ・建具表による ・
・戸ぶすま
表面板の仕上 ・建具表による
見込み寸法
※30mm ・建具表による ・
・紙張り障子
見込み寸法
※30mm ・建具表による ・
枠、くつずりの材料
・建具表による ・

⊙ 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等 [5.8.1～3]
※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書5.8.2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書5.8.3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書5.8.4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※改修標準仕様書5.8.5による
・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・建具表による
・
・錠前類（レバーハンドル）
・クローザ類

⊙ 鍵

マスターキー [5.8.4]
・製作する
・製作しない
⊙既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数
※各室3本1組（室名札付き）
・
鍵箱
・無し ⊙有り

⊙ 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 [5.9.2、3]
⊙建具表による ・
・引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.1による （防錆 ⊙適用する ・適用しない）
・以下による
種類・開閉方式 （ ）
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.2による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
・引き戸用検出装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.3による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
耐電圧 （ ）
防錆 （ ）
防滴 （ ）
電源 （ ）
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目
・建具表による
・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ
・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ
・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う ・行わない

⊙ 自閉式上吊り引戸装置

性能値等 [5.10.3]
※改修標準仕様書表5.10.1による
・以下による
手動開き力 （ ）
手動閉じ力 （ ）
閉じ速度の調整 （ ）
制動区間 （ ）
開閉繰返し （ ）
耐衝撃性 （ ）

・ 重量シャッター

シャッターの種類 [5.11.2、3]
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・ 屋内用防火シャッター
・ 防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度
1章 適用区分による風圧力（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
開閉方式の種類
※電動式（手動併用）
・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置個所 ・建具表による ・）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置個所 ・建具表による ・）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
※(a)かつ(c) ・(b)かつ(c)
（設置個所 ・建具表による ・）

管理用シャッターのシャッターケース
・設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量
※Z12又はF12 ・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・

・ 軽量シャッター

開閉方式の種類 [5.12.2～4]
※手動式
・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度
1章 適用区分による風圧力（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
安全装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※AZ90 ・ ）
スラットの形状
・インターロッキング形
・オーバーラッピング形

・ オーバーヘッドドア

[5.13.2、3]

セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

（設置箇所 ・建具表による ・ ）

⊙ ガラス

・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 [3.7] [5.14.2～4]
・建具表による
・
・型板ガラスの厚さによる種類
・建具表による
・
⊙網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
⊙建具表による
⊙合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
⊙建具表による
・
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類
・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
・建具表による
・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅲ類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による
・
性能による種類
・1種 ・2種
・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による
・
断熱性による区分
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G ・S
乾燥気体の種類
・空気 ・アルゴン ・
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・
日射熱遮蔽性による区分
・1種 ・2種 ・3種
日射熱遮蔽性による区分
・1種 ・2種 ・3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性が2種の場合）
・A類 ・B類
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・
ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
樹脂製	・グレイジングガスケット ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・

耐震性能
構造体の層間変形に対する追従性
以下の構造体の層間変形角に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。
構造体の層間変形角 ・1/100
・1/200
・

・ ガラスブロック

[5.14.5]

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ(mm)	色調	目地幅（mm）	伸縮調整目地位置（mm）	防火性能
	・160×160	・95 ・				
	・200×200	・95 ・				

・ ガラス用フィルム

壁用金属枠及び補強材
※図示による ・
力骨
材質
※ステンレス鋼(SUS304)
・
寸法
※径5.5mm ・
形状
※はしご形状複筋及び単筋
・
化粧目地モルタルの色（・白 ・グレー）
シーリングの種類 （・SR-1 ・PS-1）
金属製化粧カバー
材質
・ステンレス製
・アルミニウム製
寸法
※図示による ・
形状
※図示による ・
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
・
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他性能等
・日射調整フィルム G	・SC-1	・SC-2	
・低放射フィルム	・LE		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2	
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-1	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		
・	・	・	

品質は、JIS A 5759による。

6 内装改修工事

⊙ 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
⊙図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による

⊙ 既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去 [6.2.2]
※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示による ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
⊙機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、改修標準仕様書4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※図示による ・

⊙ 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2]
※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り
（全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による）
・

⊙ 施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量 [6.5.2]
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ウ)(b)による ・

・ 製材 G

・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・

・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・B種 ・		・
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種 ・B種 ・		・
					・

・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種 ・		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種 ・		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種 ・		・

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	ふれあい文化センター新館 図書館大規模改修工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図名	改修特記仕様書(5)	特／05 意・構・電・設	令和８年 月 日				

縮尺 A1:N・S A3:N・S

株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		（　　）造作材の場合（※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・
		（　　）造作材の場合（※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・
		（　　）造作材の場合（※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・

・ 造作用集成材 G

・JAS 1152による造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等 ・2等	・
					※1等 ・2等	・
					※1等 ・2等	・

・JAS 1152による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・

・JAS 1152以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・

・JAS 1152以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・

・ 造作用単板積層材 G

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	品名	寸法（mm）	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法（mm）	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
							・

⊙ 合板等

・JAS 0233による普通合板 G [6.5.2]

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・

⊙JAS 0233による構造用合板 G

施工箇所	品名	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ（mm）	防虫処理	保存処理	強度等級	間伐材等の適用
	・	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない		・適用する（　） ・適用しない	

・JAS 0233による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	品名	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
	・			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない	

・JAS 0233による天然木化粧合板 G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・JAS 0233による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ（mm）
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法（mm）

・MDF G

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

・ 接合具等

造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品　表8.20.1のF種程度）
・　（形状：　寸法：　材質：　）

・ 接着剤

接着剤のホルムアルデヒド放散量 [6.5.3、4]
※F☆☆☆☆
・

・ 防腐・防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 [6.5.5]

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（　）
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位（　）

・ 内部開仕切軸組及び床組み

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.6]
※杉又は松
・
・床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松
・

・ 窓、出入口その他

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.7]
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
・

⊙ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 [6.6.2～4]
屋外
※25形 ・19形
屋内
※19形 ・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔
・図示による ・
周辺部の端からの間隔
・図示による ・
野縁の間隔
・図示による ・
既存の埋込みインサート
・使用する ・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所
・（　）箇所
引張試験にて確認する強度
※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
・（　）N
・行わない
補強方法等
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法 ※図示による ・ ）
・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法 ※図示による ・ ）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所 ※図示による ・ ）
（補強方法 ※図示による ・ ）
耐震性能
・軽量鉄骨天井下地(特定天井)
範囲
・図示による ・
特定天井の設計用震度及びクリアランスは以下による。
特定天井告示（平成25年国土交通省告示771号）による
特定天井の設計用震度 検証ルート（　）

室名	階	設計用水平震度(K_H)	設計用鉛直震度(K_V)	クリアランス(mm)
		・	・	・
		・	・	・
		・	・	・

⊙ 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナの種類 [6.7.3、4] [表6.7.1]
※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による ・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4(5)による
・

⊙ ビニル床シート G

[6.8.2、3]

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	⊙無地 ⊙マーブル柄 ⊙納物	※2.0 ・	

接合部の処理
※熱溶接工法 ・

・ ビニル床タイル G

[6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT(ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・3.0	
・TT(単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・FT(複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FOA(置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・FOB(薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・	・	

・ 特殊機能床材

[6.8.2]
・帯電防止床シート
種類 （　）
性能 （　）
厚さ(mm)（　）
・帯電防止床タイル
種類 （　）
性能 （　）
寸法(mm)（　）×（　）
厚さ(mm)（　）
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類 （　）
形状 （　）
・耐動荷重性床シート
種類 （　）
厚さ(mm)（　）
・防滑性床シート
種類 （　）
厚さ(mm)（　）
・防滑性床タイル
種類 （　）
寸法(mm)（　）×（　）
厚さ(mm)（　）

⊙ ビニル幅木

材質の種類 [6.8.2]
・軟質 ・硬質
高さ(mm)
※60 ・75 ・100
厚さ(mm)
※1.5以上 ・

・ ゴム床タイル

種類 [6.8.2]
・単層品 ・積層品
色柄 （　）
厚さ(mm)
・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm)（　）×（　）

⊙ カーペット敷き G

・織じゅうたん [6.9.2、3] [表6.9.1]

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット	・カットパイル
・ダブルフェースカーペット	・ループパイル
・アキスミンスターカーペット	・カット/ループパイル

色柄
※模様のない無地
・
パイル糸の繊維種等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種 ・B種 ・C種）
・
帯電性
・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号 呼び厚さ 8mm
・
・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ（mm）	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7 ・	・全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・4～6 ・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

⊙タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き
・模様流し
・
階段部分
※模様流し
・市松敷き
・
見切り、押え金物
材質（　）
種類（　）
形状等
※図示による ・

・ 合成樹脂塗床

[6.10.2、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

・ フローリング張り G

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 [6.11.2～6]
※改修標準仕様書6.11.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆ ・

・単層フローリング （フローリングボード1等）
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種
※なら ・
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	ふれあい文化センター新館 図書館大規模改修工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図名	改修特記仕様書(6)	特／06 意・構・電・設	令和８年 月 日				
	縮尺 A1:N・S A3:N・S	株式会社 手島建築設計事務所 1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠					

・単層フローリング　（フローリングブロック1等）
樹種
・
厚さ（㎜）
・
大きさ
・
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない
・複合フローリング
工法
・釘留め工法（・根太張り　・直張り　）
・接着工法
樹種
※なら　・
種別
・A種　・B種　・C種
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない

接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・
・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

・ 畳敷き

種別　[6.12.2]
・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ・KT-K・KT-N）
下地の種類
・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロンG）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳（畳表：・C1　・C2）

⊙ せっこうボード、その他のボード及び合板張り

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　[6.13.2、3]
※F☆☆☆☆　・
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)～(d)のいずれか
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
表面への化粧張り等の加工
※図示による　・

種類等	厚さ(㎜)、規格等
木質系セメント板G	
・木毛セメント板 ・硬質(HW) ・中質(MW) ・普通(NW)	※図示による　・15　・20　・25
・木片セメント板 ・硬質(HF) ・普通(NF)	※図示による　・12　・15　・18　・21　・30
繊維強化セメント板	
・けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0.8FK	※図示による　・6　・8
火山性ガラス質複層板	
・火山性ガラス質複層板 種類　※図示による　・	※図示による　・
繊維板G	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	※図示による　・3　・7　・9　・12　・
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（無処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DI） ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DE）	※図示による　・2.5　・3.5　・5　・7　・
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ（A-IB） ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による　・9　・12　・15　・18
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞG	
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板（VN） ・研磨板（VS）	※図示による　・10　・12　・15　・18　・
・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DV） ・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DO） ・塗装（DC）	※図示による　・10（難燃）　・12（難燃）　・

吸音材料

・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（DR） ・ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ・凹凸ﾀｲﾌﾟ	※図示による ・9（不燃）　・12（不燃） ・12（不燃）　・15（不燃）
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（・1号　・　）	※図示による　・25　・
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（・32K　・　）	※図示による ・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み）　・

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ

⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R）	※図示による　・9.5（準不燃） ⊙12.5（不燃）　・15（不燃）　・
⊙ｿｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-S）	※図示による ⊙12.5（・不燃　・準不燃）
⊙強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-F）	※図示による ⊙12.5（不燃）　・15（不燃）
⊙化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-D）	※図示による ・木目　12.5（不燃）幅 440㎜ 程度 模様（・柾目　・板目）　専用下地材有り ⊙トラバーチン模様　9.5（準不燃）
・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ（GB-L）	※図示による　・9.5　・
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-NC） ・化粧無し（下地張り用） ・化粧有り（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	※図示による ・9.5（不燃）

合板類

・普通合板G 表板の樹種名： 板面品質： 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・
・天然木化粧合板G 化粧板の樹種名： 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・
・特殊加工化粧合板G 化粧加工の方法 ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装　・ 表面性能 ・ 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・

天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合
※図示による　・
合板類の張付け
・A種　・B種　・
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※図示による　・継目処理工法　・突付け工法　・目透し工法
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
・ベベルエッジ　・スクェアエッジ
化粧加工の方法（・オーバーレイ　・プリント　・塗装　・　）

⊙ 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量　[6.14.2、3]
※F☆☆☆☆　・

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維	塩化ビニル	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他	防火性能	備考
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃　・難燃	

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種

・ モルタル塗り

モルタル　[6.15.3、5、6]
・現場調合材料
・既調合材料
既製目地材
・設ける
施工箇所（　）　形状（※図示による　・　）
・設けない
床の目地
・設ける
目地割り
※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）
・
目地の種類
※押し目地
・
・設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25㎜を超える場合の下地処理
・図示による　・

・ タイル張り

伸縮目地の位置　[6.16.2～4]
床タイル
※縦、横とも4m以内ごと
・図示による
・
床タイル以外
・図示による
・

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
見本焼き
・行う（施工箇所：　）　・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(㎜)	再生材料の適用G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
・既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
・既調合目地材
壁タイル張りの工法
内装タイル
・密着張り
・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り　・モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(㎜)	再生材料の適用G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

・ セルフレベリング材塗り

塗厚（㎜）　[6.17.2、3]
・

7 塗装改修工事

⊙ 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　[7.1.3]
※F☆☆☆☆　・
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　）

⊙ 下地調整

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲　[7.2.1～7]
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示による
・
既存錆止め塗料の鉛含有量調査
・行う（　箇所）
・行わない
下地調整

素地面の種類		下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	不透明塗料塗りの場合	※RB種　・	—
	透明塗料塗りの場合	・RA種　・RB種 ・RC種	—
鉄鋼面		※RB種　・	—
亜鉛めっき鋼面		※RB種　・	—
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）		※RB種　・	—
モルタル面及び、せっこうプラスター面		※RB種　・	⊙行う ・行わない
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面		※RB種　・	・行う ⊙行わない
押出成形セメント板面		・RA種　・RB種 ・RC種	・行う ⊙行わない
コンクリート面（DP）		・RB種　・RC種	⊙行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面		※RB種　・	—

・ 素地ごしらえ

(7.3.2～7)

素地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面（DP以外）		※C種　・A種　・B種
鉄鋼面（DP）		※B種　・A種　・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種　・A種
押出成形セメント板面		※B種　・A種
コンクリート面（DPのみ）		※A種　・B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	※A種　・B種
	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

・ 錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別　[7.4.2、3]

素地面	塗装の種類		錆止め塗料塗りの種別	錆止め塗料の種別
鉄鋼面	SOP（工程の種別は表7.4.3）	塗替え	※C種　・	※A種　・B種
		新規見え掛り	※A種　・	A種
		新規見え隠れ	※B種　・	A種
	EP-G（工程の種別は表7.4.3）	塗替え	※C種　・	※B種　・A種
		新規見え掛り	※A種　・	※B種　・A種
		新規見え隠れ	※B種　・	※B種　・A種
	DP（工程の種別は表7.4.4）	塗替え	※B種　・	7.4.2(1)(イ)(b)による
		新規	※A種　・	7.4.2(1)(イ)(a)による
亜鉛めっき鋼面	SOP（工程の種別は表7.4.5）	塗替え	※C種　・	※A種　・B種
		新規 鋼製建具等	※A種　・	※A種　・B種
		新規 その他	※B種 ・A種　・C種	塗りB種の場合 B種 塗りA種又はC種の場合 ※A種　・B種
	EP-G（工程の種別は表7.4.5）	塗替え	※C種　・	C種
		新規 鋼製建具等	※A種　・	C種
		新規 その他	※B種　・	C種
	DP（工程の種別は表7.4.6）	塗替え	改修標準仕様書表7.4.6による	B種
		新規	改修標準仕様書表7.4.6による	B種

⊙ 塗装

[7.5.2～7.12.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗装の種類 ※1種 ・2種	木部屋外	※B種　・	※A種　・
	木部屋内	※B種　・	※B種　・
	鉄鋼面	※B種　・	※B種　・A種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種　・	※B種　・
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※B種　・	※B種　・
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種 ・A種 （着色塗料の種類：　）	※B種 ・A種 （着色塗料の種類：　）
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	※B種　・A種
⊙耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（　）級	改修標準仕様書7.8.2による	改修標準仕様書7.8.2による
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（　）級	改修標準仕様書7.8.3による	改修標準仕様書7.8.3による
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種　・	※B種　・A種
	屋内の木部	※B種　・	※A種　・
	屋内の鉄鋼面	※B種　・	※B種　・A種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※A種　・B種	A種
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種　・	※B種　・A種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種　・	・A種　・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種　・	※B種　・A種
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種　・A種	※B種　・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
・高日射反射率塗料塗りG
下地調整（改修標準仕様書表7.2.2）
※RB種　・RA種　・RC種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量(kg/㎡)
塗料塗	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する（着色剤：・溶剤系着色剤　・油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステン塗りの工程等
・

8 耐震改修工事（共通事項）

・ 適用範囲

・改修標準仕様書　8章　耐震改修工事
・改修標準仕様書において8章耐震改修工事以外の改修工事で8章を引用している部分
・
工事内容
・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・鉄骨ブレースの設置工事
・柱補強工事　（溶接金網巻き工法又は溶接開鎖フープ巻き工法）
・柱補強工事　（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法）
・連続繊維補強工事
・耐震スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・土工事及び地業工事
・

1級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

工事名称	ふれあい文化センター新館 図書館大規模改修工事	図面番号 特/07 意・構・電・設	日付 令和８年　月　日	照査	部長	担当	製図
図名	改修特記仕様書(7)	縮尺 A1:N・S A3:N・S	株式会社 手島建築設計事務所 1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠				

8-1 共通事項

・既存部分の処理等

既存構造体の撤去 [8.21.2、3][8.22.2、3][8.23.2、3][8.24.4][8.25.2][8.28.2]
撤去範囲
・図示による（ ） ・
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
・図示による（ ） ・
既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度
・既存柱、梁面
・打継ぎ面の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を、全体にわたってつける。
・
・既存壁
・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を、全体にわたってつける。
・
既存杭の撤去等
・撤去範囲及び撤去方法 ・図示による（ ） ・
・杭頭部の処理 ・図示による（ ） ・
・既存杭の補強 ・図示による（ ） ・
・既存杭の健全性を確認する試験
・図示による（ ） ・

・鉄筋

鉄筋の種類等 [8.2.1]

種類の記号	呼び径(mm)	備考
・ SD295		
・ SD345		
・		
・		

・溶接金網

鉄線の形状等 [8.2.2]

種　類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の経(mm)	使用部位
・ 溶接金網			
・ 鉄筋格子			

・鉄筋の継手

鉄筋の継手の方法等 [8.3.4][8.4.2.3]

部位	継手方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手	
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手 ・	
その他の鉄筋（ ）	・ 重ね継手 ・	

継手位置
※改修標準仕様書8.3.3による ・図示による（ ） ・
柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ
・図示による（ ） ・
耐力壁の重ね継手の長さ
※改修標準仕様書8.3.4(3)(ｱ)による ・図示による（ ） ・

・鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ [8.3.4]
※改修標準仕様書8.3.4による ・図示による（ ） ・
機械式定着工法
・適用する
適用箇所
・図示による（ ） ・
種類
・摩擦圧接接合 ・螺合グラウト固定
・嵌合グラウト固定 ・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

・鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含む）

最小かぶり厚さ [8.3.5]
※改修標準仕様書8.3.6による ・図示による（ ） ・
・
軽量コンクリートを適用する場合
・あり 適用箇所（ ）
・最小かぶり厚さに加える厚さ （ ）mm ・
耐久性上不利な箇所がある場合（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・あり 適用箇所（ ）
・最小かぶり厚さに加える厚さ （ ）mm ・

・圧接完了後の試験

超音波探傷試験 [8.3.8]
※行う（全圧接部）

・機械式継手

適用箇所 [8.4.2]
・図示による（ ） ・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級 ・
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
全数
試験項目
・評定等の評価内容による ・
試験方法
・評定等の評価内容による ・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（ ）箇所
・全数
試験項目
※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

・溶接継手

適用箇所 [8.4.3]
・図示による（ ） ・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級
溶接継手の工法
・図示による（ ）
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
全数
試験項目
・評定等の評価内容による ・
試験方法
・評定等の評価内容による ・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（ ）箇所
・全数
試験項目
※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

・割裂補強筋

形状 [8.21.6][8.22.7]
・スパイラル筋
・
種類の記号
・SR235またはSWM-P
・
呼び径、曲げ直径、ピッチ
・図示による

8-2 コンクリート工事

・コンクリートの種類

コンクリートの類別 [8.1.3]
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

・コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等

・普通コンクリート [8.1.3][8.1.4][8.2.5][8.9.2]

設計基準強度 (N/mm²)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m³)	適用箇所
・24	・	・2.3程度	
・	・	・	

構造体強度補正値 ※改修標準仕様書表8.2.4による ・

・軽量コンクリート

設計基準強度 (N/mm²)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m³)	種類	適用箇所
・	※ 21	・	・1種 ・2種	
・	・	・		

構造体強度補正値 ※改修標準仕様書表8.2.4による ・

・セメント

種類 [8.2.5]
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種（普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする）
適用箇所（ ）
・高炉セメントB種 G 適用箇所（ ）
・フライアッシュセメントB種 G 適用箇所（ ）
・

・骨 材

アルカリシリカ反応性による区分 [8.2.5]
※A ・B

・混和材料

・混和剤 [8.2.5]
混和剤の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(a)による ・
・混和材
混和材の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(b)による ・

・構造体用モルタル

構造体用モルタル [8.2.6]
圧縮強度（ ）
フロー値（ ）

・暑中コンクリート

構造体強度補正値 [8.10.2]
※6N/mm² ・

・マスコンクリート

適用箇所 (6.13.1)(6.13.2)
・図示による（ ） ・
セメントの種類
・普通ポルトランドセメント
・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
・シリカセメント
・
混和材料
・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による ・
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による ・
スランプ
※15cm ・
構造体強度補正値 ※標準仕様書表6.13.1による ・

・無筋コンクリート

コンクリートの種類 [8.11.1]
※普通コンクリート ・
設計基準強度
※18N/mm ・
スランプ
※15cm又は18cm ・
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
適用箇所
・図示による（ ） ・

・流動化コンクリート

適用箇所 (6.15.1)
・図示による（ ） ・

・打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地

打継ぎの位置 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)[3.7.3]
・図示による（ ） ・
目地寸法
・標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による ・図示による（ ）
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法
・図示による（ ） ・

・構造体コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4]

種別	適用箇所
・ A種	
・ B種	
・ C種	

コンクリートの仕上がりの平たんさ

種別	適用箇所
・ a種	
・ b種	
・ c種	

・打増し厚さ（打放し仕上げ部）

・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) [8.7.8]
・20mm ・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm ・20mm ・

・型枠

せき板の材料及び厚さ (6.8.2)[8.2.7]
・合板（※12mm ・ ） G ・
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所
・図示による（ ） ・
・MCR工法用シート
適用箇所
・図示による（ ） ・
打増し厚さ
・20mm ・
打増し範囲
・図示による（ ） ・
スリーブの材種・規格等
・図示による（ ） ・

・型枠の加工及び組立

シアコネクタをセパレーターとして使用 [8.7.8]
使用箇所
・図示による（ ） ・

・コンクリートの打込み工法等

コンクリートの打設工法の種類 [8.21.8][8.23.5～7]

補強工法	打設工法	部位
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示による（ ）
	・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2)	・全ての増設壁 ・図示による（ ）
	・圧入工法 8.21.8(1)(ｲ),(3)	・全ての増設壁 ・図示による（ ）
	・	・図示による（ ） ・
・柱補強工事（溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法）	・工法指定なし	・全ての柱補強部分 ・図示による（ ）
	・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2)	・全ての柱補強部分 ・図示による（ ）
	・圧入工法 8.21.8(1)(ｲ),(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による（ ）
	・	・図示による（ ） ・
・	・工法指定なし	
	・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2)	
	・圧入工法 8.21.8(1)(ｲ),(3)	

鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等
柱頭及び柱脚の隙間の寸法
・図示による（ ） ・
柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠
・発泡プラスチック保温材等を埋込む
・
既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ
・図示による（ ） ・
補強後の仕上げ
・図示による（ ） ・

8-3 鉄骨工事

・鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5]
※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
（ ）グレード以上
・監督職員の承諾する工場

・鉄骨製作工場における施工管理技術者

※配置する [8.1.6]
・配置しない

・鋼材

種類等 [8.2.8]

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格
		・JISによる ・
		・JISによる ・
		・JISによる ・
		・JISによる ・
		・JISによる ・
		・JISによる ・

・高力ボルト

高力ボルトの種類 [8.2.9][8.13.2][8.14.2]
・トルシア形高力ボルト
・JIS形高力ボルト
・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による（ ） ・
摩擦面の処理方法
※改修標準仕様書8.14.2(1)による
・
すべり試験の種類
・すべり係数試験 ・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	ふれあい文化センター新館 図書館大規模改修工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図
		特／08	意・構・電・設	令和８年 月 日				
図名	改修特記仕様書(8)	縮尺 A1:N・S A3:N・S	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録一福岡県知事登録第1一11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠				

・普通ボルト
ボルト及びナットの材料 [8.13.2](7.2.3)
※標準仕様書表7.2.3による
・以下による
ボルトの規格は、JIS B 1180とする。
ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。
ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。
ナットの規格は、JIS B 1181とする。
ナットの種類は、六角ナット－Cとし、材料は鋼とする。
・
座金
※JIS B 1256による ・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による( ) ・
母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径
※ねじの呼び径+1.0mm ・

・溶融亜鉛めっき高力ボルト
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2][8.14.2][8.20.5]
・図示による( ) ・
摩擦面の処理方法
・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
・りん酸塩処理
・
・すべり試験の実施
・すべり係数試験 ・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(1)(ｱ)又は(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

・アンカーボルト
・構造用アンカーボルト (7.2.4)(7.3.2)
種類
・ABR400 ・ABR490 ・
・建方用アンカーボルト
種類
・SS400 ・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による ・
・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト
適用箇所
・図示による( ) ・
種類
・SS400 ・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による ・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による( ) ・

・溶接材料
溶接材料 [8.2.10]
・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による
・

・スタッド
種類等 [8.2.11]

呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所
・16		
・19		
・22		

・製作精度
鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による [8.13.3]
通しダイアフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(2)による
・
アンダーカットの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(3)による
・
食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・

・仮組
仮組を行う範囲 [8.13.10]
・図示による( ) ・

・溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験
試験の要領 [8.15.3]
・図示による( ) ・

・溶接接合
開先の形状 [8.15.4、7]
・図示による( ) ・
・鋼製エンドタブの切断する部分
切断する箇所
・図示による( ) ・
切断範囲
・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する
・
切断面の仕上げ
・改修標準仕様書8.15.7(1)(ｶ)(b)②による
・
スカラップの形状
・図示による( ) ・

・入熱、パス間温度の溶接条件
鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 [8.15.7、10]
・図示による( ) ・
適用箇所
・図示による( )
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

・溶接部の試験
平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 [8.15.12]
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査① ※抜き取り検査②

JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
・工場溶接の場合
※全数
・工場現場溶接の場合
※全数

・錆止め塗装
塗料の範囲 [7.3.3][8.17.2、4]
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による( ) ・
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
※改修標準仕様書8.17.2(1)(ｱ)～(ｴ)による部分以外の範囲
・図示による( ) ・
塗料の種別
・下記以外の鉄鋼面は、改修標準仕様書7章[塗装改修工事]による
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別
※A種 ・
・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別
・

・耐火被覆
種類、材料、工法等 [8.18.2～8]

種類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	_		
・耐火塗料	・		

・アンカーボルト等の設置等
構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)
・図示による( ) ・
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
・図示による( ) ・
建方用アンカーボルトの形状及び寸法
・図示による( ) ・
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種別
・A種 ・B種
柱底均しモルタル厚さ及び工法の種別
厚さ ・
・
種別
※A種 ・B種

・鉄骨ブレース設置後の仕上げ
・図示による( ) ・ [8.22.9]

8-4 あと施工アンカー工事

・あと施工アンカー
材料等 [8.2.4]
・金属系アンカー
・引張耐力
・ kN ・図示による( )
・せん断耐力
・ kN ・図示による( )
アンカー本体の径及び埋込み長さ
・図示による( ) ・
セット方式
※本体打込み式改良型 ・
接合筋の種類、径、長さ
・図示による( ) ・
・性能確認試験
試験方法及び試験数
・図示による( ) ・
・接着系アンカー
・引張耐力
・ kN ・図示による( )
・せん断耐力
・ kN ・図示による( )
アンカーの種類
※カプセル方式回転打撃式 ・
接着剤の品質
・有機系 ・無機系
アンカー筋の径及び埋込み長さ
・図示による( ) ・
アンカー筋の種類
・
アンカー筋の新設壁内への定着の長さ
・図示による( ) ・
・性能確認試験
試験方法及び試験数
・図示による( ) ・

・穿孔
埋込み配管等の探査方法 [8.12.4]
・鉄筋探知器（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
・はつり出しによる
・

・施工確認試験
試験方法 [8.12.7]
※引張試験機による引張試験
確認強度
・図示による( )
・

8-5 モルタル工事

・柱底均しモルタル
・柱底均しモルタル [8.2.12]
※無収縮モルタル
・
・グラウト材
無収縮グラウト材の材質等

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。

無収縮グラウト材の品質及び試験方法

コンシステンシー	Ｊロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 ： 8±2秒
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率 ： 2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間 ： 1時間以上 終結時間 ： 10時間以内
無収縮性	材齢 7日 収縮しない
圧縮強度	材齢 3日 20.0 N/mm²以上 材齢 28日 40.0 N/mm²以上
塩化物量	0.30kg/m³ 以下
試験方法	1) NEXCO試験方法 試験法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

8-6 連続繊維補強工事

・連続繊維シート
連続繊維の材料 [8.2.13][8.24.6]
・炭素繊維
・アラミド繊維
・
引張強度（含浸硬化後）
・( ) N/mm² ・
ヤング係数（含浸硬化後）
・( ) N/mm² ・
・下地処理
・ひび割れ部改修
範囲
・図示による( ) ・
工法の種類
・
・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ
・図示による( ) ・
連続繊維補強材の強度試験
・引張強度試験
※JIS A 1191（コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法）による
・
試験数量
・図示による( ) ・
・付着強度試験
※JIS A 6909（建築用仕上塗材）による
・
試験数量
・図示による( ) ・

・仕上げ
補強工事後の仕上げ [8.24.7]
・図示による( ) ・

8-7 耐震スリット新設工事

・耐震スリットの方式、幅及び深さ
方式 [8.25.2]
・完全 ・部分
幅及び深さ
・図示による( ) ・
設置箇所
・図示による( ) ・

・耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査
既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 [8.12.4]
・鉄筋探査機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
・はつりだしによる

・耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等
・耐火材 [8.25.2]
使用箇所及び仕様
・図示による( ) ・
・遮音材
使用箇所及び仕様
・図示による( ) ・
撤去部の補修
※撤去材と同一材で補修
・

8-8 地業及び基礎工事

・埋戻し及び盛土
材料及び工法 [8.28.3]
※改修標準仕様書表8.28.1による
・A種 適用場所( )
・B種 適用場所( )
・C種 適用場所( ) 土質( ) 受渡場所( )
・D種 適用場所( )
（D種の品質 細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。）
・材料（ ） 工法（ ） 適用場所（ ）

・杭地業
支持層の位置及び土質（基礎杭の先端位置含む） [8.2.15][8.28.4](4.3.8)
・図示による( ) ・
杭の材料、工法、寸法、施工方法等
・図示による( ) ・
・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法
・図示による( ) ・
・杭の継手の箇所数、材料、工法等
・図示による( ) ・
・杭の溶接継手
技能資格者の技量
・図示による( ) ・
溶接部の確認
・図示による( ) ・
・杭頭の処理
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による( ) ・
・杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの ・
杭の精度
水平方法の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下 ・評定等の評価内容による
・
建て込み時の杭の鉛直度
・1/100以内 ・評定等の評価内容による
・
記録する施工状況等
・図示による( ) ・

・砂利地業
材料 [8.2.15][8.28.4]
・再生クラッシャラン G
・切込砂利又は切込砕石
砂利厚さ
※60mm ・

・捨コンクリート地業
捨コンクリートの厚さ [8.2.15][8.28.4]
※50mm ・
コンクリートの種類
※普通コンクリート ・
設計基準強度
※18N/mm² ・
スランプ
※15cm又は18cm ・

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	ふれあい文化センター新館 図書館大規模改修工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図名	改修特記仕様書(9)	特／09 意・構・電・設	令和８年 月 日				
		縮尺 A1:N・S A3:N・S	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠			

9 環境配慮改修工事

・石綿含有建材の調査

1章 石綿含有建材の調査による

⊙石綿含有建材の除去工事

⊙石綿粉じん濃度測定 [9.1.1、3～6]

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数（各施工箇所ごと）
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・計　点
⊙	測定 4		セキュリティーゾーン入口	⊙計　点
⊙	測定 5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ⊙計　点
・	測定 6		処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　点
・	測定 7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計　点
⊙	測定 8	処理作業後（シート撤去後1週間以降）	処理作業室内	⊙計　点
・	測定 9		調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法

・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定 4 ・測定 5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
⊙測定 4 ⊙測定8 ⊙測定 5	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理

⊙石綿含有吹付け材の除去
- 除去対象範囲
  - ・図示による　・
- 除去工法
  - ※改修標準仕様書9.1.3（2）(ｱ)による
  - ・
- 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
  - ※湿潤化　・固形化
- 除去した石綿含有吹付け材等の処分
  - ⊙埋立処分（管理型最終処分場）
  - ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む）の除去
- 除去対象範囲
  - ・図示による　・
- 除去工法
  - ・破砕して除去　・手ばらし
- 除去した石綿含有保温材等の飛散防止
  - ※湿潤化　・固形化
- 除去した石綿含有保温材等の処分
  - ・埋立処分（管理型最終処分場）
  - ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種）の除去
- 除去対象範囲
  - ・図示による　・
- 隔離養生（負圧不要）方法
  - ・図示による　・
- 足場
  - ・図示による　・
- 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
  - ・埋立処分（安定型最終処分場）
  - ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
  - ・

⊙石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外）の除去
- 除去対象範囲
  - ・図示による　・
- 除去した石綿含有成形板の処分
  - ・石綿含有せっこうボード
    - ※埋立処分（管理型最終処分場）
  - ⊙石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
    - ⊙埋立処分（安定型最終処分場）
    - ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
- 除去対象範囲
  - ・図示による　・
- 除去工法
  - ・
- 養生方法
  - ・
- 除去した石綿含有仕上塗材の処分
  - ・埋立処分（安定型最終処分場）
  - ・埋立処分（管理型最終処分場）
  - ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事
- ・図示による　・

・断熱アスファルト防水改修工事

改修特記仕様書3章による。 [9.2.2～3]

・外断熱改修工事 G

断熱材 [9.2.1～4]
- 断熱材の種類
  - ・
- 断熱材の厚さ(mm)
  - ・
- 施工箇所
  - ・図示による　・
- ホルムアルデヒド放散量
  - ※F☆☆☆☆　・

外装材

種類	防火性能	備考
・		

鋼材
- 改修特記仕様書第8章　8-3　鉄骨工事　・鋼材による。

笠木
- 改修特記仕様書第3章　・アルミニウム製笠木による。

既存外壁の処置
- 既存外壁仕上材の撤去
  - ・行う　・行わない
- 下地面の清掃
  - ・行う　・行わない
- 欠損部の改修工法
  - ・改修特記仕様書第4章　外壁改修工事による
  - ・

工法
- 1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

不陸等の下地調整
- ・

断熱材の施工
- ・断熱材製造所の仕様による
- ・

外装材の施工
- ・外装材製造所の仕様による
- ・

通気層の有無
- ・有（　　mm）　・無

外装材の外壁への取付け
- ・図示による　・

笠木の施工
- ・改修特記仕様書第3章　アルミニウム製笠木による
- ・

⊙断熱・防露改修工事 G

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2～4]
- ※F☆☆☆☆　・

開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
- ※F☆☆☆☆　・

工法

・断熱材打込み工法
- 断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
  - 種類　・
  - 厚さ(mm)　・
  - 施工場所　・

⊙断熱材現場発泡工法
- 断熱材の種類
  - ・A種Ⅰ　・A種1H　・
- 吹付け厚さ（mm）
  - ・25　・30　・
- 施工箇所
  - ・図示による　・

・断熱材後張り工法
- 断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
  - 種類　・
  - 厚さ(mm)　・
- ・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル
  - 材質　・
  - 厚さ　・　(mm)
- ・張り付け工法
  - 断熱材の張り付け工法　・
  - 断熱材へのボードの張付け工法　・

・屋上緑化改修工事 G

植栽基盤及び材料 [9.4.2～4]
- ・屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の種類等
- ※図示による　・

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
- ※図示による　・

工法
- 1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力対応した工法

かん水装置
- ・設置する（種類　・　　）

既存保護層の撤去
- ・行う　・行わない

新植した芝及び地被類の枯補償の期間
- ※引渡しの日から1年
- ・

⊙透水性アスファルト舗装改修工事

適用範囲：歩道 [9.5.2～5、9]

既存舗装の撤去及び再利用
- ※図示による　・

路床

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示による ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂 ・	・図示による ・
・フィルター層	・砂 ・	・図示による ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）
- ・行う　・行わない

・路床安定処理
- ・適用する　⊙適用しない

安定処理の方法
- ・置き換え工法
- ・安定処理工法

路床安定処理用添加材料
- 種類
  - ・普通ポルトランドセメント
  - ・高炉セメントB種 G
  - ・フライアッシュセメントB種 G
  - ・生石灰（・特号　・1号）
  - ・消石灰（・特号　・1号）
- 添加量
  - ・　kg/m³　（目標CBR　・3以上　・　）
- 目標CBRを満足する添加量の確認方法
  - ・安定処理土のCBR試験
  - ・

・ジオテキスタイル
- 単位面積質量
  - ・60g/㎡以上　・
- 厚さ(mm)
  - ・0.5～1.0　・
- 引張強さ
  - ・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
- 透水係数
  - ・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・

試験
- 路床土の支持力比（CBR）試験
  - ⊙行う　・行わない
- 路床締固め度の試験
  - ⊙行う　・行わない
- 現場CBR試験
  - ⊙行う　・行わない

路盤
- 路盤の厚さ
  - ・図示による　・
- 路盤材料（改修標準仕様書表9.7.3による種別）
  - ・クラッシャラン
  - ・粒度調整砕石
  - ・再生クラッシャラン G
  - ・再生粒度調整砕石 G
  - ・クラッシャラン鉄鋼スラグ G
  - ・粒度調整鉄鋼スラグ G
  - ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G

舗装の構成
- ⊙図示による　・

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
- ・行う　・行わない

舗装の平たん性
- ※著しい不陸がないもの
- ・

10 とこわし工事

・騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]

・防音パネル
・防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
- ・工事に必要な範囲　・

・既存部分の養生 [2.3.1]

1）養生方法等
- ・既存部分　養生方法　（・　※ビニルシート、合板）
- ・既存家具、既存設備等　養生方法　（・　※ビニルシート等）
- ・既存ブラインド、カーテン等　養生方法　（・ビニルシート等　・　）
- 保管場所　（・図示　・　）
- ・固定された備品、机、ロッカー等の移動　（・図示　・　）

2）既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

・仮設間仕切り [2.3.2][表 2.3.1]

1）仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　・図示　・

2）仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填
・A種 ・B種	・せっこうボード 種類(・　) 厚さ(・　mm　※ 9.5mm) ・合板 材種(・　) 厚さ(・　mm　※ 9mm) ・	・なし ・片面 ・	グラスウール 厚さ　(mm)
※C種	防炎シート		

3）仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
・	・	・なし ・片面	・　か所 ・図示
※木製	※合板張り程度		

・施工条件

解体に関しては「騒音規制法」、「振動規制法」、「大気汚染防止法」の法令等に従うほか、公害防止に適切な工法及び養生方法により作業を行う。
また、作業中に発生する粉じんについては、散水その他適切な養生を行い、粉じん防止に努める。

・解体方法

主として用いる工法
- ・圧砕工法
- ・大型ブレーカー工法
- ・ハンドブレーカー工法

使用してはならない解体工法
- ・爆薬工法
- ・スチールボール工法

1級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

工事名称	ふれあい文化センター新館 図書館大規模改修工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
		特／10 意・構・電・設	令和８年　月　日				
図名	改修特記仕様書(10)	縮尺 A1:N・S A3:N・S	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠			

外部仕上げ　施工会社に確認中

■ふれあい文化センター【改修前】		■ふれあい文化センター【改修後】	
屋　上	(平場)ｱｽﾌｧﾙﾄ防水の上、軽量コンクリート@60　ﾓﾙﾀﾙｺﾃ仕上　目地切@2,000 (立上り)均しﾓﾙﾀﾙ t 15　伸縮目地 t 20　ｱｽﾌｧﾙﾄ充填@2,000内外	屋　上	(平場)軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ下地調整(C-2)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-1)、既設目地材撤去の上、ﾓﾙﾀﾙ充填W=25 (立上り)保護ﾓﾙﾀﾙ+既存ｱｽﾌｧﾙﾄ防水撤去の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)【新設】
屋根(屋外階段・ＰＨ)	(平場)ｺﾝｸﾘｰﾄｺﾃ仕上の上、露出ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　(増築部平場)塩ビ樹脂系シート防水 (立上り)均しﾓﾙﾀﾙ t 15　(増築部立上り)塩ビ樹脂系シート防水	屋根(屋外階段・ＰＨ)	(平場)既存防水撤去の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)【新設】　(増築部平場)既存のまま (立上り)既存防水撤去の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)【新設】　(増築部立上り)既存のまま
外　壁	磁器質タイル（テッセラ）	外　壁	下地調整材(C-2)新設の上、複層塗材RE
と　い	VP 100φ SOP塗装	と　い	下地調整後、SOP塗装更新
軒　裏	外装薄塗材E	庇等軒裏	下地調整材(C-2)新設の上、外装薄塗材E
巾　木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(A種)	巾　木	下地調整材(C-2)の上、自閉塗膜防水
鋼製建具(外部)	ステンレス製建具、鋼製建具、ｱﾙﾐ建具	鋼製建具(外部)	ステンレス製建具【既存のまま】、鋼製建具：下地調整(RB種)の上、SOP塗装 ｱﾙﾐ建具：既存ガラス撤去の上、複層ガラス(真空ガラス)
		屋外階段	階段詳細図参照
外構	アスファルト舗装、植栽、屋外排水管、駐輪場	外構	既存アスファルト舗装、駐輪場撤去の上、駐輪場新設 透水性アスファルト舗装新設、インターロッキングブロック舗装新設

■略 号

項目	表示略号	表示事項
塗料・仕上塗材	SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗
	EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗
	EP-G	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗
	DP	対候性塗料塗
	複層塗材RE	反応硬化形合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系複層仕上塗材
	外装薄塗材E	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け仕上塗材
ボード類	GB-R	石膏ボード
	GB-D	化粧石膏ボード
	GB-S	耐水石膏ボード
	GB-F	強化石膏ボード
	SB	ケイ酸カルシウム板
	RB	ロックウールボード
その他	VS	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ
	VC	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ
	RCコテ	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ごて
	RC補修	ｺﾝｸﾘｰﾄ補修下地

■防火認定材料

項目	材　料　名	認定番号
不燃材料	石膏ボード t 12.5	NM-8619
	不燃積層化粧石膏ボード t 9.5	NM-0441
	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板	NM-8599
	グラスウール保温材、吸音材	NM-8605
	化粧0.8ケイ酸カルシウム板	NM-8579
	ﾛｯｸｳｰﾙ保温材	NM-8600
	化粧石膏ボード t 9.5	NM-1864
準不燃材料	石膏ボード t 9.5	QM-9828
	耐水石膏ボード t 9.5、t 12.5	QM-0898

■特記事項

仕上材
- VSは溶接工法とする。
- 居室の内装、天井裏、木製建具、造り付け家具等、及びそれらに使用する接着材はF☆☆☆☆（規制対象外）
  又は告示対象外の建材を使用する。
- 床仕上げ材の異なる部分の見切りにはSUS FB-6×19を設ける。
- 塗装下地で異種材料取合部は寒冷紗貼の上、パテ処理を行う。
- 特記なき限り、外壁面の下地処理は高圧水洗浄(10～15MPa)とし、範囲は全面(外壁、柱型、梁型、小木など)とする。
- 鉄工面、内部ﾓﾙﾀﾙ面、コンクリート面の下地処理はRB種とする。但し内部壁ﾓﾙﾀﾙ面はRA種とする。
- 床面の下地処理は、公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)６．２．２を適用する。

■ふれあい文化センター　内部仕上げ表【改修前】

階	室　名	床仕上高	床		巾木		壁			天　井			廻縁	高さ	備　考
		床躯体高	下地	仕　上	仕　上	高さ	下地	仕　上		下地	仕　上				
1階	風除室3	±0	ﾓﾙﾀﾙ	200角割肌ﾀｲﾙ	–	–	ﾓﾙﾀﾙ	100角割肌タイル	–	LGS	GB-R t 9.0+RB t 9.0【撤去】	EP-G	塩ビ	2,600	ブックポスト受け口
		-50		【既存のまま】				【既存のまま】		–	ｱﾙﾐﾙｰﾊﾞｰ【既存のまま】	–		3,200	【既存のまま】
	ブックポスト室	±0	RCコテ	VS t 2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木	75	RC	–	EP-G	LGS	GB-F t 9.0+RB t 9.0	EP-G	塩ビ	2,400	ブックポスト
		-10		【既存のまま】	【既存のまま】		LGS	GB-R t 12【既存のまま】			【撤去】				
	事務室	±0	RCコテ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t 7.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木	75	RC	–	EP-G	LGS	GB-F t 9.0+RB t 9.0	EP-G	塩ビ	2,700	ﾐﾆｷｯﾁﾝ【撤去】
		-10		【撤去】				GB-R t 12			【撤去】				
	便所L・M	±0	ﾓﾙﾀﾙ	人造大理石 t 15	床同材	–	RC	人造大理石 t 15【既存のまま】	–	LGS	GB-R t 9.0+RB t 9.0	EP-G	塩ビ	2,400	トイレブース【撤去】
		-50		【既存のまま】	【既存のまま】						【撤去】				和式便器【撤去】
	便所N	±0	RCコテ	VS t 2.0【撤去】	ﾋﾞﾆﾙ巾木【撤去】	100	RC	–	EP-G 【塗替】	LGS	GB-R t 9.0+RB t 9.0 【撤去】	EP-G	塩ビ	2,400	手洗い器【撤去】 おむつ交換台【撤去】
	総合カウンター	±0	RCコテ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t 7.0	化粧単盤練付　UC	75	RC	–	VC	LGS	GB-R t 9.0+RB t 9.0	EP-G	塩ビ	3,200	カウンター【撤去】
		-10		【撤去】	【既存のまま】		LGS	GB-R t 12+SB t 6.0 +化粧単盤練付合板　UC【撤去】	–		【撤去】				
	しらべものカウンター 閲覧・雑誌コーナー	±0	RCコテ	耐水合板 t 15 フローリング t 12	化粧単盤練付　UC	75	RC	–	VC	LGS	化粧単板練付	UC	塩ビ	2,700	書架【撤去】
		-10		【撤去】	【既存のまま】		LGS	GB-R t 12+SB t 6.0 +化粧単盤練付合板　UC 【既存のまま】	–		【撤去】				
	一般図書コーナー 閲覧デスク	±0	RCコテ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t 7.0	化粧単盤練付　UC	75	RC	–	VC	RC	フッ素樹脂塗装		塩ビ	3,200	書架【仮撤去】
		-10		【撤去】	【既存のまま】		LGS	GB-R t 12+SB t 6.0 +化粧単盤練付合板　UC 【既存のまま】	–	LGS	GB-R t 9.0+RB t 9.0 【撤去】	EP-G			
	児童図書コーナー 青少年図書コーナー 青少年閲覧コーナー	±0	RCコテ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t 7.0	化粧単盤練付　UC	75	RC	–	VC	RC	フッ素樹脂塗装		塩ビ	3,200	書架【仮撤去】
		-10		【撤去】	【既存のまま】		LGS	GB-R t 12+SB t 6.0 +化粧単盤練付合板　UC 【既存のまま】	–	LGS	GB-R t 9.0+RB t 9.0 【撤去】	EP-G			
	芸術・AV資料コーナー	±0	RCコテ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t 7.0	化粧単盤練付　UC	75	RC	–	VC	RC	フッ素樹脂塗装		塩ビ	3,200	書架【仮撤去】
		-10		【撤去】	【既存のまま】		LGS	GB-R t 12+SB t 6.0 +化粧単盤練付合板　UC 【既存のまま】	–	LGS	GB-R t 9.0+RB t 9.0 【撤去】	EP-G			
	ボランティアスペース	±0	RCコテ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t 7.0	化粧単盤練付　UC	75	RC	PB t 12.0【既存のまま】	VC	RC	フッ素樹脂塗装		塩ビ	3,200	
		-10		【撤去】	【一部撤去】		LGS	GB-R t 12+ t 9.0【撤去】	VC	LGS	GB-R t 9.0+RB t 9.0 【撤去】	EP-G			
	サービス室 レファレンス	±0	RCコテ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t 7.0	化粧単盤練付　UC	75	RC	PB t 12.0【既存のまま】	VC	RC	フッ素樹脂塗装		塩ビ	3,200	
		-10		【撤去】	【一部撤去】		LGS	GB-R t 12+ t 9.0【撤去】	VC	LGS	GB-R t 9.0+RB t 9.0 【撤去】	EP-G			
	サービス室 朗読	±0	RCコテ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t 7.0	化粧単盤練付　UC	75	RC	PB t 12.0【既存のまま】	VC	RC	フッ素樹脂塗装		塩ビ	3,200	
		-10		【撤去】	【一部撤去】		LGS	GB-R t 12+ t 9.0【撤去】	VC	LGS	GB-R t 9.0+RB t 9.0 【撤去】	EP-G			
	畳コーナー	+250	木製	タタミ	タタミ寄せ・雑巾摺	100	RC	–	VC	LGS	化粧単板練付	UC	木製	2,450	
		-10		(耐水合板 t 12下地) 【撤去】	【撤去】		LGS	GB-R t 12【撤去】 【既存のまま】	VC		【撤去】				

■ふれあい文化センター　内部仕上げ表【改修後】

階	室　名	床仕上げ	床		巾木		壁			天　井			廻縁	高さ	備　考
		高さ(FL)	下地	仕　上	仕　上	高さ	下地	仕　上		下地	仕　上				
1階	風除室3	±0	ﾓﾙﾀﾙ	200角割肌ﾀｲﾙ	–	–	ﾓﾙﾀﾙ	100角割肌タイル	–	LGS	GB-R t 9.5+RB t 9.0	–	塩ビ	2,600	ブックポスト受け口
		-50		【既存のまま】				【既存のまま】		–	ｱﾙﾐﾙｰﾊﾞｰ【既存のまま】	–		3,200	【既存のまま】
	ブックポスト室	±0	RCコテ	VS t 2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木	75	RC	GB-R t 12.5(GL工法)【新設】	EP-G	LGS	GB-R t 9.5+RB t 9.0	–	塩ビ	2,400	ブックポスト
		-10		【既存のまま】	【既存のまま】		LGS	GB-R t 12.5 t +9.5【新設】			【新設】				
	事務室	±0	RCコテ	配線用置床 t 50 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t 7.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木【新設】	75	RC	–	VC	LGS	GB-R t 12.5+ t 9.5	VC	塩ビ	2,700	ﾐﾆｷｯﾁﾝ L=1,800【新設】
		-10		【新設】				GB-R t 12			【新設】				
	便所L・M	±0		人造大理石 t 15	床同材	–	RC	人造大理石 t 15【既存のまま】	–	LGS	GB-R t 9.5+RB t 9.0	–	塩ビ	2,400	トイレブース【新設】
		-50		【既存のまま】	【既存のまま】						【新設】				洋式便器【一部新設】
	便所N	±0		VS t 2.0【新設】	ﾋﾞﾆﾙ巾木【新設】	100	RC	–	EP-G 【塗替】	LGS	GB-R t 9.5+RB t 9.0 【新設】	–	塩ビ	2,400	手洗い器【新設】 おむつ交換台【新設】
		-50													跳ね上げ手摺【新設】
	総合カウンター (旧エリア)	±0	RCコテ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t 7.0	ビニル幅木	75	RC	–	VC	LGS	GB-R t 9.5+RB t 9.0	–	塩ビ	3,200	
		-10		【新設】	【新設】		LGS	GB-R t 12.5+ t 9.5【新設】	VC		【新設】				
	しらべものカウンター 閲覧・雑誌コーナー (旧エリア)	±0	RCコテ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地調整 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t 7.0	化粧単盤練付　UC	75	RC	–	VC	LGS	GB-R t 9.5+RB t 9.0	–	塩ビ	2,700	
		-10		【新設】	【既存のまま】		LGS	GB-R t 12+SB t 6.0 +化粧単盤練付合板　UC 【既存のまま】	–		【新設】				
	一般図書コーナー 閲覧デスク (旧エリア)	±0	RCコテ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t 7.0	化粧単盤練付　UC	75	RC	–	VC	RC	フッ素樹脂塗装		塩ビ	3,200	
		-10		【新設】	【既存のまま】		LGS	GB-R t 12+SB t 6.0 +化粧単盤練付合板　UC 【既存のまま】	–	LGS	GB-R t 9.5+RB t 9.0 【新設】	–			
	児童図書コーナー 青少年図書コーナー 青少年閲覧コーナー (旧エリア)	±0	RCコテ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t 7.0	化粧単盤練付　UC	75	RC	–	VC	RC	フッ素樹脂塗装		塩ビ	3,200	
		-10		【撤去】	【既存のまま】		LGS	GB-R t 12+SB t 6.0 +化粧単盤練付合板　UC 【一部新設】	–	LGS	GB-R t 9.5+RB t 9.0 【新設】	–			
	芸術・AV資料コーナー (旧エリア)	±0	RCコテ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t 7.0	化粧単盤練付　UC	75	RC	–	VC	RC	フッ素樹脂塗装		塩ビ	3,200	
		-10		【新設】	【既存のまま】		LGS	GB-R t 12+SB t 6.0 +化粧単盤練付合板　UC 【既存のまま】	–	LGS	GB-R t 9.5+RB t 9.0 【新設】	–			
	倉庫１	±0	RCコテ	下地調整C-2の上 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t 2.0	ビニル幅木	75	RC	PB t 12.5(GL工法)【新設】	EP-G	RC	–		塩ビ	3,200	
		-10		【新設】	【新設】		LGS	GB-R t 12.5+ t 9.5【新設】	EP-G	LGS	GB-R t 12.5+ t 9.5 【新設】	EP-G			
	倉庫２	±0	RCコテ	下地調整C-2の上 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t 2.0	ビニル幅木	75	RC	PB t 12.5(GL工法)【新設】	素地	RC	–		塩ビ	3,200	
		-10		【新設】	【新設】		LGS	GB-R t 12.5+ t 9.5【新設】	素地	LGS	GB-R t 12.5+ t 9.5 【新設】	素地			
	倉庫３	±0	RCコテ	下地調整C-2の上 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t 2.0	ビニル幅木	75	RC	下地調整C-2	素地	RC	直天		塩ビ	3,200	
		-10		【新設】	【新設】		LGS	GB-R t 12.5+ t 9.5【新設】	素地	LGS	–	–			

1級建築士登録大臣第350116号
野田　廣広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図　名	仕上表	A／00　意・構・電・設	令和８年　月　日				
		縮尺 A1:NS A3:NS					

株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号
1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠

N

104,905

ポンプ室
スロープ
FL+1000
歩道
駐車場 FL+1000
車寄せ
来場者出入口
車止め兼防水堤
ポンプ室
プラットフォーム FL+1000
準備室
階段室
EV
EV機械室2
FB
スロープ FL+500
新築柱
FL+500
FL±0
3,080
EVホール FL+1000
中央監視室
楽屋事務室
楽屋1
楽屋2
楽屋3
楽屋4
UB
廊下2
踏込
FL-1000
大道具搬入口
清掃員控室
EV
DS
倉庫
階段室B
更衣室
便所D
便所C
PS
EV機械室
階段室A
前室
階段室G
階段室F
階段室H
階段室J
便所B
便所A
客席
廊下1
身障者用駐車場
ステージ
大道具庫 FL±0
ドライエリア
駐車場 FL±0
リハーサル室1 FL±0
便所
ピアノ庫
BM書庫 FL+500
BM作業室 FL+500
倉庫
EV
EPS
夜間通用口
図書館車庫 FL+500
DS
消火栓
消火器

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図		
		A/03	意・構・電・設	令和8年 月 日						
図名	現況図 地下1階平面図	縮尺	A1:1/200 A3:1/400	株式会社 手島建築設計事務所						

1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠

N

104,905

11,905 / 7,400 / 7,400 / 7,400 / 800 / 6,600 / 7,400 / 7,400 / 8,100 / 8,100 / 8,100 / 8,100 / 8,100 / 8,100

X15 X13 X12 X11 X10 X9 X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1

Y13 Y12 Y10 Y8 Y7 Y5 Y3 Y1 Y11 Y9 Y6 Y4 Y2

18,000 / 5,000 / 6,000 / 7,400 / 4,505 / 7,865 / 7,865 / 7,865

18,000 / 2,200 / 2,800 / 5,300 / 8,100 / 8,100 / 8,100 / 4,500 / 7,400 / 46,500

換気塔
換気塔
換気塔
ギャラリー
メインエントランス
風除室１
アトリウム
ふれあいプラザ
階段室Ａ
控室
準備室
ＥＶ
ＤＳ
受付事務室
救護室
救急
倉庫
ＣＤコーナー
消火栓 消火器
ＥＶ
ＤＳ
便所Ｈ
便所Ｇ
前室１
フライギャラリー
事務室
階段室Ｂ
印刷室
更衣室
給湯室
便所Ｉ
便所Ｊ
便所
厨房
喫茶ラウンジ
ホワイエ
客席
ステージ 上部
親子室
風除室２
前室２
駐輪場
スロープ
しらべものカウンター
閲覧・雑誌コーナー
一般図書コーナー
開架デスク
前会カウンター
市民図書館
芸術・郷資料コーナー
児童カウンター
児童図書コーナー
青少年図書コーナー
青少年閲覧コーナー
事務室
便所Ｍ
便所Ｌ
便所Ｎ
前室
風除室
ＥＶ
ＥＰＳ
駐輪場

1級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
		A／04 意・構・電・設	令和８年　月　日				
図名	現況・撤去図 1階平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1ー11499号 1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠			

N

X15 X13 X12 X11 X10 X9 X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1

104,905

11,905 7,400 7,400 7,400 800 6,600 7,400 7,400 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100

Y13 Y12 Y10 Y8 Y7 Y5 Y3 Y1

18,000 5,000 6,000 7,400 4,505 7,865 7,865 7,865

Y13 Y12 Y11 Y10 Y9 Y8 Y6 Y4 Y2 Y1

18,000 2,200 2,800 5,300 8,100 46,500 8,100 8,100 4,500 7,400

多目的室C
準備室2
中研修室
倉庫
前室
W便所
M便所
準備室1
倉庫
EV
DS
相談室
情報加工室
階段室A
ミニホール
FL±0
調整室
アトリウム
上部
ふれあいプラザ
上部
空調機械室
発電気室
電気室
書庫
実習室B
EV
DS
階段室B
便所Q
便所O
便所P
廊下2
廊下1
メンテナンススペース
映光室
階段室C
収納庫
スタッフラウンジ
倉庫
更衣室
通路
控室
倉庫
通路屋根
多目的室B
多目的室A
倉庫4
階段室D
音響調整室
ホワイエ
上部
映写室
客席 上部
ステージ 上部
空調機械室
階段室E
リフト
渡廊下
ミーティングルーム
団体連絡室
印刷室
倉庫
EXP.J
映光室
メンテナンススペース
映光室
コンピューター室
DPスタッフラウンジ
更衣室
会議室
製本
印刷室
選書室
受入・整理室
階段室F
EV
EPS

11,905 7,400 7,400 8,200 6,600 7,400 7,400 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100

104,905

X15 X13 X12 X11 X10 X9 X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号 A/05 意・構・電・設	日付 令和8年 月 日	照査	部長	担当	製図	
図名	現況図 2階平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠				

N

X15 X13 X12 X11 X10 X9 X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1

11,905 7,400 7,400 7,400 800 6,600 7,400 7,400 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100

104,905

Y13 Y12 Y10 Y8 Y7 Y5 Y3 Y1

18,000 5,000 6,000 4,505 7,865 7,865 7,865 7,400

Y9 Y8 Y6 Y4 Y2 Y1

8,100 8,100 8,100 4,500 7,400

36,200

収蔵庫
収蔵庫
倉庫
音響調整室
倉庫
準備室
EV
DS
音楽スタジオ
倉庫
階段
空調機械室
廊下1
ふれあいプラザ
上部
倉庫
便所
託児室
アトリウム
上部
倉庫
倉庫
倉庫
EV
DS
階段室P
便所Q
便所O
便所P
廊下2
廊下1
リハーサル室2
キャットウォーク
天井内
キャットウォーク
階段室G
OA学習室
研修室4
階段室O
更衣室
W
更衣室
M
DS
空調機械室4
廊下
研修室3
第2シーリング
スポット室
(1)
フロースポット室
第1シーリング
スポット室
第2シーリング
スポット室
(2)
ステージ 上部
空調機械室
フライギャラリー
煙突
冷却塔置場
階段室Q
EV機械室
倉庫
研修室2
研修室1
キャットウォーク
天井内
キャットウォーク
階段室H

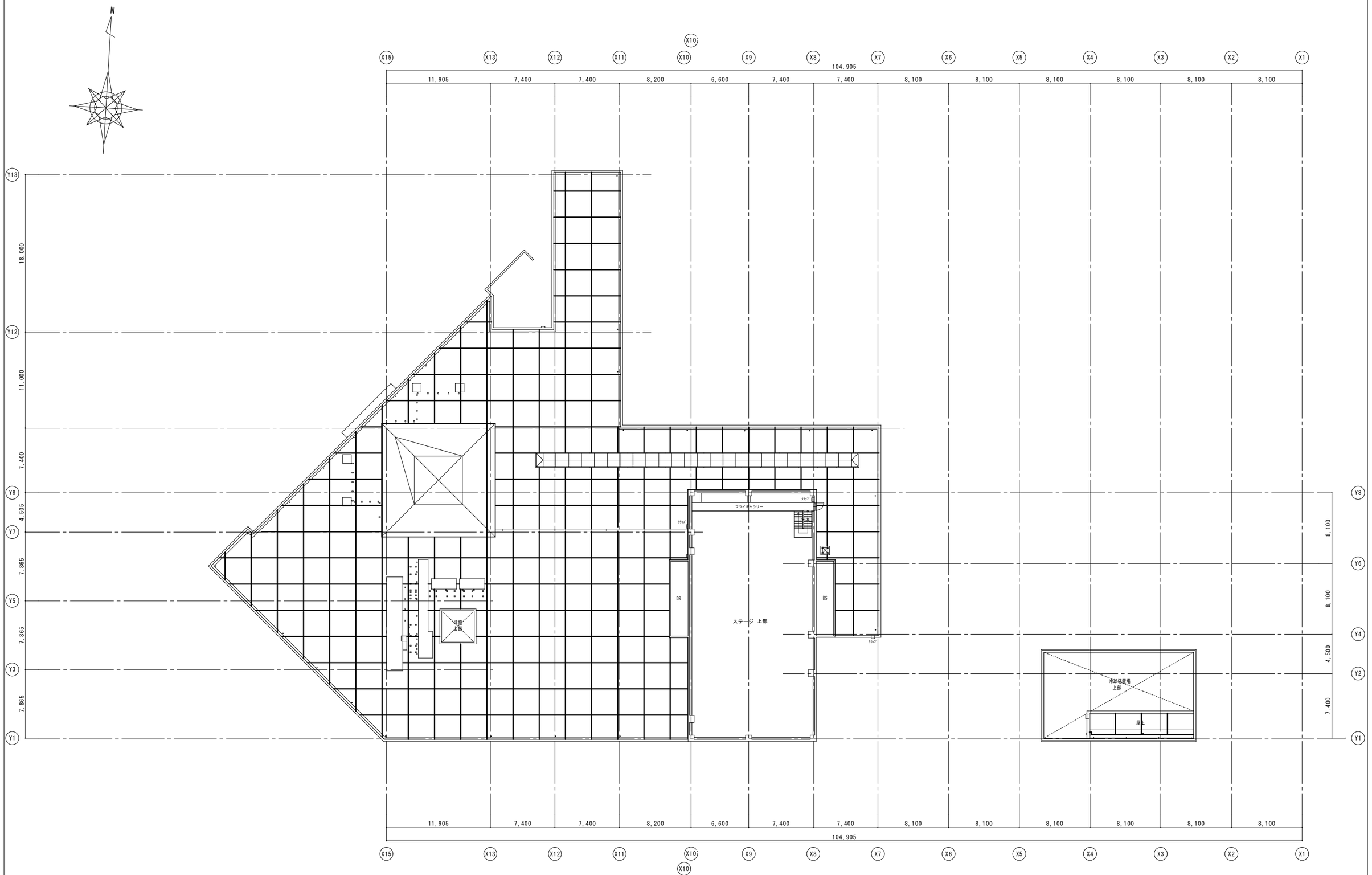
11,905 7,400 7,400 8,200 6,600 7,400 7,400 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100

104,905

X15 X13 X12 X11 X10 X9 X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1

1級建築士登録大臣第350116号
野田 廣広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号 A/06 意・構・電・設	日付 令和8年 月 日	照査	部長	担当	製図
図名	現況図 3階平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1ー11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠			



1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図
		A／07	意・構・電・設	令和8年 月 日				
図名	現況図 R階平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠				

N

104,905

11,905 / 7,400 / 7,400 / 7,400 / 7,400 / 7,400 / 7,400 / 8,100 / 8,100 / 8,100 / 8,100 / 8,100 / 8,100

800 / 6,600

18,000

5,000 / 6,000 / 7,400 / 4,505 / 7,865 / 7,865 / 7,865

2,200 / 2,800 / 5,300 / 8,100 / 8,100 / 4,500 / 7,400

46,500

ギャラリー
(仮称)
地域共生交流施設
【新築】
渡り廊下
±0
換気塔
メインエントランス
風除室１
アトリウム
控室
準備室
EV
DS
受付事務室
救護室
救急
倉庫
CDコーナー
階段室A
ふれあいプラザ
±0
消火栓
消火器
EV
DS
便所H
便所G
前室１
フライギャラリー
客席
ステージ 上部
ホワイエ
±0
親子室
前室２
駐輪場
スロープ
ホール
±0
リフト
会議室
±0
便所M
便所L
便所N
前室
±0
風除室３
市民図書館
±0
事務室
+50
EV-S
EV
EPS
倉庫１ ±0
倉庫２ ±0
倉庫３ ±0
倉庫４ ±0
倉庫５ ±0
事務室
階段室C
更衣室
印刷室
給湯室
便所I
便所J
便所
厨房
内装改修【新設】
喫茶ラウンジ
±0
内装改修【新設】
テラス
±0
風除室２
±0
通路
インターロッキング舗装
町土屋t120 【新設】
カバ土t4 【新設】
町土屋t120
カバ土t4 【新設】
町土屋t120
芝貼
植栽
RA
B1F→A1Fに改修
B1F→A1Fに改修
B1F→A1Fに改修
±0
+50
4,000
4,800
4,500
4,400
4,600
4,200
4,100
4,000
1,800
1,350
1,250
1,100
800
9,000
5,750
270
4,910
270
5,450

11,905 / 7,400 / 7,400 / 8,200 / 6,600 / 7,400 / 7,400 / 8,100 / 8,100 / 8,100 / 8,100 / 8,100 / 8,100

104,905

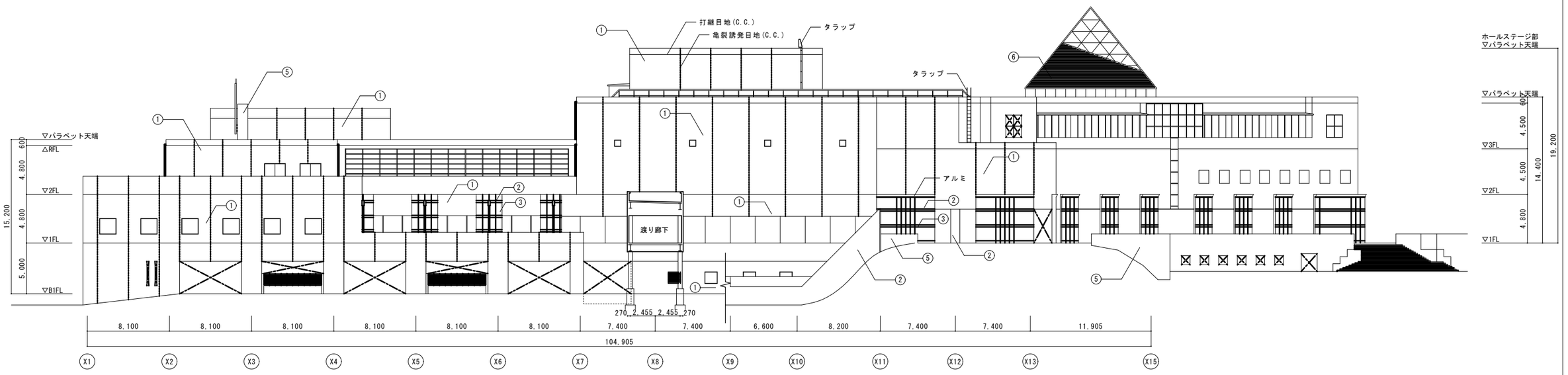
X15 X13 X12 X11 X10 X10' X9 X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1

Y13 Y12 Y10 Y9 Y8 Y7 Y5 Y3 Y1 Y11 Y6 Y4 Y2

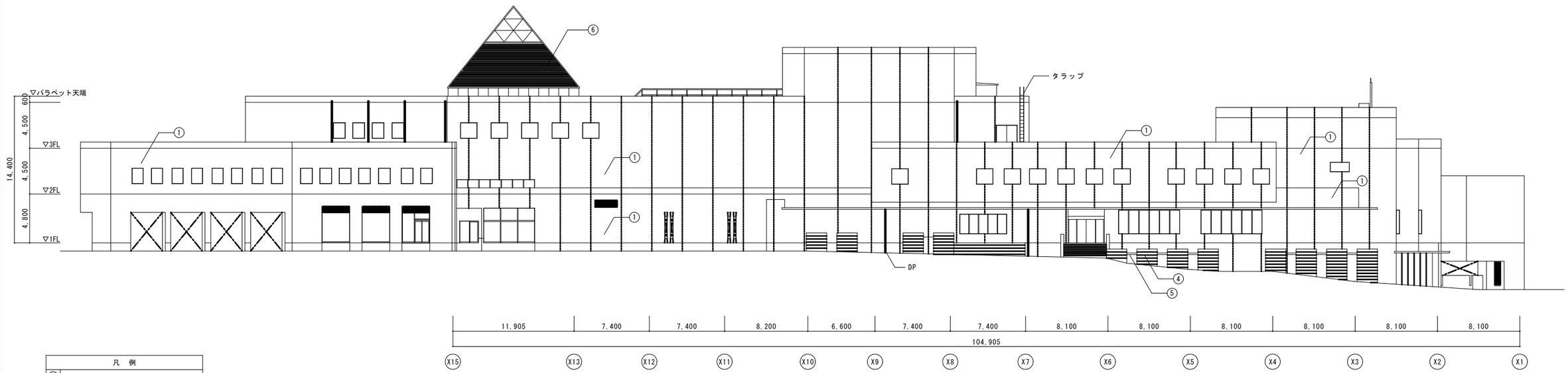
1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図	
図名	改修図 1階平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	A／08 意・構・電・設	令和８年 月 日					

株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠



北面 立面図

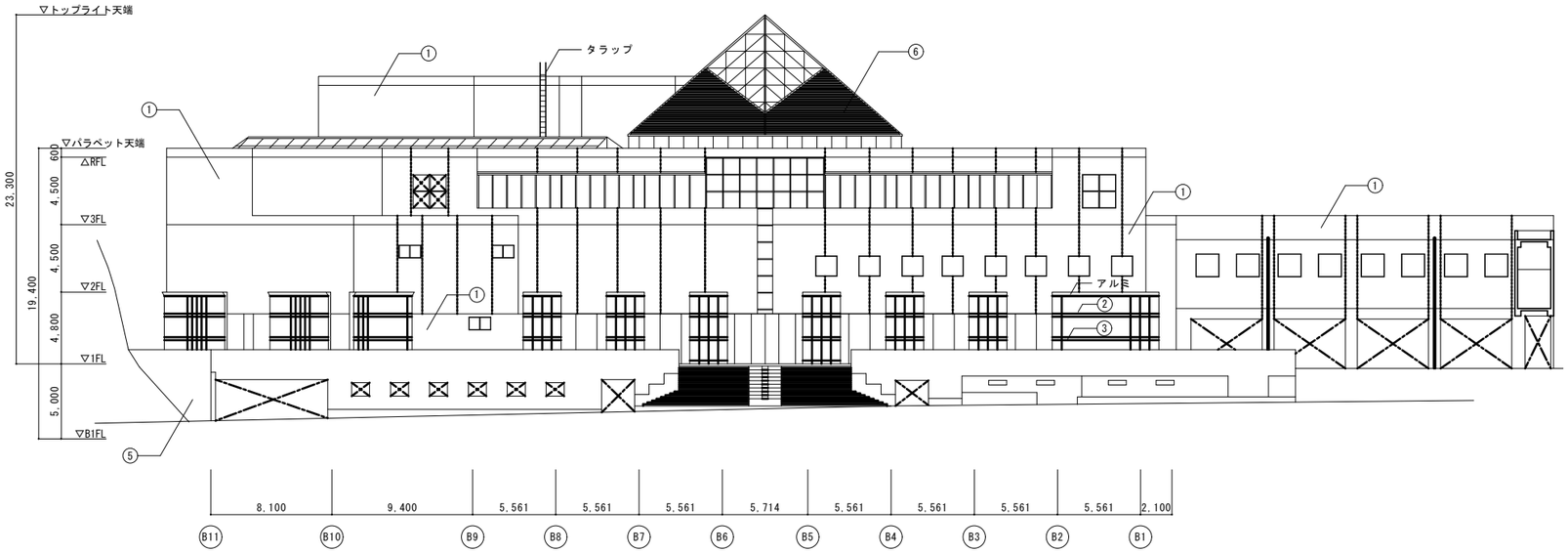


南面 立面図

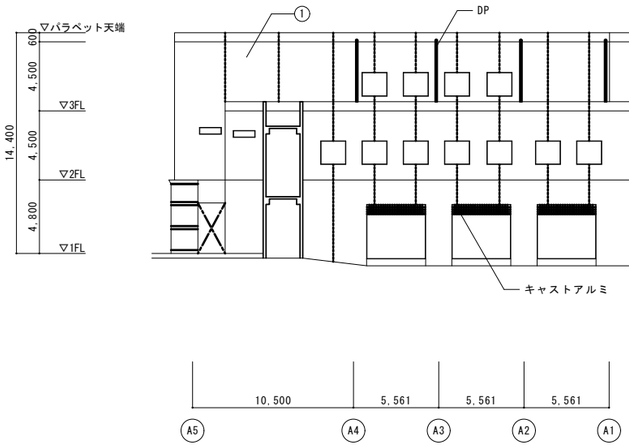
凡 例	
①	磁器質タイル
②	石状吹付
③	御影石本磨き
④	コンクリート打放し 小叩き仕上
⑤	コンクリート打放し VP
⑥	カラーアルミ t=0.7

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

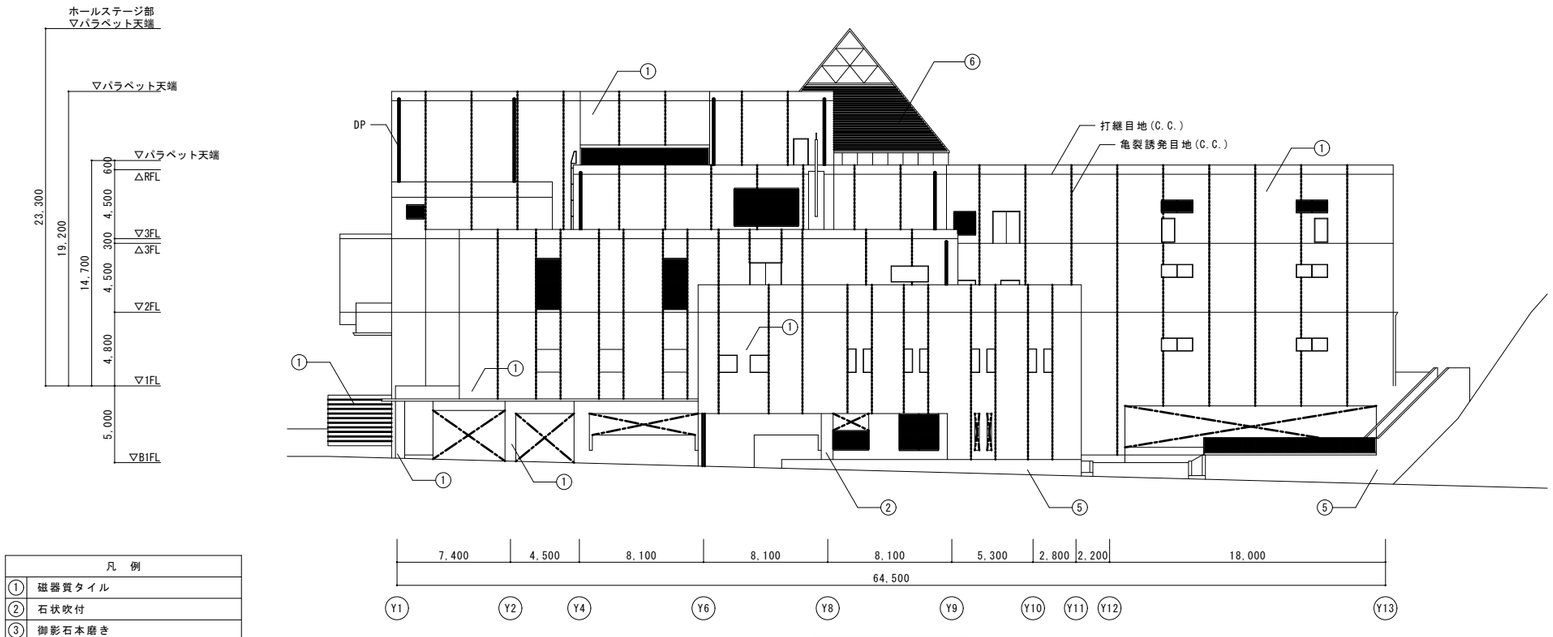
工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図名	立面図(1)	A／09 意・構・電・設	令和8年 月 日				
		縮尺 A1:1/200 A3:1/400	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠			



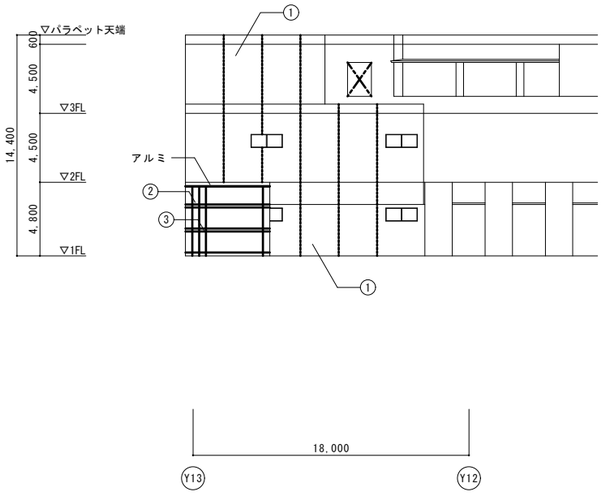
北西面 立面図



南西面 立面図



東面 立面図

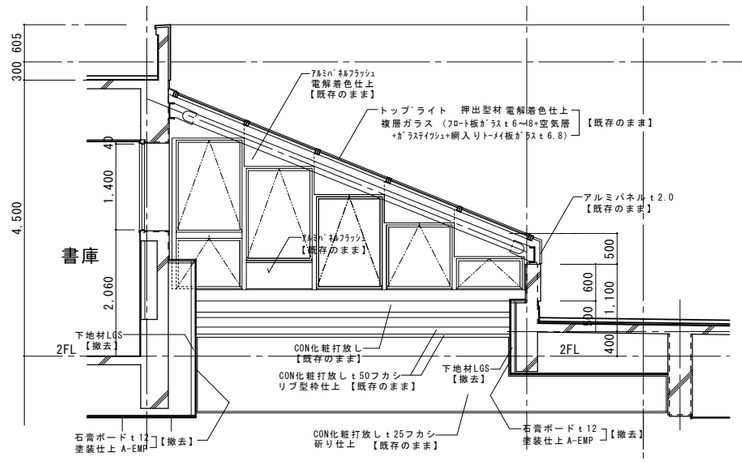


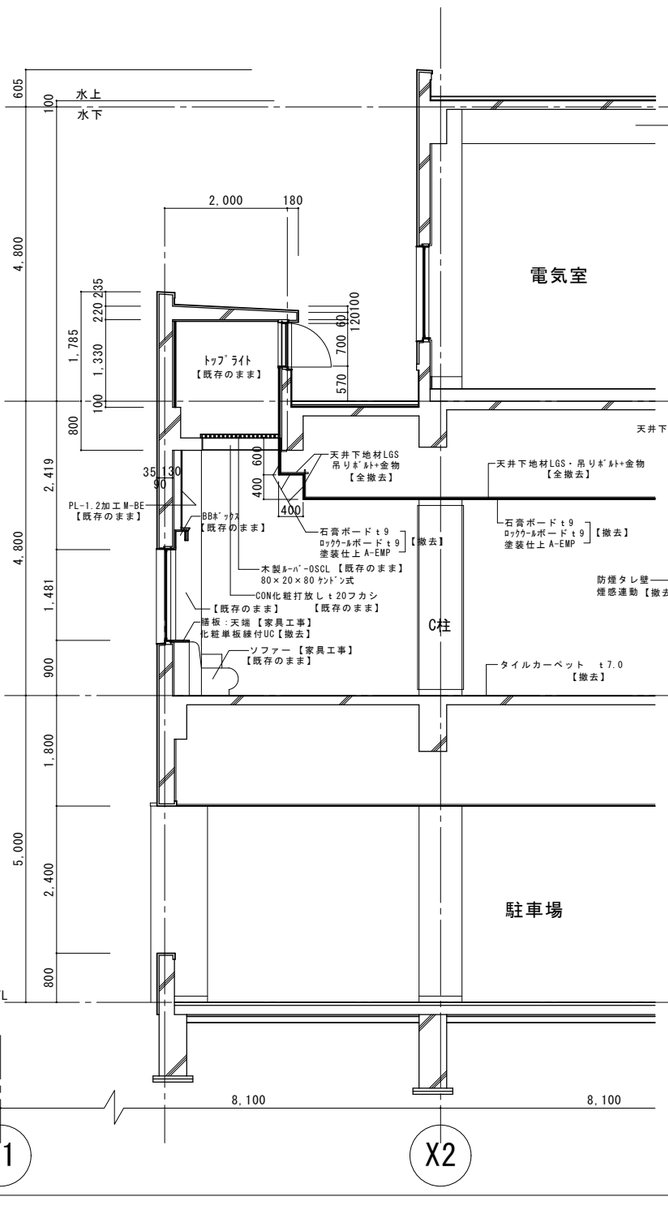
西面 立面図

凡 例	
①	磁器質タイル
②	石状吹付
③	御影石本磨き
④	コンクリート打放し 小叩き仕上
⑤	コンクリート打放し VP
⑥	カラーアルミ t=0.7

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
		A／10 意・構・電・設	令和8年 月 日				
図名	立面図(2)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号			
				1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠			





工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	担当				
		A／11 意・構・電・設	令和8年 月 日	所長				
図名	現況・撤去図 断面詳細図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所					

1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広
1級建築士事務所登録一福岡県知事登録第1一11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠

書庫
【既存のまま】
アルミﾊﾟﾈﾙﾌﾗｯｼｭ 電解着色仕上 【既存のまま】
トップライト 押出型材 電解着色仕上 複層ガラス （フロート板ガラスt6~8+空気層 +ガラスﾃｨﾌｼｭ+網入りﾄｰﾒｲ板ガラスt6.8） 【既存のまま】
アルミパネルt2.0 【既存のまま】
下地材LGS 【新設】
2FL
CON化粧打放し 【既存のまま】
CON化粧打放しt50フカシ リブ型枠仕上 【既存のまま】
石膏ボードt12.5 塗装仕上 EP-G 【新設】
石膏ボードt12.5+9.5 EP-G 【新設】
CON化粧打放しt25フカシ 斫り仕上 【既存のまま】
下地 C=100×50×20×2.3 @450 【新設】
石膏ボードt9.5 ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 t12.0 【新設】
6,200
1,900
485
5,790
1,158 1,158 1,158 1,158 1,158
8,100
1,620 1,620 1,620 1,620 1,620
167.6
35
トップライト 【既存のまま】
メンテナンス用SUS手摺 【既存のまま】
点検用扉 【既存のまま】
CON化粧打放しt15フカシ 杉小巾板化粧型枠【既存のまま】
メンテナンスラダーレール 【既存のまま】
排煙窓【開閉点検・調整】 オペレーター【点検・調整】
X7
空調 機械室
【既存のまま】
1,056
ﾌﾟﾘｽﾞﾑ硝子 【既存のまま】
CON化粧打放し 【既存のまま】
75 75
CON化粧打放しt50フカシ リブ型枠仕上 【既存のまま】
CON化粧打放しt25フカシ 斫り仕上 【既存のまま】
LGS25【新設】
LGS65【新設】
石膏ボードt12.5+9.5 ｸﾛｽ貼り【新設】
ｱﾙﾐ製BBﾎﾞｯｸｽ 150×150 【新設】
SUS製建具 【新設】
天井下地材LGS・吊りﾎﾞﾙﾄ+金物 【新設】
水上
水下
905
排煙窓【開閉点検・調整】 オペレーター【点検・調整】
2,000 180
トップライト 【既存のまま】
電気室
【既存のまま】
天井下地材LGS 吊りﾎﾞﾙﾄ+金物 【新設】
PL-1.2加工M-BE 【既存のまま】
BBﾎﾞｯｸｽ 【既存のまま】
ｱﾙﾐL金物 【新設】
石膏ボードt12.5 石膏ボードt9.5 塗装仕上 EP-G 【新設】
木製ﾙｰﾊﾞｰOSCL【既存のまま】
CON化粧打放しt20フカシ
腰板：天端【家具工事】 化粧単板練付UC【新設】
ソファー【家具工事】 生地張替え改修
アルミ製建具 【既存のまま】
タイルカーペットt7.0 下地調整 【新設】
C柱
トップライト【既存のまま】 押出型材 電解着色仕上 複層ガラス 【既存のまま】
受け材 φ165.2×6.0 【既存のまま】
CON化粧打放しt15フカシ 杉小巾板化粧型枠 【既存のまま】
メンテナンスラダー 【既存のまま】
PL-1.2加工SOP 【既存のまま】
CON打放しt25フカシ 斫り仕上【既存のまま】
下地材LGS 【新設】
クロス貼り【新設】
A柱
600 3,750 3,750
2,000 800
2,000 100
防煙垂れ壁 【新設】
額縁t40 【既存のまま】
腰板t40：天端【家具工事】 化粧単板練付UC【新設】 【既存のまま】
下地もﾙﾀﾙ金ｺﾃt20 【新設】
既存もﾙﾀﾙ金ｺﾃt20 【既存のまま】
駐車場
X1 X2 Y4 Y6
8,100 8,100 8,100 8,100

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	担当	部長	担当	設図
図名	改修図 断面詳細図	A/12 意・構・電・設	令和8年 月 日				
縮尺	A1:1/50 A3:1/100						

株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠
1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広

N

104,905

ポンプ室
FL+1000
スロープ
歩道
駐車場 FL+1000
車寄せ
来場者出入口
車止め兼防水堤
ポンプ室
身障者用駐車場
プラットフォーム FL+1000
ＥＶ機械室2
準備室
階段室
ＥＶ
FB
スロープ
FL+500
FL+1000
新築柱
4,910
2,455 2,455
FL±0
3,080
ＥＶホール FL+1000
中央監視室
楽屋事務室
楽屋1
楽屋2
楽屋3
楽屋4
踏込
UB
廊下2
FL-1000
大道具搬入口
清掃員控室
ＥＶ
ＤＳ
倉庫
階段室B
更衣室
便所D
便所C
ＰＳ
ＥＶ機械室
階段室A
前室
階段室G
FL-100
階段1
便所B
便所A
客席
廊下1
ステージ
階段J
階段室H
ドライエリア
リハーサル室1 FL±0
便所
ピアノ庫
BM書庫 FL+500
BM作業室 FL+500
倉庫
図書館車庫 FL+500
ＥＶ
EPS
夜間通用口
駐車場 FL±0
ＤＳ
大道具庫 FL±0
天井【撤去・新設】 SUｔ6.0 塗装仕上 A-EMP
天井【撤去・新設】 PBｔ9.5+GBｔ9.5 塗装仕上 A-EMP
天井【撤去・新設】 SUｔ6.0 塗装仕上 A-EMP
天井【撤去・新設】 SUｔ6.0 塗装仕上 A-EMP

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付		照査	部長	担当	製図
		A/13	意・構・電・設	令和8年 月 日					
図名	改修図 地下1階平面図 天井 撤去・新設図	縮尺	A1:1/200 A3:1/400	株式会社 手島建築設計事務所		1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠			

部位	仕上
①	石膏ボードｔ9.5+ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 ｔ12.0 【新設】
②	石膏ボードｔ9.5+ｔ12.5 ｸﾛｽ貼り 【新設】
③	アルミルーバー 【複旧】
④	木製ルーバー 18×60 @70ﾀﾃﾖｺ 【複旧】
⑤	CON化粧打放し 斫り仕上 【既存のまま】
⑥	石膏ボードｔ12.5 EP-G 【新設】
⑦	石膏ボードｔ9.5+ｔ12.5 EP-G 【新設】
⑧	石膏ボードｔ12.5 素地のまま 【新設】

天井仕上材【新設】の部分はすべて
天井下地材LGS・吊りﾎﾞﾙﾄ+金物【新設】

X9 X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1

Y12 Y11 Y10 Y9 Y8 Y6 Y4 Y2 Y1

7,400 7,400 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100

2,466 2,466 2,468 2,466 2,466 2,468 2,466

2,700 2,200 2,800 5,300 8,100 8,100 5,500 46,500 8,100 4,500 7,400

1,800 2,700 500 FL 1,000 2,100 250

RA SS PS

CH2700 CH3200 CH3800 CH4500 CH2600 CH2400 CH4200 CH3600 CH4000

【新設】天井内収納 排煙垂れ壁 H=1100

【新設】天井内収納 排煙垂れ壁 H=600

【新設】 排煙垂れ壁 H=600

【新設】 排煙垂れ壁 H=500

363.57㎡ 491.67㎡ 161.95㎡ 493.19㎡ 91.79㎡ 18.48㎡

フライギャラリー

ステージ 上部

ホール

市民図書館

ブックポスト（閉鎖） 耐火壁【既存】 倉庫2 倉庫3 端子盤【既存のまま】

BBﾀﾞｸﾄ【新設】150×150 ﾎﾞｯｸｽ部 開口塞ぎ ｱﾙﾐ製

トップライト【既存のまま】 押出型材 電解着色仕上 複層ガラス

ﾌﾞﾘｽﾞﾑ硝子【既存のまま】

UP 階段室E リフト

会議室 CH2700 ⑦

CH2400 便所M【既存のまま】 CH2400 便所L【既存のまま】 CH2400 便所N CH2400 前室

風除室3 ④

事務室 91.79㎡

階段室D DN UP 消火栓

倉庫1 18.48㎡ EV EPS

C柱

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	A／15 意・構・電・設	日付	令和８年 月 日	照査	部長	担当	製図
図名	改修図 1階天井伏図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠				

X9 X8 X7 X6 X5 X4

7,400 7,400 8,100 8,100 8,100

中庭　共通事項
注記：　特記なき限り【既存のまま】

押え
ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ仕上

SUS製手摺

芝貼

植栽 植栽

畳コーナー

Y10

内装仕上げ材
下地材
【全撤去】

FL+250

棚家具
【撤去】

フローリング
【撤去】

タイルカーペット
【撤去】

Y9

C柱

2,700

1,800

5214×2192

砂利洗出し

2,466 2,468 2,466 2,466 2,468 2,466

1,800

1,800

【既存のまま】

SUS製扉
【撤去】

ストール
300×300×300 ﾀｲﾙ
【撤去】

排気口

2,000r

3,900r

5,900r

A

B

C

D

E

155

コンクリート打ち t 300
【撤去】

100

コンクリート打ち t 200～300
【撤去】

200角タイル貼
【撤去】

花崗岩
本磨き t 25
【撤去】

コンクリート打ち t 100
【撤去】

タイル貼
【撤去】

砂利洗出し
【撤去】

コンクリート打ち t 50
【撤去】

伸縮目地切

6214×2192

フローリング t 12
耐水合板 t 15
【撤去】

額縁 t 40
【既存のまま】

540 40

仕上材 【既存のまま】
下地材

壁：天端【家具工事】
化粧単板練付UC【撤去】

ふれあいプラザ

±0

【既存のまま】

クロス貼り【撤去】

既存ﾌﾞｯｸﾎﾟｽﾄ【閉鎖】
SUS投入口【撤去】
表示板【撤去】

2,200 5,200 1,800

【既存のまま】

SS

フライギャラリー

【既存のまま】

ブック
ポスト
【閉鎖】

耐火壁

耐火壁
850×2100

3798×2192 3798×2192 3798×2192

40 540

RA RA

2551×1080
（ガラリ）
【既存のまま】

額縁 t 40
【既存のまま】

仕上材
下地材 【撤去】

LGS65型
【撤去】

LG25型
【撤去】

しらべもの
カウンター

フローリング t 12
耐水合板 t 15
【撤去】

タイルカーペット
【撤去】

フローリング
【撤去】

目地 SUSFB9×25
【撤去】

閲覧・雑誌コーナー

C柱

Y8

市民図書館　±0

1級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図
		A／16	意・構・電・設	令和８年　月　日				
図名	現況・撤去図 1階平面詳細図　(1)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠				

X4 X3 X2 X1

Y11 Y10 Y9 Y8

8,100 8,100 8,100 8,100

2,700

1590×1500 1590×1500 1590×1500 1590×1500 1590×1500 1590×1500

RA RA

2345×1280（ガラリ）【仮撤去】

腰板ｔ40：天端【家具工事】 化粧単板練付UC【撤去】 額縁ｔ40【既存のまま】 仕上材 下地材【撤去】

LGS65型【撤去】 LG25型【撤去】

畳コーナー

内装仕上げ材 下地材 【全撤去】

FL+250

5214×2192

棚家具【撤去】

フローリング【撤去】 タイルカーペット【撤去】

C柱

閲覧デスク

±0

床：タイルカーペットｔ7.0【撤去】

ソファー【既存のまま】

482×1483

腰板：天端 化粧単板練付UC【撤去】【家具工事】

C柱

ソファー【撤去】

目地 SUSFB9×25【撤去】

フローリング ｔ12 耐水合板ｔ15【撤去】

仕上材【既存のまま】 下地材

40 540

仕上材【既存のまま】 下地材

±0

床：タイルカーペットｔ7.0【撤去】

一般図書コーナー

±0

A柱

仕切り壁【撤去】

ボランティアスペース

タイルカーペットｔ7.0【撤去】

壁仕上【撤去】 PB12.0（GL工法）

1,850 1,850

サービス室 レファレンス

1181×1081

LGS100【撤去】 PB12.0+12.0【撤去】

サービス室 朗読

PB12.0【撤去】

2,800 5,300 5,150 8,100 2,950 6,050 3,100 2,300 8,100 2,700

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図		
図名	現況・撤去図 1階平面詳細図 (2)	A/17 意・構・電・設	令和8年 月 日						
	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1一11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠						

芸術・AV資料コーナー

市民図書館 ±0

朗読

C柱

Y6

ソファー
【既存のまま】

1590×1500

腰板：天端
化粧単板練付UC【撤去】
【家具工事】

8,100

A柱

C柱

Y4

青少年図書コーナー

床：タイルカーペットt7.0
【撤去】

4,500

床：タイルカーペットt7.0
【撤去】

A柱

児童カウンター
【撤去】

B柱
仕上材
【撤去】

分電盤
【既存のまま】

家具棚【撤去】

児童図書コーナー ±0

青少年
閲覧コーナー
±0

C柱

内装仕上げ材
下地材
【全撤去】

+1120
+280 +560 +840 +1400

壁
仕上材
【撤去】

284×2292

3,260

Y2

7,400

おはなし
コーナー

スライディングウオール
【撤去】

棚家具
【撤去】

FL+150

床：タイルカーペットt7.0
【撤去】

棚家具
【撤去】

消火器

流し家具
【撤去】

棚家具
【撤去】

1700×2100

790

600×1514

RA

3,050

階段室D
【既存のまま】

DN

UP

EVホール
【既存のまま】

消火栓

EV
【既存のまま】

EPS

284×2299

800×2900
（ガラリ）

2,200

1,940

260

Y1

5972×2292

5972×2292

駐輪場

260 5,350 5,610 2,750 2,210 3,960 1,750 2,200 1,940 2,200 260

8,100

8,100 8,100 8,100

X6 X5 X4 X3 X2

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	設図	
図名	現況・撤去図 1階平面詳細図 (3)	A/18	意・構・電・設	令和8年 月 日					
		縮尺 A1:1/50 A3:1/100		株式会社 手島建築設計事務所					

1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広
1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠

Y1 Y2 Y4 Y6 Y8

7,400 4,500 8,100 8,100

X8 X7 X6 X5

7,400 5,925 5,300 8,100 3,740 260 8,100

275 3,050 1,500 1,650 1,200 2,500 1,600 3,740 260 2,200 5,200 7,400 8,100

スロープ

RC壁 塗装仕上 A-EMP 【撤去】

GL壁 PB t 12 【既存のまま】

塗装仕上A-EMP 【撤去】

4576×1892

事務室 ±0

床：タイルカーペット t 7.0 【撤去】

SUS製水切 【撤去】

SUS製流し台 L=1800【撤去】

階段室E 【既存のまま】 UP

リフト 【既存のまま】

1202×3209

850×2100

PB12.0 GL壁 【撤去】

仕上材 下地材 【撤去】

袖壁LGS壁 【撤去】

木製見切 t 30 【撤去】

棚家具 【撤去】

RA （ガラリ） 1410×2100

壁仕上 PB12.0【撤去】

PS 1379×2100

木製見切 t 30 【撤去】

棚家具 【撤去】

掲示板 850×2100

ブック ポスト 【閉鎖】 【既存のまま】

耐火壁 1,450 1,050

クロス貼り【撤去】

既存ﾌﾞｯｸﾎﾟｽﾄ【閉鎖】

SUS投入口【撤去】

表示板【撤去】

端子盤 【既存のまま】

【既存のまま】

床：タイルカーペット t 7.0 【撤去】

SS

総合カウンター ±0

A柱

仕上材 下地材 【撤去】

便所L

便所M

便所N

トイレブース【撤去】

和風便器 【撤去】

撤去図は別図参照

RA 1485×1230 （ガラリ）

片開き扉 【撤去】

前室

カッター入れ

壁仕上・下地 【撤去】

冷水器 【既存のまま】

DN 床：【既存のまま】

風除室3 ±0

床：【既存のまま】

床： タイルカーペット t 7.0 【撤去】

SUS製建具【撤去】

床仕上・下地 【撤去】

壁仕上・下地 【撤去】 カッター入れ

棚家具 【撤去】

分電盤 【既存のまま】

おはなし コーナー

内装仕上げ材 下地材 【全撤去】

FL+150

5972×2292

スライディングウオール 【撤去】

児童カウンター ±0 【撤去】

芸術・AV資料コーナー ±0

床：タイルカーペット t 7.0 【撤去】

床： タイルカーペット t 7.0 【撤去】

B柱 仕上材 【撤去】

タイルカーペット 【撤去】

フローリング 【撤去】

しらべもの カウンター ±0

フローリング t 12 耐水合板 t 15 【撤去】

3798×2192

額縁 t 40 【既存のまま】

2551×1080 （ガラリ） 【既存のまま】

目地 SUSFB9×25 【撤去】

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図
		A／19	意・構・電・設	令和８年 月 日				
図名	現況・撤去図 1階平面詳細図 (4)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所					

１級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号
１級建築士登録大臣第280194号 手島 誠
１級建築士登録大臣第350116号 野田 康広

X9 X8 X7 X6 X5 X4

7,400 7,400 8,100 8,100 8,100

Y10 Y9 Y8

中庭　共通事項
注記：　特記なき限り【既存のまま】

SUS製手摺
押え
ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ仕上
芝貼
植栽 植栽
落下防止金物
【新設】
排気口
砂利洗出し
タイル貼
ウッドデッキ （中空）
145×30 【新設】
SUS手摺H=800
【新設】
押えｺﾝ部
調整ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上
t 20 【新設】
床：タイルカーペットt7.0
下地調整
【既存のまま】
壁仕上
【新設】
LGS65型
【新設】
壁仕上
【既存のまま】
C柱
2,700
1,800
2,000r
3,900r
5,900r
-50
A
B
C
D
E
F

2,466 2,468 2,466 2,466 2,468 2,466

1,800
1,800
1,800 50 1,700 50

2,200 5,200 1,800

ふれあいプラザ
±0

フライギャラリー

ホール
±0

市民図書館

クロス貼り
【新設】
【既存のまま】
SS
壁仕上
【既存のまま】
壁 下地共
【新設】
見切材 t 40
化粧単板練付UC
【新設】
LGS65型
【新設】
LGS25型
【新設】
仕上材
下地材
【新設】
額縁 t 40
【既存のまま】
膳板 t 40：天端【家具工事】
化粧単板練付UC【新設】
2551×1080
（ガラリ）
【既存のまま】
壁仕上【既存のまま】
ｸﾛｽ貼【新設】
40 540
RA
アルミサッシ
【新設】
カバー工法
下地調整
ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ
下地調整
床：ビニル床シートt2.5
下地調整　【新設】
床：タイルカーペットt7.0
下地調整　【新設】
床：タイルカーペットt7.0【新設】
ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃt20【新設】
下地調整

1級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

工事名称	（仮称）地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図名	改修図 1階平面詳細図 （1）	A／20 意・構・電・設	令和８年　月　日				
	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所 1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠					

X4 X3 X2 X1

Y11 Y10 Y9 Y8

8,100 8,100 8,100 8,100

2,700

LGS65型【新設】

【既存のまま】

RA

2345×1280（ガラリ）【再取付】

見切材 t 40 化粧単板練付UC【新設】

壁仕上【新設】

額縁 t 40【新設】

膳板【新設】

ピット部 ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ t 100【新設】

床：タイルカーペット t 7.0
下地調整 【新設】

下地調整

壁仕上【新設】

ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 下地調整

仕上材 下地材【既存のまま】

膳板 t 40：天端【家具工事】化粧単板練付UC【新設】

540 40

床：タイルカーペット t 7.0
モルタル金ｺﾞﾃ t 20【新設】
下地調整

ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 下地調整

40 540

仕上材 下地材【既存のまま】

C柱【既存のまま】

A柱 柱上部 クロス貼【新設】

壁仕上 【既存のまま】

床：タイルカーペット t 7.0
下地調整 【新設】

市民図書館

±0

膳板 t 40 天端【家具工事】化粧単板練付UC【新設】

LGS65型【新設】

LG25型【新設】

額縁 t 40【既存のまま】

仕上材 下地材【新設】

壁仕上【新設】

床：タイルカーペット t 7.0
下地調整 【新設】

PL-1.6加工M-BE【既存のまま】

膳板：天端 化粧単板練付UC【新設】【家具工事】

ソファー 生地張替え改修【家具工事】

壁仕上【既存のまま】

腰壁【新設】

1,850 1,850

LGS65型【新設】

額縁【新設】 化粧単板練付UC

2,800 5,300 8,100 8,100

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	担当	部長	担当	設図
図名	改修図 1階平面詳細図 (2)	A／21 意・構・電・設	令和8年 月 日				
	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所					

1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広
1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠

市民図書館

±0

床：タイルカーペット t 7.0
下地調整　【新設】

床：タイルカーペット t 7.0
下地調整　【新設】

床：タイルカーペット t 7.0
下地調整　【新設】

床：タイルカーペット t 7.0
下地調整　【新設】

床：タイルカーペット t 7.0
配線用置床 t 50【新設】
下地調整

床：タイルカーペット t 7.0
配線用置床 t 50【新設】
下地調整

床：タイルカーペット t 7.0
配線用置床 t 50【新設】
下地調整

床：タイルカーペット t 7.0
下地調整　【新設】

床：タイルカーペット t 7.0
下地調整　【新設】

床：ビニル床シート t 2.0
下地調整　【新設】

A柱 柱上部 クロス貼【新設】
【既存のまま】

A柱 柱上部 クロス貼【新設】
【既存のまま】

A柱 柱上部 クロス貼【新設】
【既存のまま】

C柱
【既存のまま】

C柱
【既存のまま】

C柱
【既存のまま】

C柱
【既存のまま】

A柱に改修

A柱に改修

A柱

【既存のまま】 C柱

LSD製建具【新設】

床見切り材【新設】PL-6 SOP

スロープ

分電盤【既存のまま】

壁【新設】LGS65型【新設】

壁【新設】PB12.5（GL工法）

壁【新設】PB12.5(GL工法)

SUS製流し台 L＝1800【新設】

LGS65型【新設】

RC壁 塗装仕上EP-G【新設】

壁【新設】PB12.5(GL工法)

PB12.5【新設】LGS65型【新設】

ソファー 生地張替え改修【家具工事】

腰板：天端化粧単板練付UC【新設】【家具工事】

壁仕上【既存のまま】

【既存のまま】

【既存のまま】

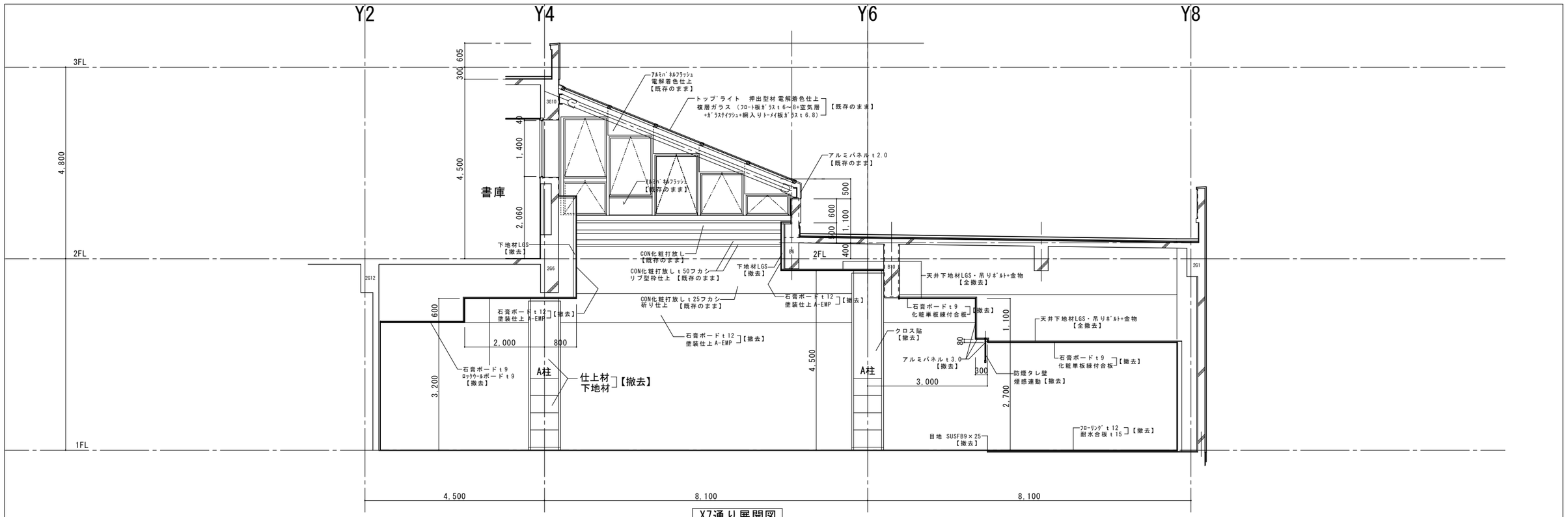
Y1 Y2 Y4 Y6 Y8
X8 X7 X6 X5
7,400 4,500 8,100 8,100
7,400 5,925 5,300 8,100 3,740 260 8,100
2,200 5,200 7,400 8,100 8,100

スロープ
【既存のまま】
GL壁 PB t 12 【既存のまま】
塗装仕上 EP-G 【新設】
RC壁塗装仕上 EP-G 【新設】
会議室
床： タイルカーペット t 7.0
下地調整 【新設】
RC壁 塗装仕上 EP-G 【新設】
3,050
1,500
1,650
階段室E
【既存のまま】
UP
倉庫3
850
RC壁調整 素地のまま
床：ビニル床シート t 2.0 下地調整 【新設】
LGS-65 【新設】
PB t 9.5+t 12.5 ｸﾛｽ貼 【新設】
LSD製建具 【新設】
掲示板用 鋼板 t 0.8 【新設】
RA
PS
壁仕上【新設】 PB12.5 ｸﾛｽ貼
PB t 12.5 素地のまま
壁【新設】 LGS-65【新設】
端子盤【既存のまま】
壁仕上【既存のまま】 ｸﾛｽ貼【新設】
【既存のまま】 リフト
前室 【新設】
850
LSD製建具【新設】
壁【新設】 LGS-65【新設】 ｸﾛｽ貼【新設】
1,500 1,000
ホール
±0
倉庫2 【新設】
GL壁 PB t 12.5 素地のまま
PB t 12.5 素地のまま 【新設】
床：ビニル床シート t 2.0 下地調整 【新設】
PB t 12.5 【新設】 素地のまま
耐火壁
【既存のまま】
ｸﾛｽ貼【新設】
1,300
LSD製建具 【新設】
壁【新設】 LGS-65【新設】
PB t 9.5+t 12.5 ｸﾛｽ貼【新設】
掲示板用 鋼板 t 0.8 【新設】
耐火壁
1,450 1,050
床：ビニル床シート t 2.5 下地調整 【新設】
【既存のまま】 SS
【既存のまま】

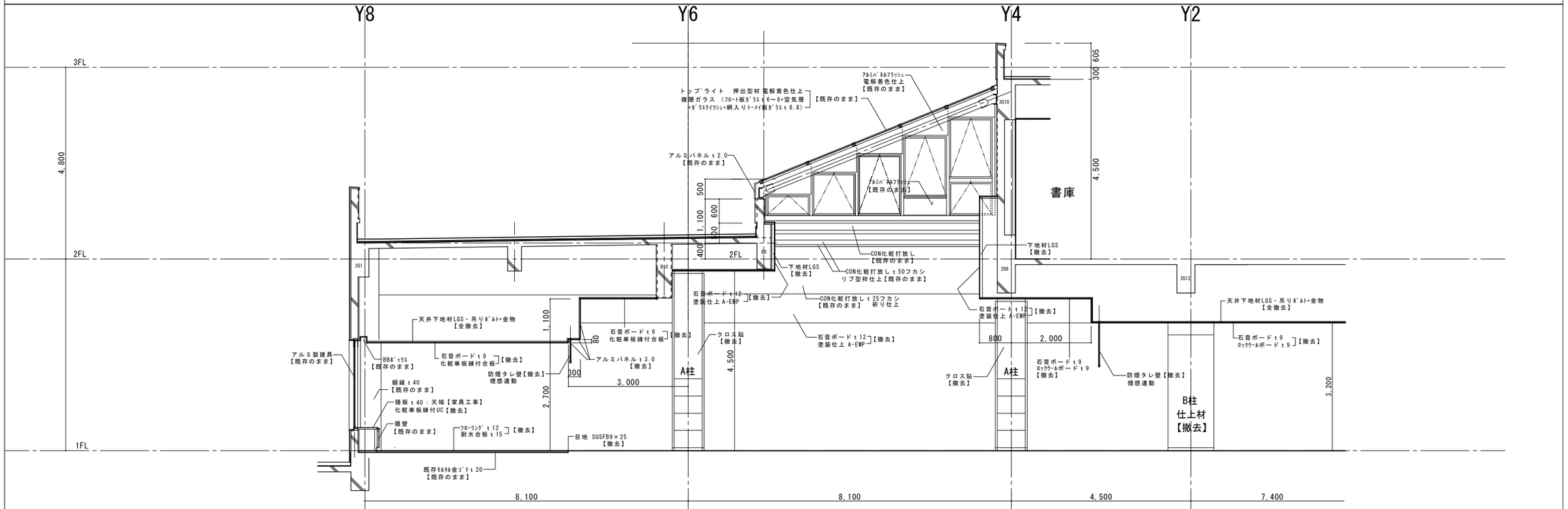
RC壁塗装仕上 EP-G 【新設】
便所L
便所M
便所N
トイレブース【新設】
洋風便器 【新設】
改修図は別図参照
RA
片引き扉 【新設】
前室
壁仕上【既存のまま】 ｸﾛｽ貼【新設】
壁仕上・下地 【新設】
冷水器【既存のまま】
壁仕上 【既存のまま】
1,200 2,500 1,600
1,255 50 1,255 50 2,000 50 1,255 50 1,255
1,635 50 1,635 50 1,635 50 1,635
柱上部 ｸﾛｽ貼【新設】
A柱
SUS製建具 【新設】
自動扉 1,800
（有効巾）
柱壁仕上 下地共 【新設】
車椅子 3台
2,100
（排煙区画） 上部 防煙垂れ壁 H=600【新設】
壁下地共 【新設】
LGS-100 【新設】
見切材 t 40 化粧単板練付UC 【新設】
タイルカーペット 下地調整
タイルカーペット モルタル金ｺﾞﾃ 下地調整
仕上材 下地材 【新設】
額縁 t 40 【既存のまま】
1,670 50 1,665 50
SUS製建具 【新設】
風除室3
±0
自動扉 1,600 （有効巾）
SUS製建具【新設】
SUS製建具【新設】
1,800 50 780 720 50
床仕上 【新設】 下地
床：【既存のまま】
壁仕上・下地 【新設】
壁仕上【既存のまま】 ｸﾛｽ貼【新設】
床：ビニル床シート t 2.5 下地調整 【新設】
LGS-65 【新設】
投入口 SUS製
ブック ポスト 【新設】
LGS-100 【新設】
LSD製建具 【新設】
柱壁仕上 下地共 【新設】
385 385 850
2,200 3,740
DN 【既存のまま】
LSD製建具【新設】
A柱
柱上部 ｸﾛｽ貼【新設】
石膏ボード t 12.5 GL工法 【新設】
SUS製流し台 L＝1800【新設】
壁【新設】 LGS-65 【新設】
分電盤 【既存のまま】
スロープ
壁仕上 下地共 【新設】
柱壁仕上 下地共 【新設】
1,450
床：タイルカーペット t 7.0 配線用置床 t 50【新設】 下地調整
床：タイルカーペット t 7.0 配線用置床 t 50【新設】 下地調整
100 800 900
事務室
+50
LGS-65 【新設】
壁【新設】
+50
石膏ボード t 12.5 GL工法 【新設】
A柱に改修
市民図書館
±0
床：タイルカーペット t 7.0 下地調整 【新設】
床：タイルカーペット t 7.0 下地調整 【新設】
モルタル金ｺﾞﾃ【新設】 t 20 下地調整
（ガラリ） 【既存のまま】
仕上材 下地材 【既存のまま】
RA
壁仕上【既存のまま】
額縁 t 40 【既存のまま】
4,800 2,600

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	担当					
		A／23 意・構・電・設	令和8年 月 日	担当	部長	担当	設図		
図名	改修図 1階平面詳細図 (4)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所						

1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広
1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠



X7通り展開図

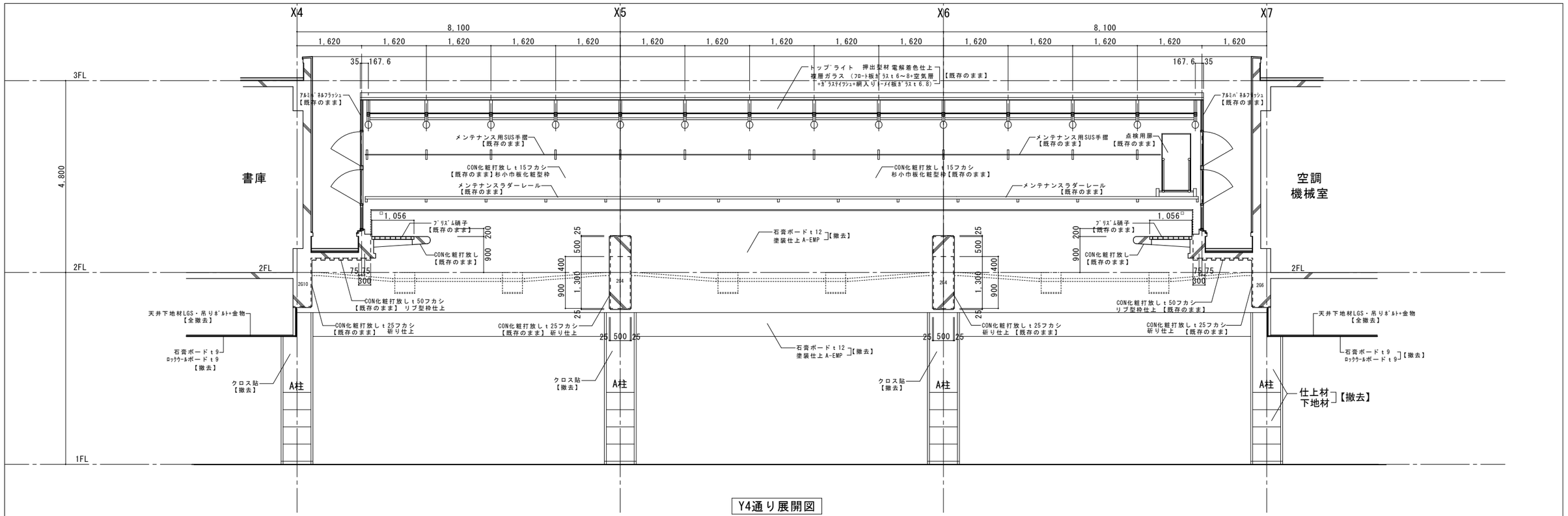


X4通り展開図

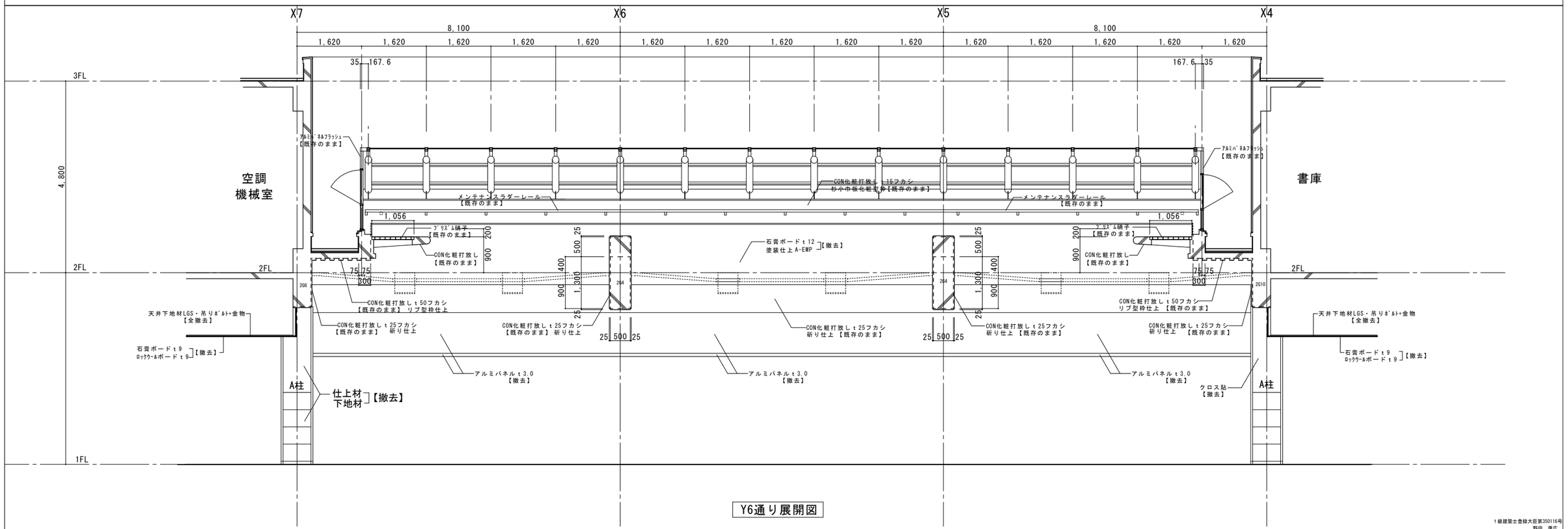
1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図
図名	現況・撤去図 1階展開図 (1)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	A／24 意・構・電・設	令和8年 月 日				

株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録一福岡県知事登録第1一11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠



Y4通り展開図

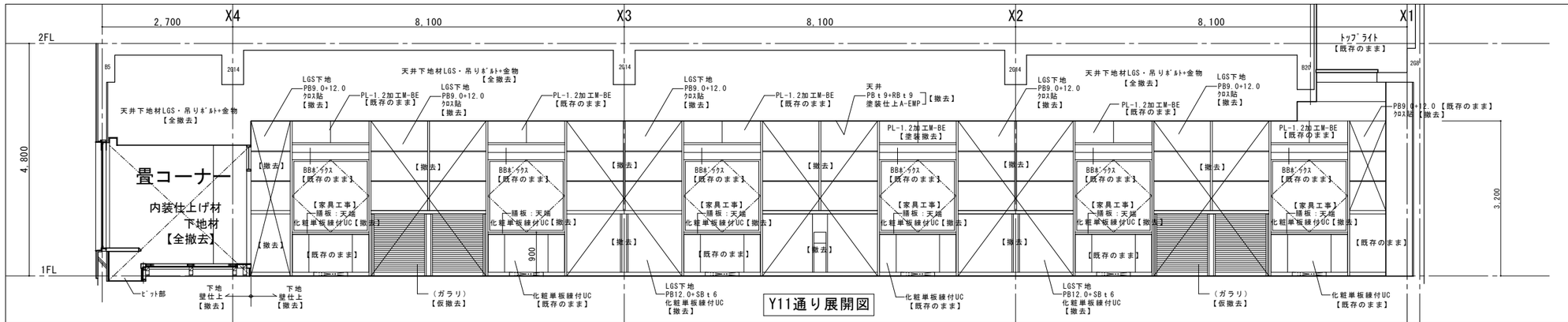


Y6通り展開図

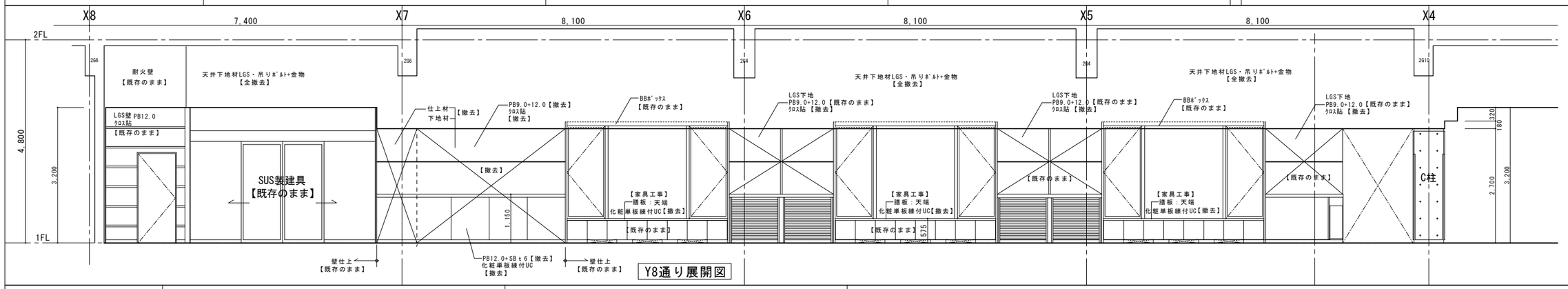
1級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図名	現況・撤去図 1階展開図 (2)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	A／25 意・構・電・設	令和８年　月　日				

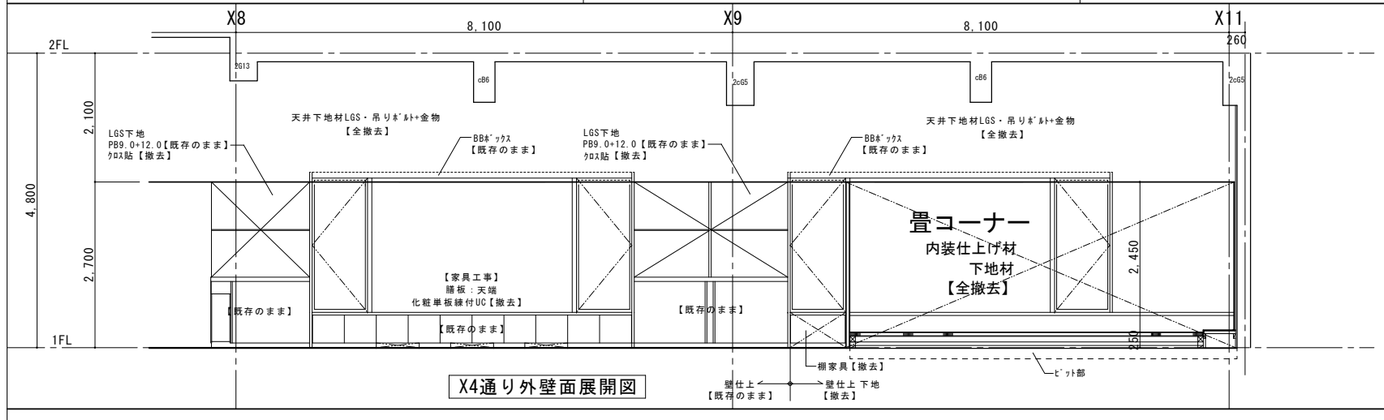
株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号
1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠



Y11通り展開図



Y8通り展開図

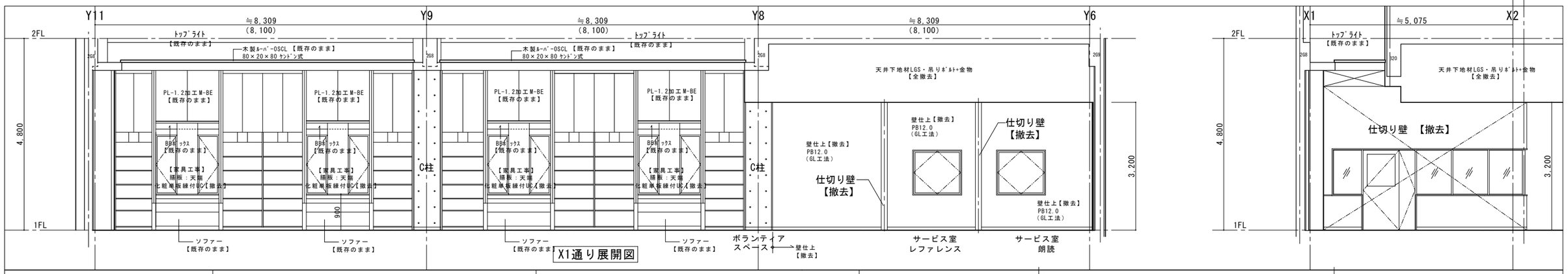


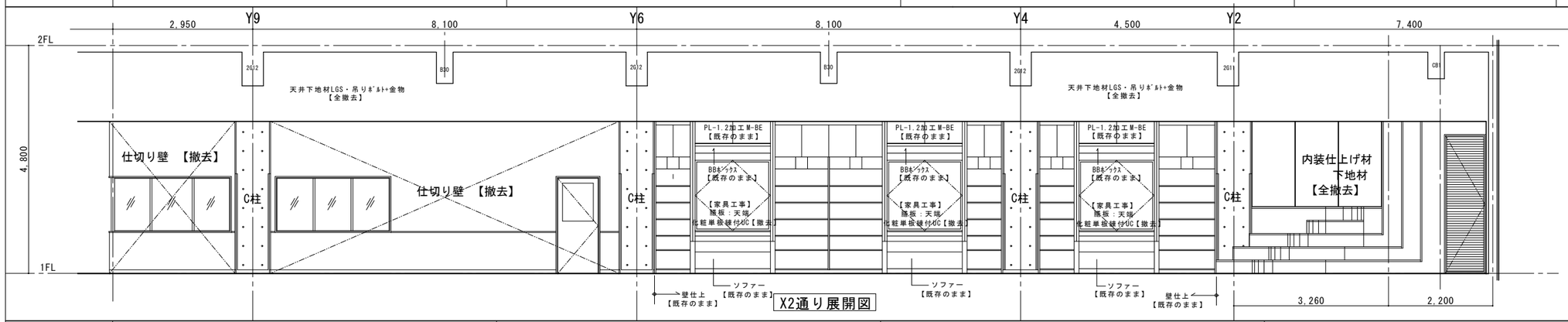
X4通り外壁面展開図

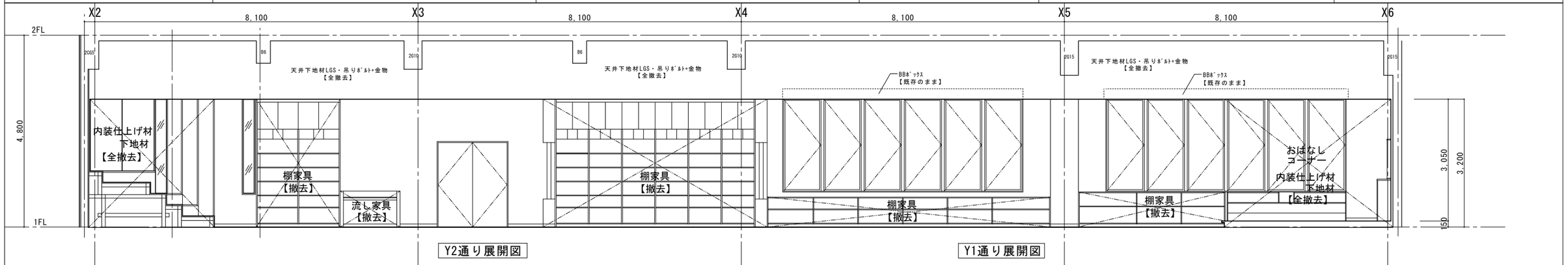
1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

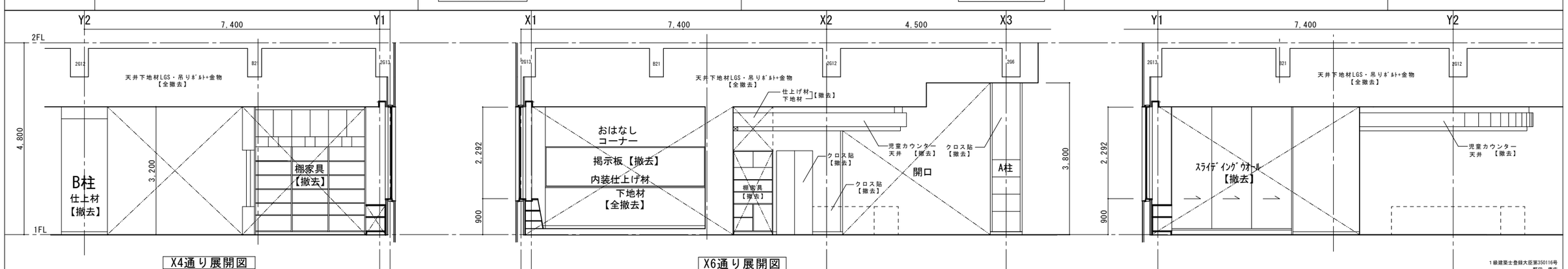
工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図	
図名	現況・撤去図 1階展開図 (3)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	A／26 意・構・電・設	令和８年 月 日				

株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠



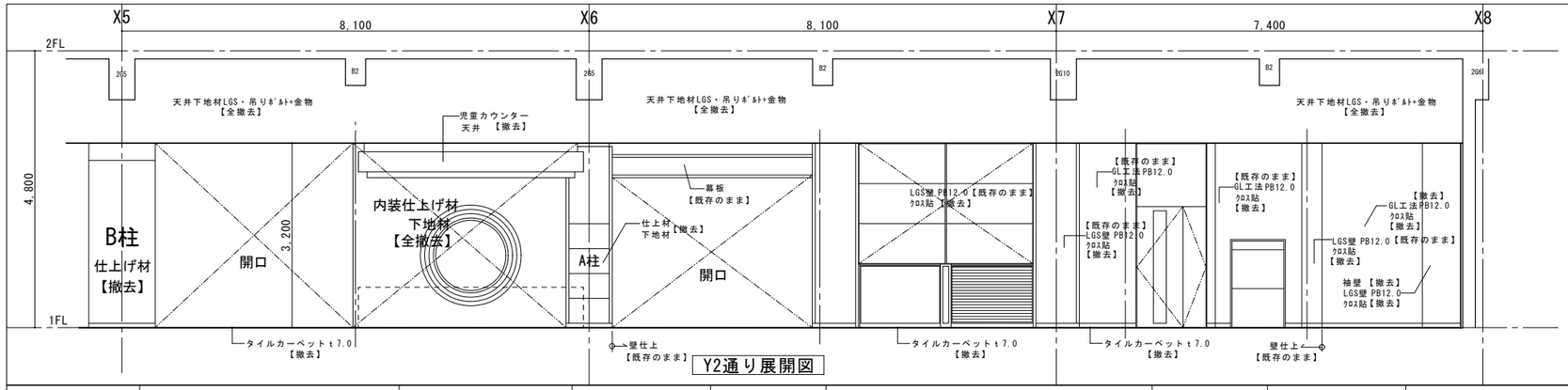




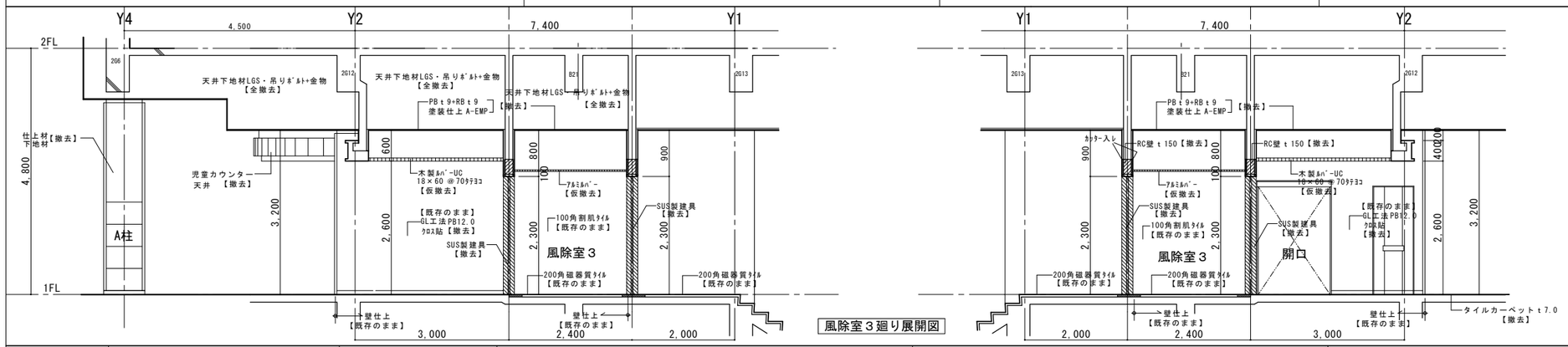


1級建築士登録大臣第350116号
野田 直広

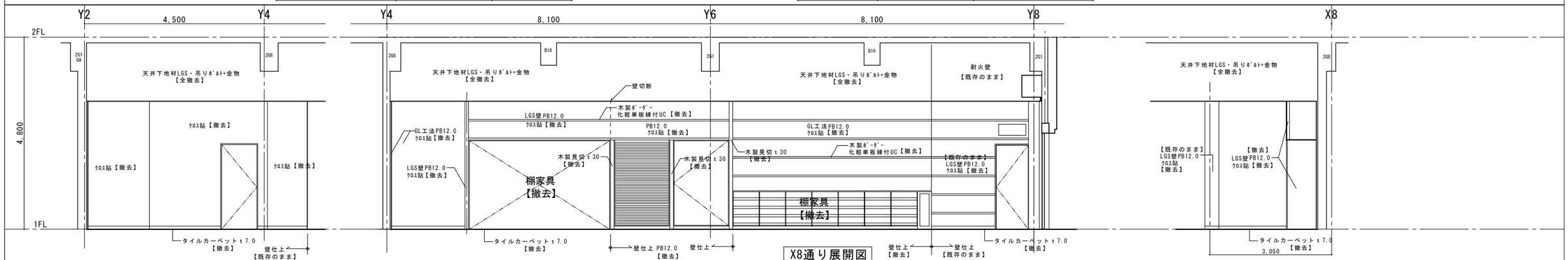
工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図	
図名	現況・撤去図 新館 1階展開図 (4)	A/27 意・構・電・設	令和8年 月 日					
	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録一福岡県知事登録第1一11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠					



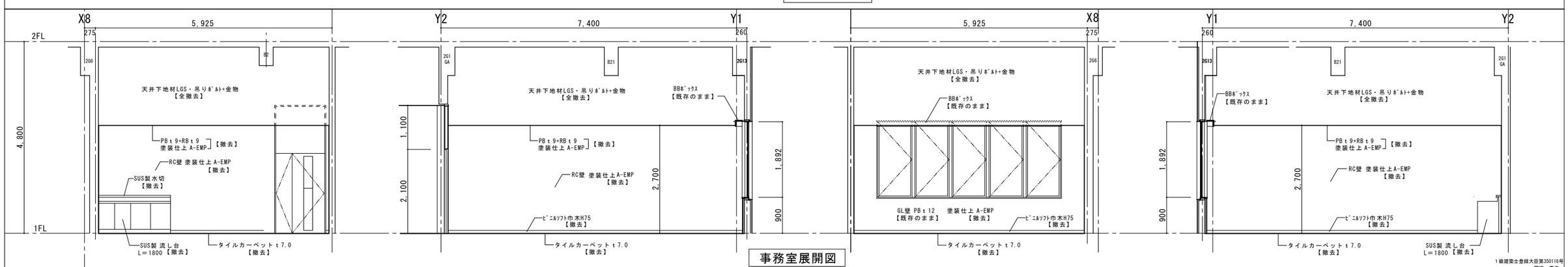
Y2通り展開図



風除室３廻り展開図



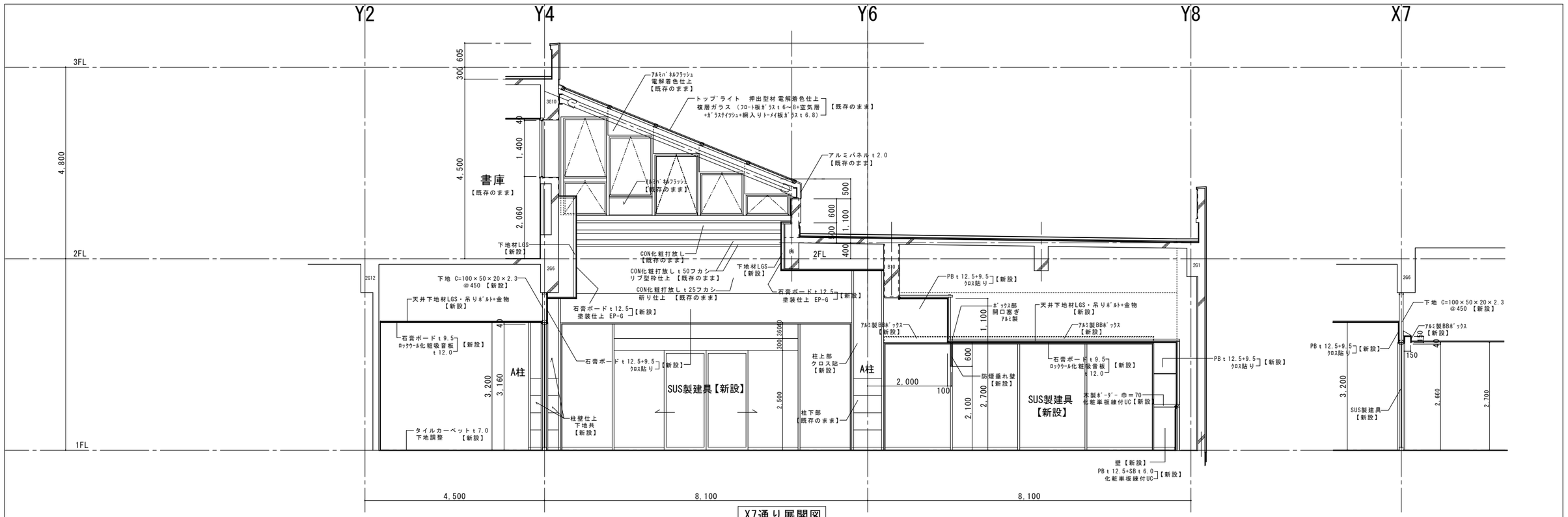
X8通り展開図



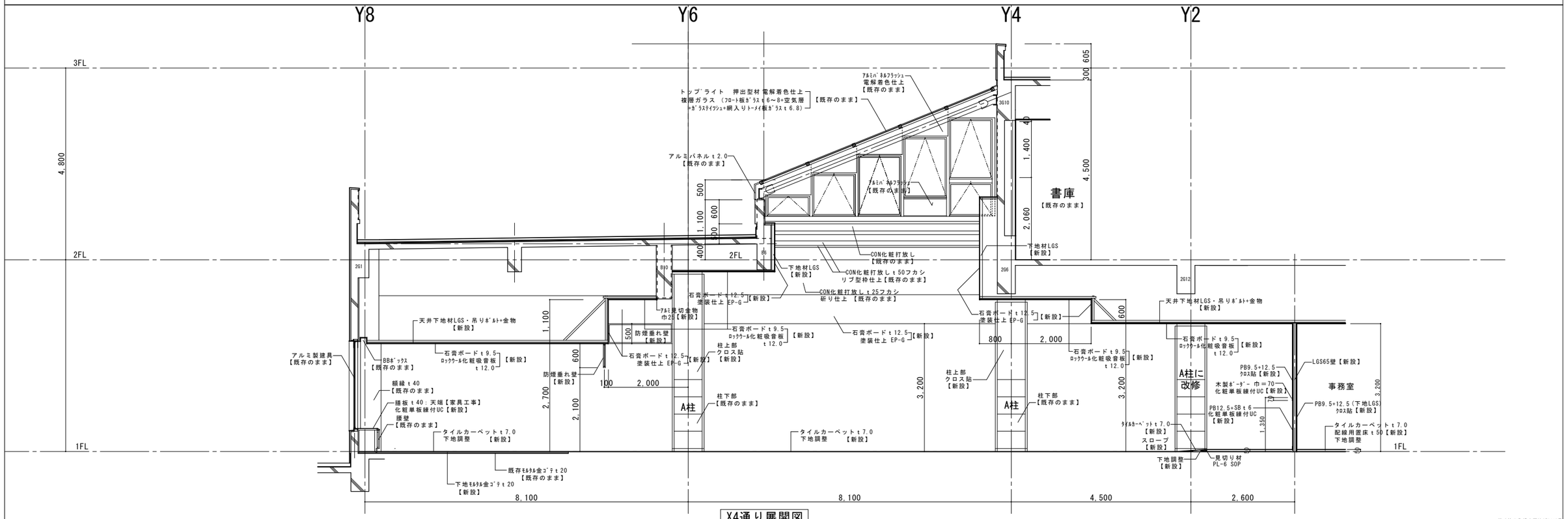
事務室展開図

１級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図名	現況・撤去図 1階展開図 (5)	A／28 意・構・電・設	令和８年 月 日				
		縮尺 A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所	１級建築士事務所登録一福岡県知事登録第1一11499号 １級建築士登録大臣第280194号 手島 誠			



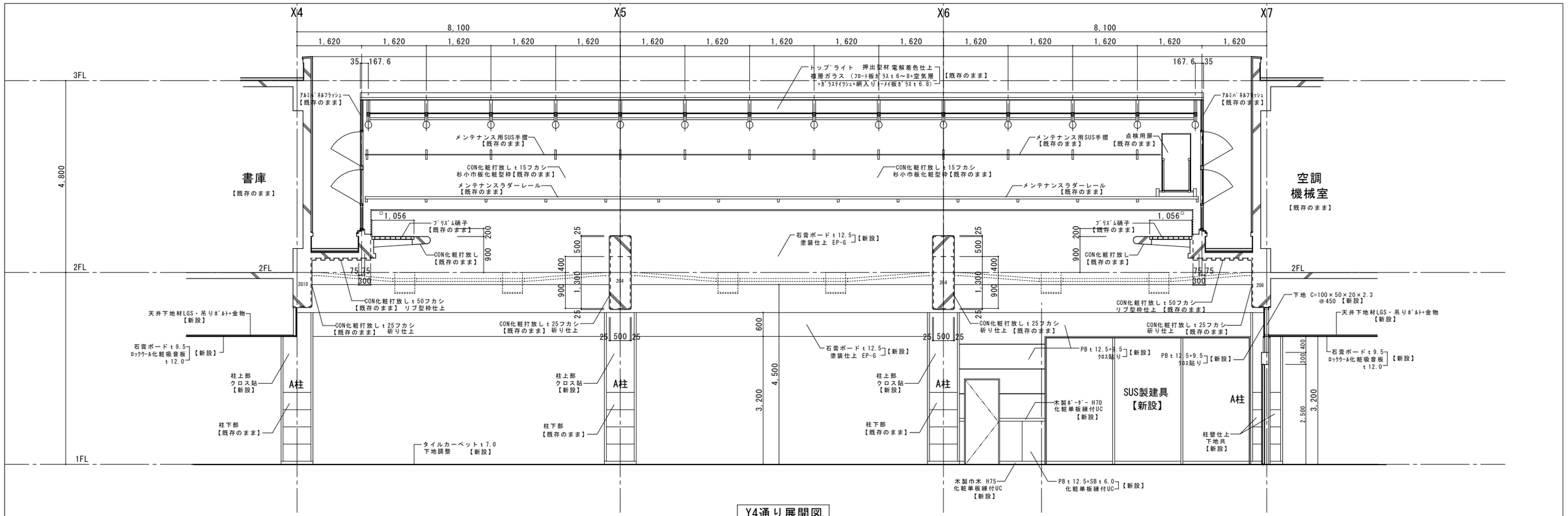
X7通り展開図



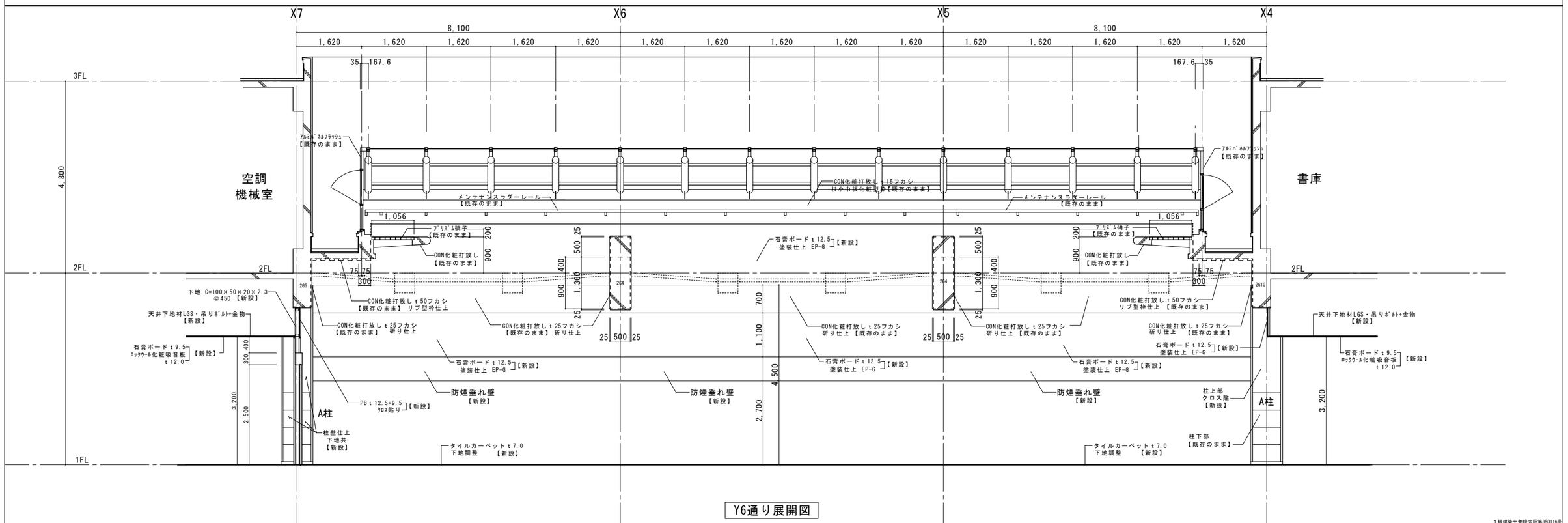
X4通り展開図

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図
図名	改修図 1階展開図 (1)	A/29 意・構・電・設		令和8年 月 日				
		縮尺	A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録一福岡県知事登録第1一11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠			



Y4通り展開図

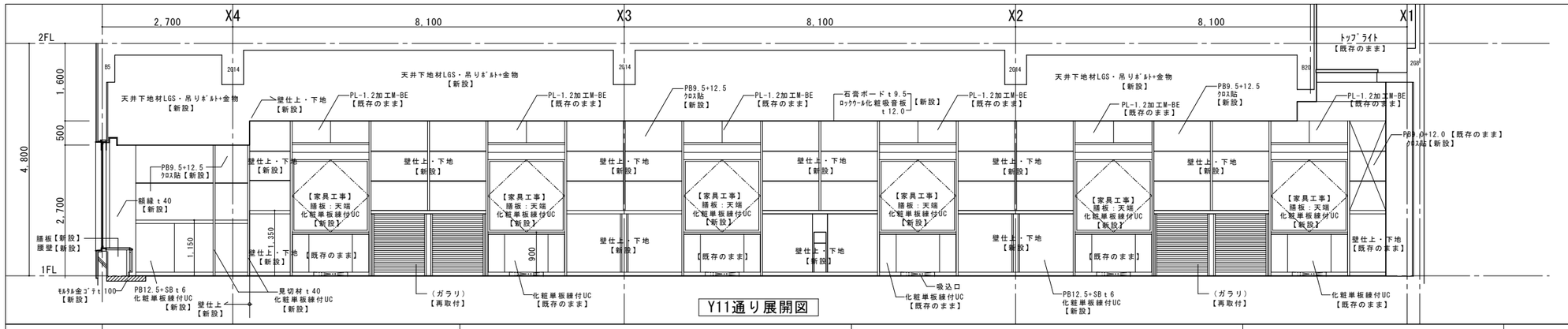


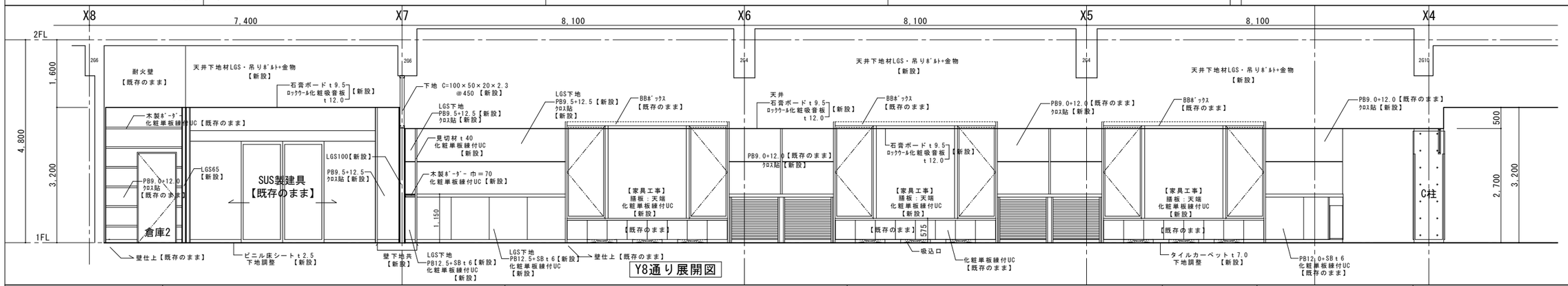
Y6通り展開図

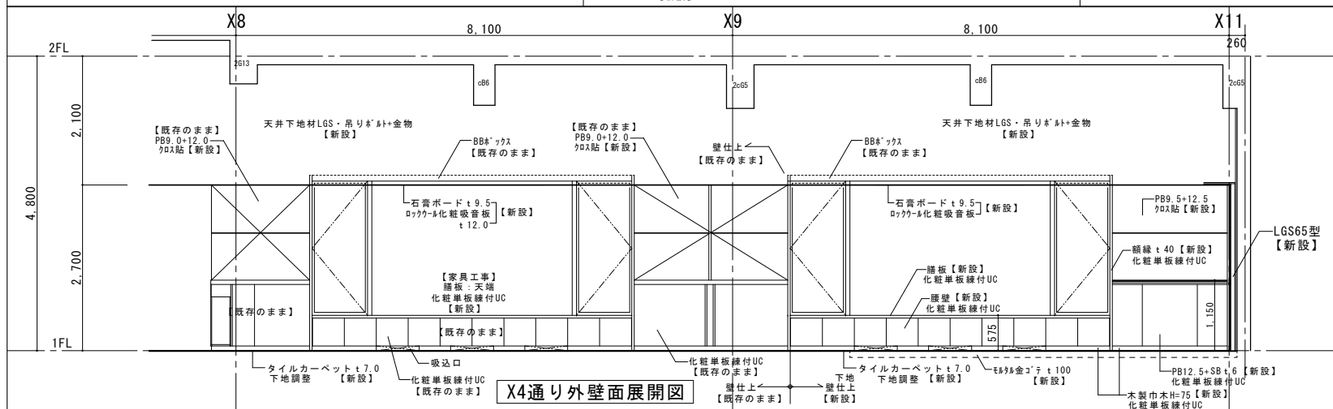
1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

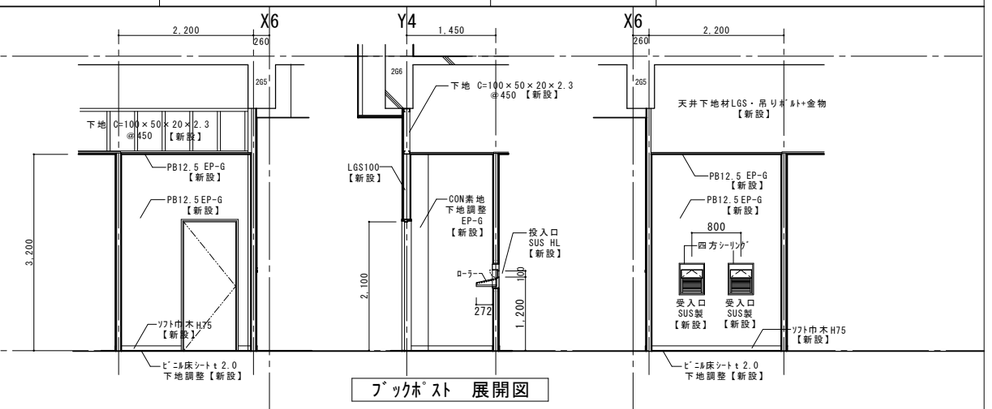
工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図名	改修図 1階展開図 (2)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	A/30 意・構・電・設	令和8年 月 日				

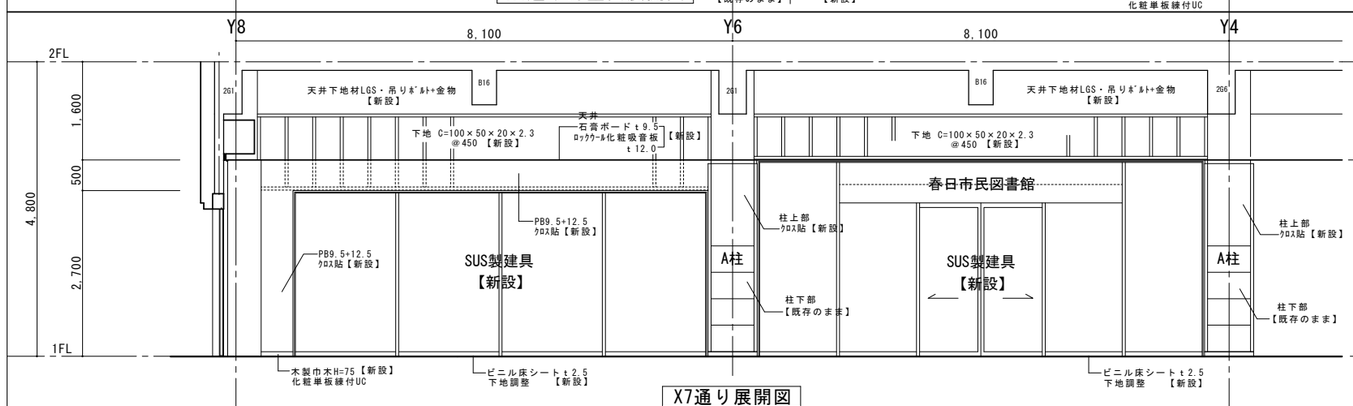
株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠

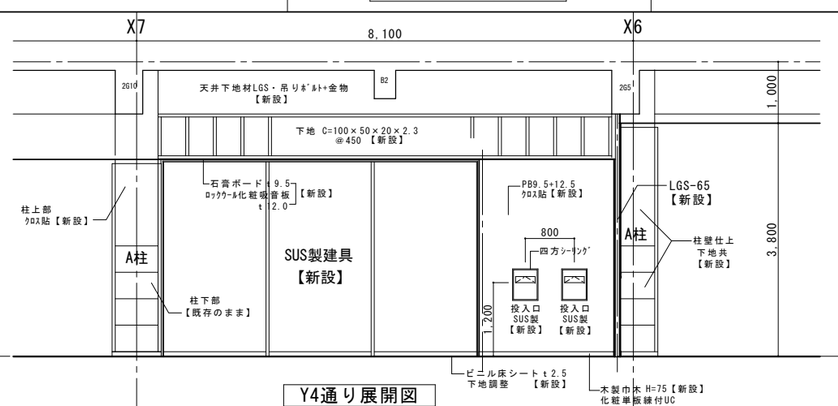






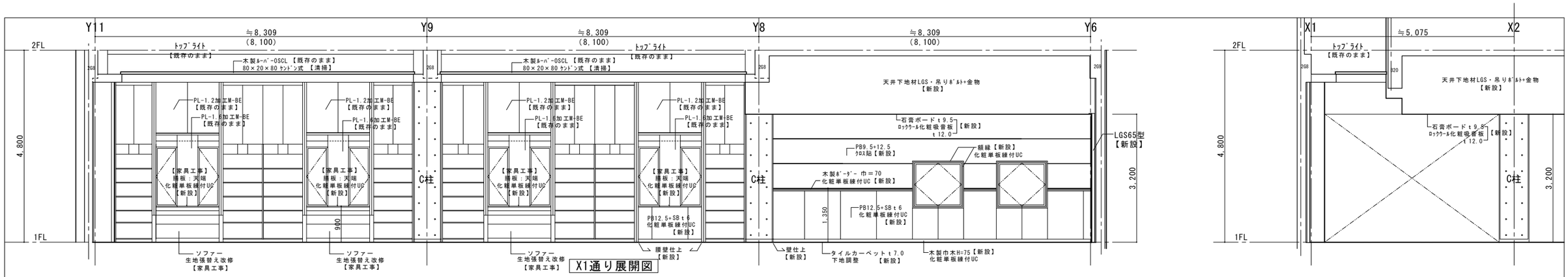


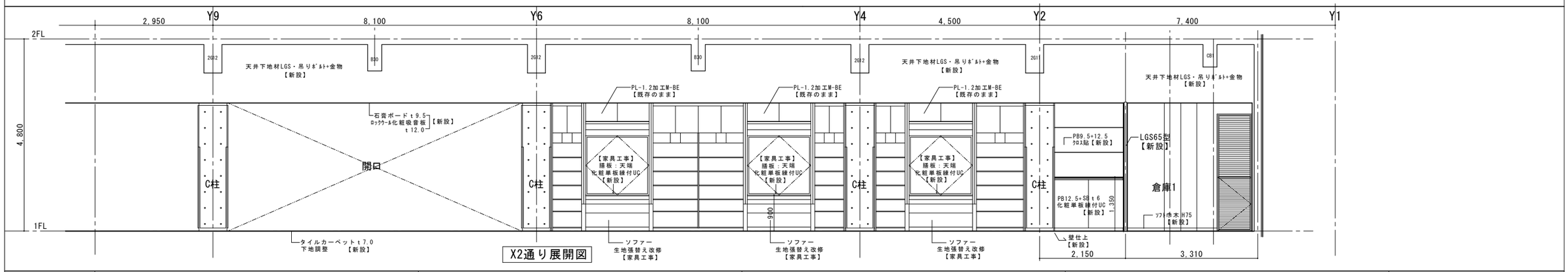


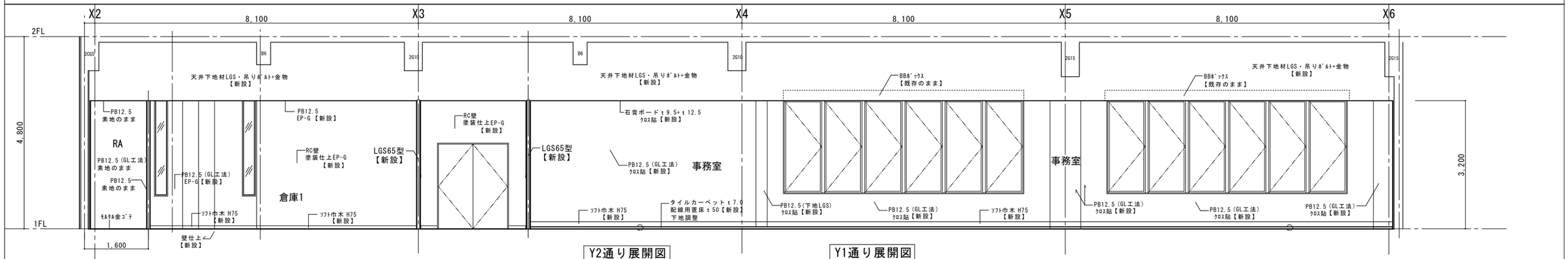


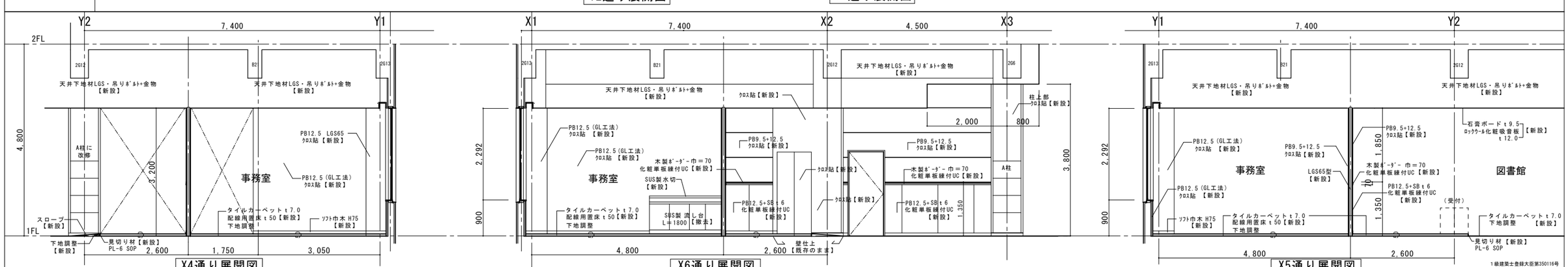
1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図名	改修図 1階展開図 (3)	A/31 意・構・電・設	令和8年 月 日				
	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠				



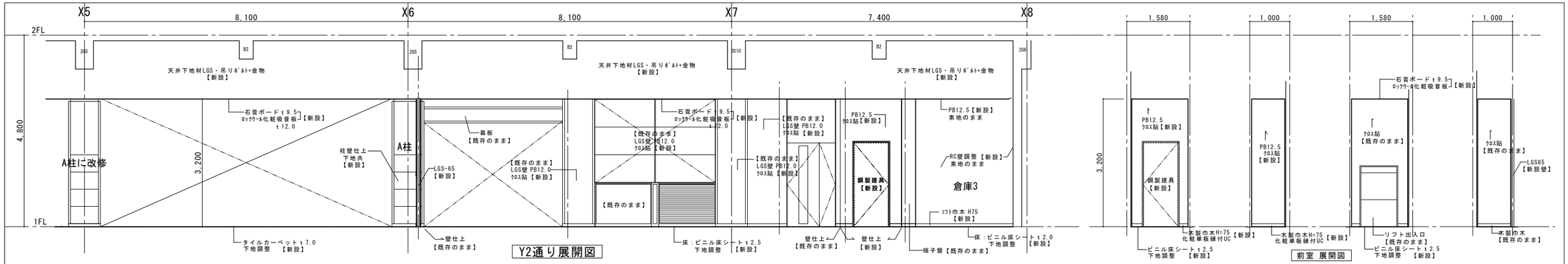


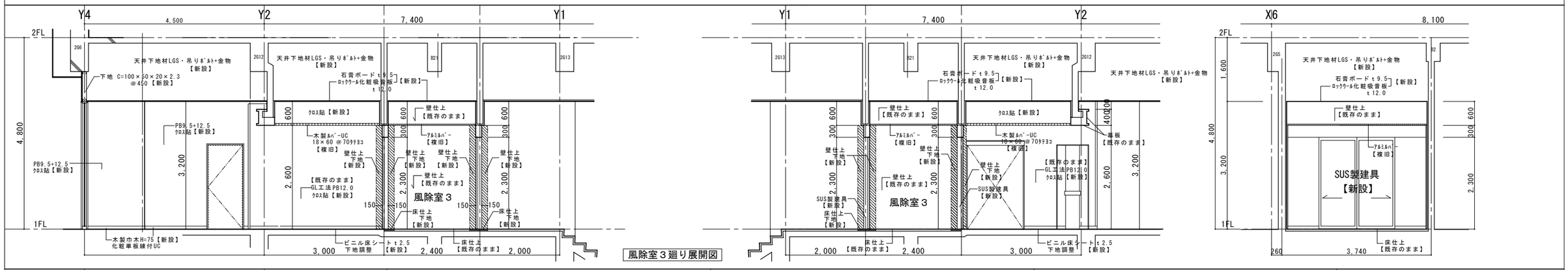


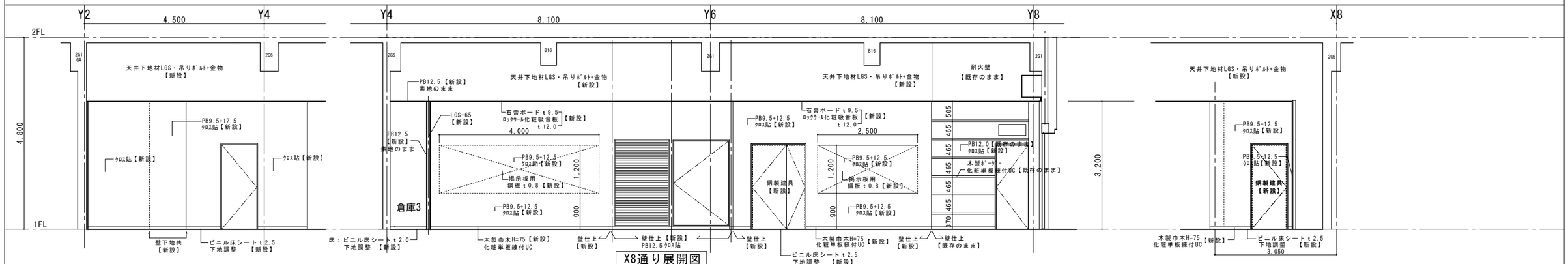


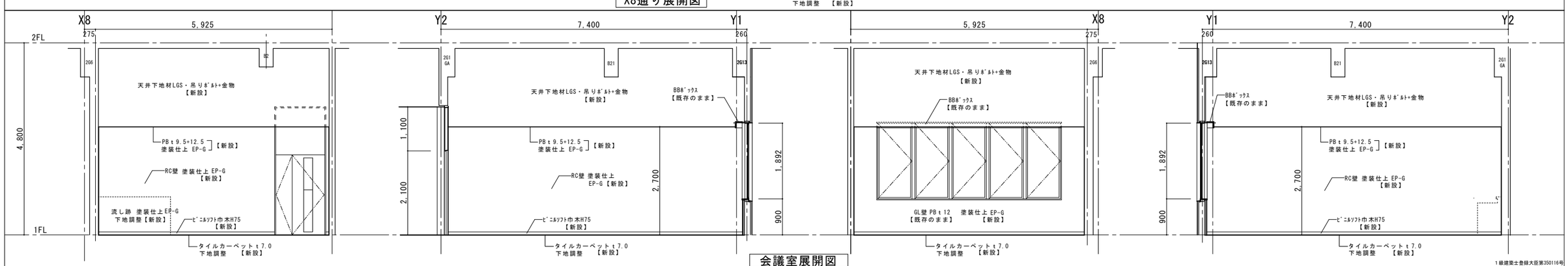
工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図
		A／32	意・構・電・設	令和8年 月 日				
図名	改修図 1階展開図 (4)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100		株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠			

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広



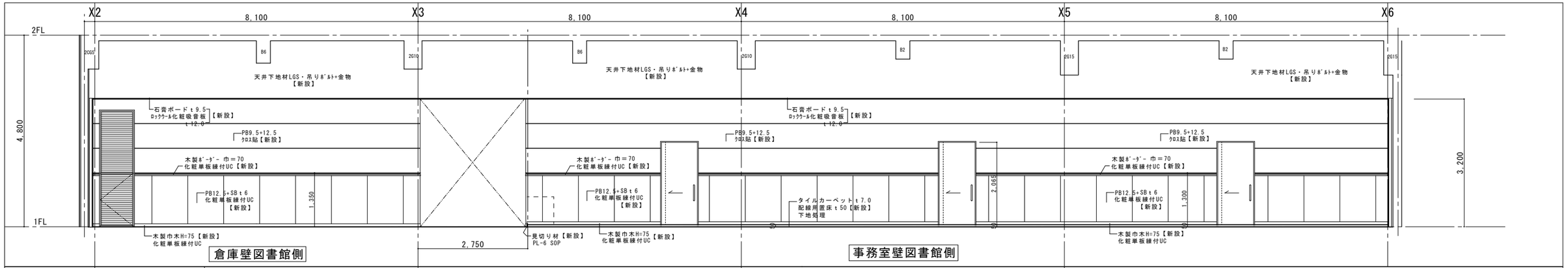


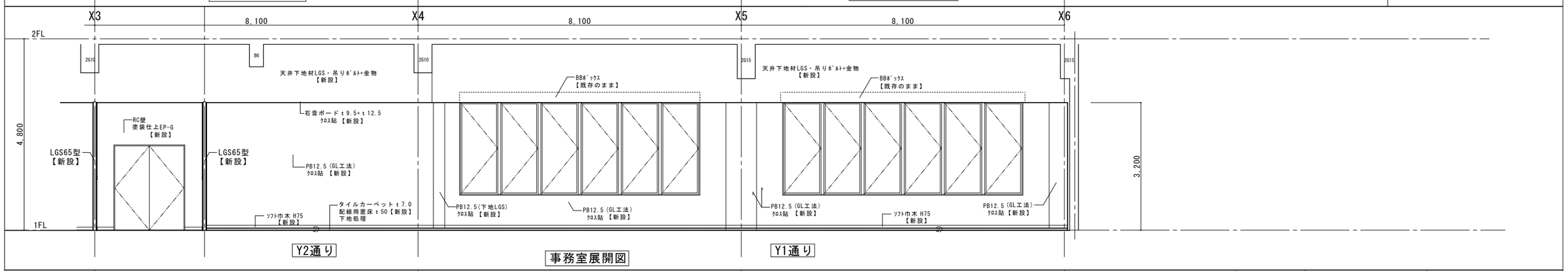


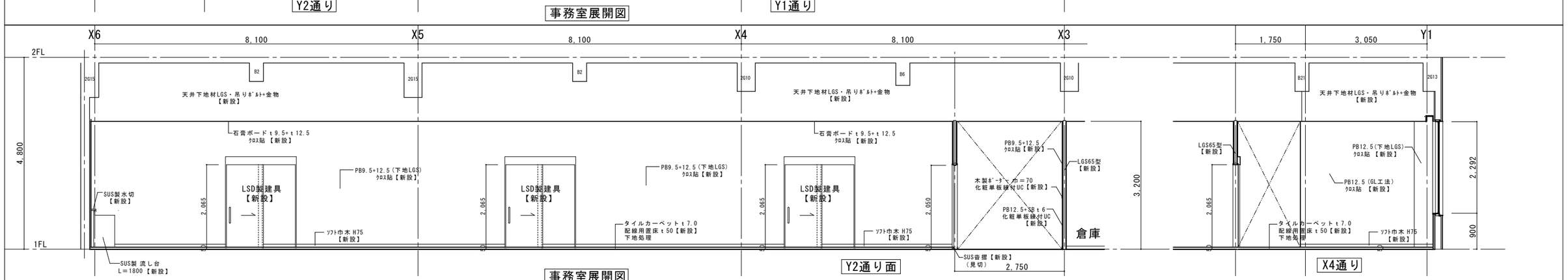


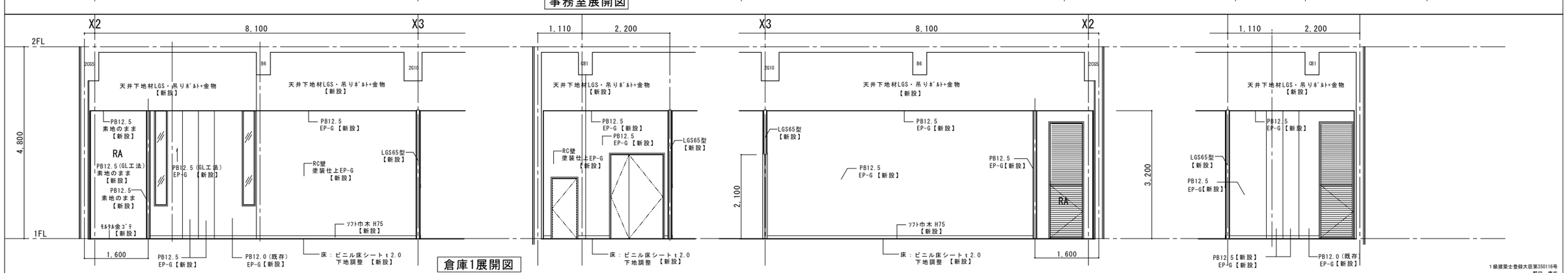
1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図
図名	改修図 1階展開図 (5)	A/33 意・構・電・設	令和8年 月 日					
		縮尺 A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録一福岡県知事登録第1一11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠				









1級建築士登録大臣第350116号
野田 直広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図	
図名	改修図 1階展開図 (6)	A／34	意・構・電・設	令和8年 月 日					
		縮尺 A1:1/50 A3:1/100							

株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠

X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1

7,400 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100

Y12 Y11 Y10 Y9 Y8 Y6 Y4 Y2 Y1

2,200 2,800 5,300 8,100 8,100 46,500 8,100 4,500 7,400

700

ホール
市民図書館
事務室
駐輪場
会議室
倉庫1
倉庫2
倉庫3
階段室E
階段室D
リフト
便所M
便所L
風除室3
ブックポスト【既存】
ブックポスト【新設】
前室【新設】
スロープ
PS
RA
EPS
EV
消火栓
UP
DN

トップライト 排煙窓

C柱 A柱 B柱→A柱に改修

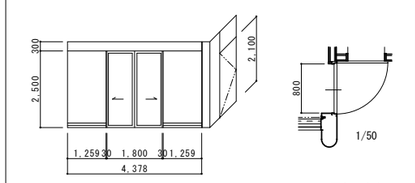
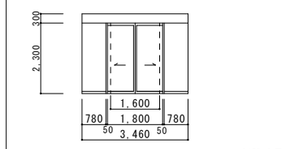
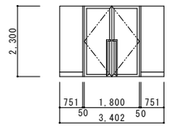
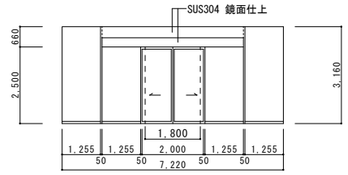
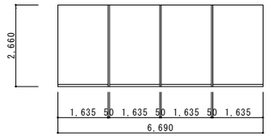
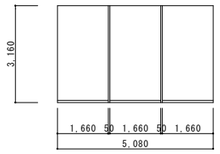
AD1 AW1 AW2 AW3 AW4 AW5 AW6 AW7 AW8 AW9 AW10 AW11
SG1 SG2 SG4 SG5
SS1 SSD1 SSD2 SSD3 SSD4 SSD5 SSD6
SD1 SD2 SD3 SD4 SD5 SD6
LSD1 LSD2 LSD3 LSD4 LSD5 LSD6
TB1 TB2 TB3 TB4
WD1

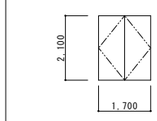
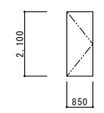
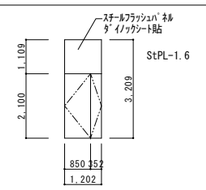
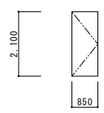
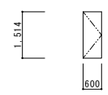
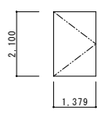
【仮撤去・再取付】
【新設】
【既存】
【改修前】
【改修後】
（防火設備）
SUS製建具 【新設】
SUS製流し台 【新設】L=1800
自動扉

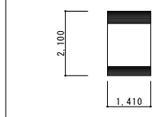
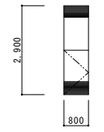
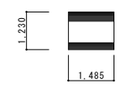
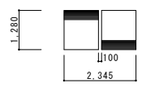
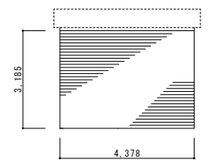
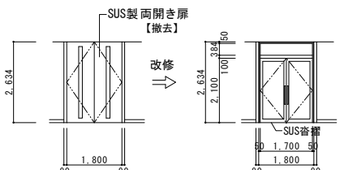
既存建具
新設建具

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	設図
図名	改修図 1階建具符号図	A／35 意・構・電・設	令和8年 月 日				
		縮尺 A1:1/100 A3:1/200	株式会社 手島建築設計事務所				

1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広
1級建築事務所登録一福岡県知事登録第1一11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠

名　称	SSD 1 ステンレス引分け自動ドア　及び　ステンレス片開き防火ドア	SSD 2 ステンレス引分け自動ドア	SSD 3 ステンレス両開きドア	SSD 4 ステンレス引分け自動ドア　袖 嵌め殺し窓	SSD 5 ステンレス嵌め殺し窓	SSD 6 ステンレス嵌め殺し窓
寸　法	4378＋800×2500	3460×2300	3402×2300	7220×3160　防火設備	6690×2660　防火設備	5080×3160　防火設備
附 属 物						
附属金物	一式　ﾄﾞｱｴﾝｼﾞﾝ　天井ｾﾝｻｰ　ﾋﾞﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ　ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ　ﾄﾞｱﾁｪｯｸ（ｽﾄｯﾌﾟなし）	一式　ﾄﾞｱｴﾝｼﾞﾝ　天井ｾﾝｻｰ　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠（ｻﾑﾀｰﾝ付き）	一式　ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ　ﾌﾗｽ落とし　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠（ｻﾑﾀｰﾝ付き）	一式　ﾄﾞｱｴﾝｼﾞﾝ　天井ｾﾝｻｰ　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠（ｻﾑﾀｰﾝ付き）		
硝　子	強化ｶﾞﾗｽ t 10　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠（ｻﾑﾀｰﾝ付き）	ドア 透明ﾌﾛｰﾄ t 10　袖 透明ﾌﾛｰﾄ t 10	ドア 透明ﾌﾛｰﾄ t 8　袖 透明ﾌﾛｰﾄ t 10　押棒	ドア 網入り透明ガラス t 10　袖 網入り透明ガラス t 10	網入り透明ガラス t 10	網入り透明ガラス t 10
使用場所	図書館出入口	風除室３	風除室３	図書館出入口	図書館出入口	図書館出入口
数　量	１カ所	2カ所	2カ所	１カ所	１カ所	１カ所
仕　上	鏡面ﾊﾌ仕上	鏡面仕上	鏡面仕上	鏡面仕上	鏡面仕上	鏡面仕上
枠 見 込	自動ドア部150　片開きドア部100	自動ドア部150	開きドア部100	自動ドア部180　袖 100	100	100
姿　図	 現況図：既存のまま	 新設建具	 現況図：撤去	 新設建具	 新設建具	 新設建具

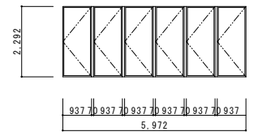
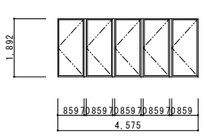
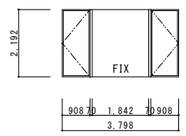
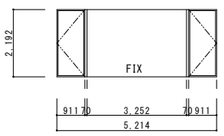
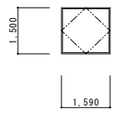
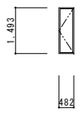
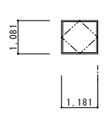
名　称	SD 1 スチール両開きドアー	SD 2 スチール片開きドアー	SD 3 スチール親子開きドアー	SD 4 スチール片開きドアー	SD 5 スチール片開きドアー	SD 6 スチール片開きドアー			
寸　法	1700×2100	850×2100	1202×3209	850×2100	600×1514	1379×2100			
附 属 物	ｽﾁｰﾙ製額縁	ｽﾁｰﾙ製額縁	ｽﾁｰﾙ製額縁		ｽﾁｰﾙ製額縁				
附属金物	ﾋﾞﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ　ﾄﾞｱﾁｪｯｸ（ｽﾄｯﾌﾟなし）　ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ	ﾋﾞﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ　ﾄﾞｱﾁｪｯｸ（ｽﾄｯﾌﾟなし）　ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ	ﾋﾞﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ　ﾄﾞｱﾁｪｯｸ（ｽﾄｯﾌﾟなし）　ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ	ﾋﾞﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ　ﾄﾞｱﾁｪｯｸ（ｽﾄｯﾌﾟなし）　ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ	ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ（ｽｯﾌﾟ有）　ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠	ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ（ｽﾄｯﾊﾟｰ有）　ﾌﾟｯｼｭﾌﾟﾙ点検口錠			
硝　子	ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠（ｻﾑﾀｰﾝ付き）　ﾌﾗｽ落とし	ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠（ｻﾑﾀｰﾝ付き）　ﾌﾗｽ落とし	ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠（ｻﾑﾀｰﾝ付き）	ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠					
使用場所	EVﾎｰﾙ	階段室E　出入口	会議室	ﾌﾞｯｶﾎﾞｽﾄ	EPS 点検口	図書館 PS			
数　量	１カ所	１カ所	１カ所	１カ所	１カ所	1カ所			
仕　上	SOP	SOP	化粧単板練付合板UC　枠：ｳﾚﾀﾝﾒﾀﾘｯｸ	片面 化粧単板練付合板UC　SOP	SOP	ｳﾚﾀﾝﾒﾀﾘｯｸ塗装			
枠 見 込	100	100	100	100	100	90			
姿　図	 現況図：既存のまま【塗装塗替】	 現況図：既存のまま【塗装塗替】	 現況図：既存のまま【塗装塗替】	 現況図：既存のまま【塗装塗替】	 現況図：既存のまま【塗装塗替】	 現況図：既存のまま【塗装塗替】			

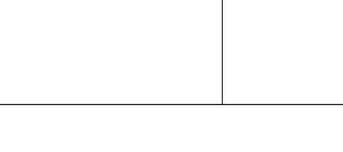
名　称	SG 1 スチールガラリ	SG 2 SG 2 スチールガラリ	SG 3 スチールガラリ	SG 4 スチールガラリ	SG 5 スチールガラリ		SS 1 スチール製 防火防煙ｼｬｯﾀｰ	AD 1 SUS製 両開き扉 【撤去】	AD 1 アルミ製 両開き扉 【新設】
寸　法	1410×2100　4分割	800×2900　下部開閉式	1485×1230	2551×1080	2345×1280		4378×3185	1800×2634	1700×1584
附 属 物							煙感連動閉鎖　防火設備		カバー工法 【新設】
附属金物							ガイドレール・座板・マグサ SUS製　手動開閉装置		丁番 ﾄﾞｱﾁｪｯｸ ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠（ｻﾑﾀｰﾝ付き）押棒　ﾌﾗｽ落し
硝　子							ｼｬｯﾀｰBOX（天井内） ｽｲｯﾁBOX（埋込み）		透明ﾌﾛｰﾄ t 8
使用場所	図書館 RA	図書館 RA	図書館 RA	図書館 RA	図書館 RA		図書館出入口		中庭出入口
数　量	1カ所	新設1カ所　既存1カ所	１カ所	2カ所	2カ所		１カ所		１カ所
仕　上	ﾒﾗﾐﾝ系塗料焼付	ﾒﾗﾐﾝ系塗料焼付	ﾒﾗﾐﾝ系塗料焼付	ﾒﾗﾐﾝ系塗料焼付	ﾒﾗﾐﾝ系塗料焼付		SOP		電解着色
枠 見 込	80	80	80	80	80			100	100
姿　図	 現況図：既存のまま	 新設建具 現況図：既存のまま	 現況図：既存のまま	 現況図：既存のまま	 現況図：【仮撤去・再取付】		 現況図：既存のまま	 現況図　改修図	

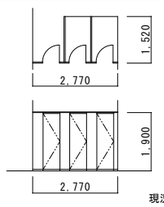
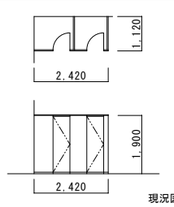
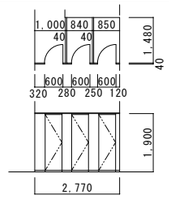
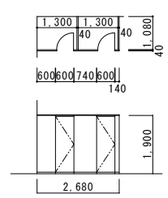
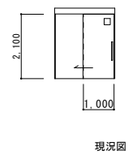
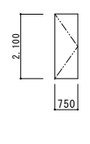
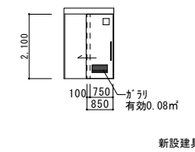
名　称									
寸　法									
附 属 物									
附属金物									
硝　子									
使用場所									
数　量									
仕　上									
枠 見 込									
姿　図									

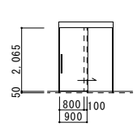
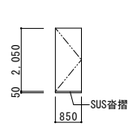
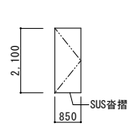
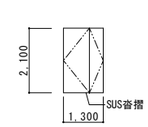
1級建築士登録大臣第350116号
野田　廉広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図　名	現況・撤去図　改修図 建具リスト（1）	A／36　意・構・電・設	令和８年　月　日				
	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠				

名　称	AW 1 アルミ片開き窓	AW 2 アルミ片開き窓	AW 3 アルミ嵌め殺し窓 片開き窓	AW 4 アルミ嵌め殺し窓 片開き窓	AW 5 アルミ竪軸回転窓	AW 6 アルミ片開き窓	AW 7 アルミ竪軸回転窓	
寸　法	5972×2292	4575×1892	3798×2192	5214×2192	1590×1500	482×1493	1181×1081	
附属物	外部ｱﾙﾐFB付き	外部ｱﾙﾐFB付き	外部ｱﾙﾐFB付き	外部ｱﾙﾐFB付き	外部ｱﾙﾐFB付き　ｱﾙﾐ結露受けｱﾝｸﾞﾙ	外部ｱﾙﾐFB付き	外部ｱﾙﾐFB付き　ｱﾙﾐ結露受けｱﾝｸﾞﾙ	
附属金物	一式　ﾋﾞﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ　ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ　ｱｰﾑｽﾊﾞｰ	一式　ﾋﾞﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ　ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ　ｱｰﾑｽﾊﾞｰ	一式　ﾋﾞﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ　ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ　ｱｰﾑｽﾊﾞｰ	一式　ﾋﾞﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ　ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ　ｱｰﾑｽﾊﾞｰ	一式	一式　ﾋﾞﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ　ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ　ｱｰﾑｽﾊﾞｰ	一式	
硝　子	透明ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽｔ6	透明ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽｔ6	嵌め殺し：透明ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽｔ8　片開き：透明ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽｔ6	透明ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽｔ6	透明ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽｔ6	透明ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽｔ6	透明ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽｔ6	
使用場所	図書館事務室	図書館会議室	図書館	図書館	図書館	図書館	図書館	
数　量	2ヵ所	1ヵ所	3ヵ所	2ヵ所	1ヵ所	8ヵ所	2ヵ所	
仕　上	電解着色	電解着色	電解着色	電解着色	電解着色	電解着色	電解着色	
枠見込	100	100	100	100	100	100	100	
姿　図	 現況図：既存のまま	 現況図：既存のまま	 現況図：既存のまま	 現況図：既存のまま	 現況図：既存のまま	 現況図：既存のまま	 現況図：既存のまま	

名　称	AW 8 アルミ嵌め殺し窓	AW 9 アルミ嵌め殺し窓	AW 10 アルミ外倒し排煙窓	AW 11 アルミ外倒し排煙窓	
寸　法	284×2292	284×2299		700×16000	
附属物	外部ｱﾙﾐFB付き	外部ｱﾙﾐFB付き	排煙用 ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ（埋込 FL＋1200）	排煙用 ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ（埋込 FL＋1200）	
附属金物			一式	一式	
硝　子	透明ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽｔ6	透明ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽｔ6	透明ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽｔ6＋ 網入り透明ガラス ｔ6.8	透明ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽｔ6＋ 網入り透明ガラス ｔ6.8	
使用場所	倉庫	倉庫	図書館上部	図書館上部	
数　量	1ヵ所	1ヵ所	2ヵ所	1ヵ所	
仕　上	電解着色	電解着色	電解着色	電解着色	
枠見込	100	100	79	70	
姿　図	現況図：既存のまま	現況図：既存のまま	 排煙窓【開閉点検・調整】 オペレーター【点検・調整】　現況図：既存のまま	 排煙窓【開閉点検・調整】 オペレーター【点検・調整】　現況図：既存のまま	

名　称	TB 1 トイレブース	TB 2 トイレブース	TB 3 トイレブース	TB 4 トイレブース			LSD 1 軽量ｽﾁｰﾙ片引きﾄﾞｱ	WD 1 木製片開戸	LSD 2 軽量ｽﾁｰﾙ片引きﾄﾞｱ
寸　法	2770+1520×1900	2420+1120×1900	2770+1520×1900	2680+1120×1900			1000×2100	750×2100	850×2100
附属物	一式	一式	一式	一式			ｽﾁｰﾙ製額縁　ｽﾁｰﾙ枠	ｽﾁｰﾙ枠	ｽﾁｰﾙ製額縁　ｽﾁｰﾙ枠
附属金物	一式	一式	一式	一式			ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ金物一式　表示付きｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　引き棒	ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ　把手	ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ金物一式　引き棒　自閉装置付き
硝　子							自閉装置付き		
使用場所	図書館用便所　便所Ｌ	図書館用便所　便所Ｍ	図書館用便所　便所Ｌ	図書館用便所　便所Ｍ			図書館用便所　便所Ｍ	図書館用便所　便所ＬＭ	図書館用便所　便所ＬＭ
数　量	1ヵ所	1ヵ所	1ヵ所	1ヵ所			1ヵ所	2ヵ所	2ヵ所
仕　上	ﾒﾗﾐﾝ化粧板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板			SOP	SOP　品合板　ｽﾁｰﾙ枠	SOP
枠見込	ﾌﾞｰｽ見込　40	ﾌﾞｰｽ見込　40	ﾌﾞｰｽ見込　40	ﾌﾞｰｽ見込　40			70	240	70
姿　図	 現況図：撤去	 現況図：撤去	 新設建具	 新設建具			 現況図：既存のまま	 現況図：撤去	 新設建具

名　称					LSD 3 軽量ｽﾁｰﾙ片引きﾄﾞｱ	LSD 4 軽量ｽﾁｰﾙ片開きﾄﾞｱ	LSD 5 軽量ｽﾁｰﾙ片開きﾄﾞｱ	LSD 6 軽量ｽﾁｰﾙ親子開きﾄﾞｱ
寸　法					1000×2100	850×2100	850×2100	850×2100
附属物					ｽﾁｰﾙ製額縁　ｽﾁｰﾙ枠	ｽﾁｰﾙ枠	ｽﾁｰﾙ枠	ｽﾁｰﾙ枠
附属金物					ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ金物一式　ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　引き棒	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ　丁番　ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　DC	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ　丁番　ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　DC	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ　丁番　ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　DC
硝　子					自閉装置付き			
使用場所					図書館用　事務室	図書館用　事務室	事務室受付　ﾌﾞｯｸﾎﾟｽﾄ　前室　倉庫3	図書館用　倉庫１　倉庫２
数　量					3ヵ所	1ヵ所	4ヵ所	2ヵ所
仕　上					木目調化粧鋼板　枠 SOP	木目調化粧鋼板　枠 SOP	木目調化粧鋼板　枠 SOP	木目調化粧鋼板　枠 SOP
枠見込					70	130	130	120
姿　図					 新設建具	 新設建具	 新設建具	 新設建具

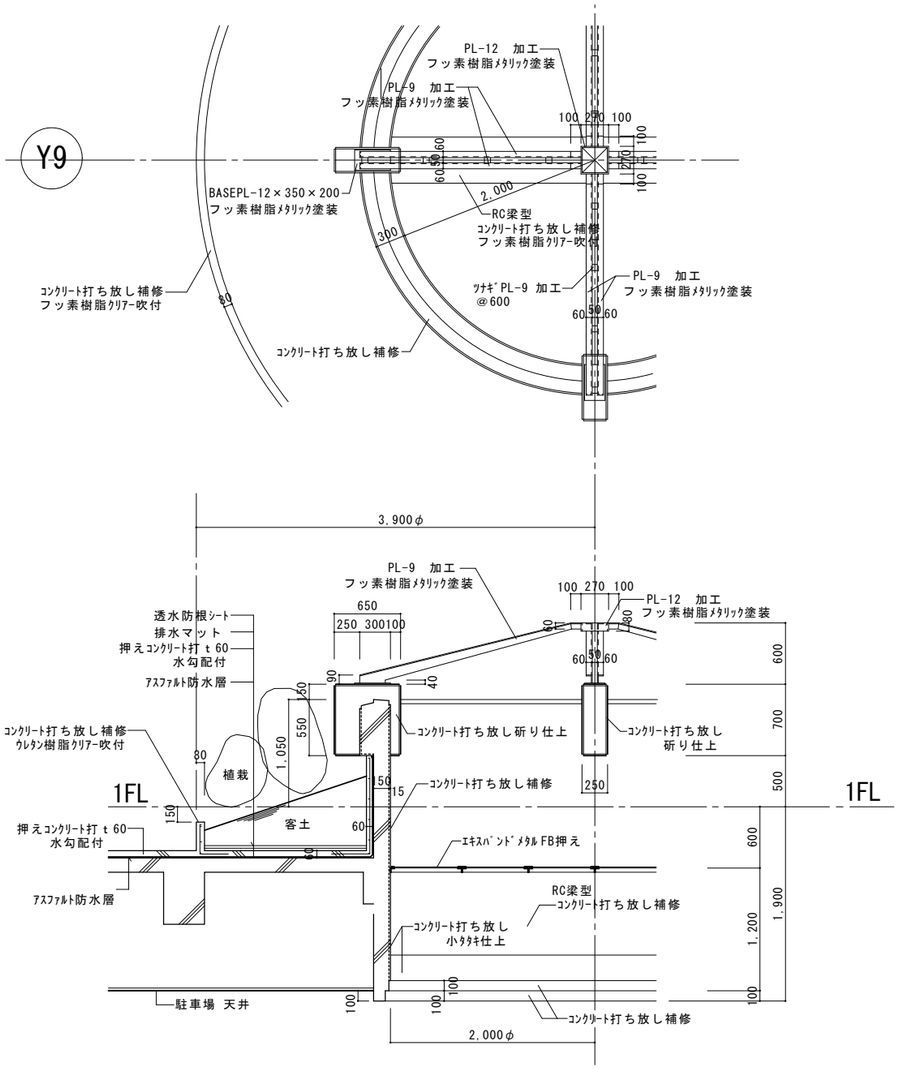
工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図　名	現況・撤去図　改修図 建具リスト (2)	A／37　意・構・電・設	令和８年　月　日				
		縮尺 A1:1/100 A3:1/200	株式会社 手島建築設計事務所				

１級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

１級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号
１級建築士登録大臣第280194号　手島　誠

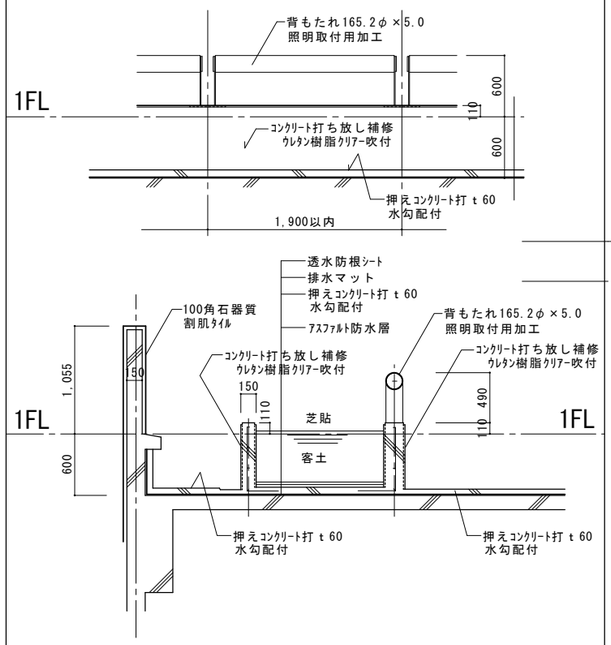
A—A 断面図 1/30

注記：特記なき限り【既存のまま】



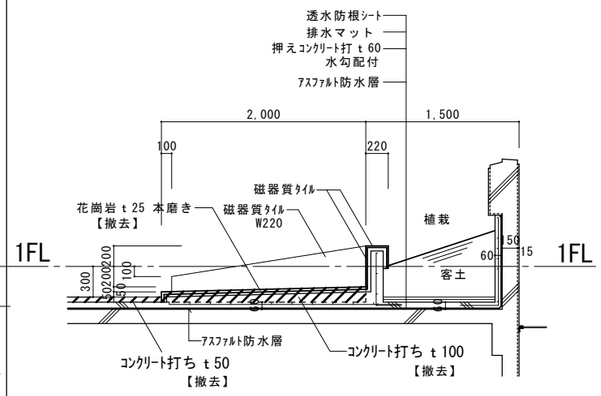
B—B 断面図 1/30

注記：特記なき限り【既存のまま】



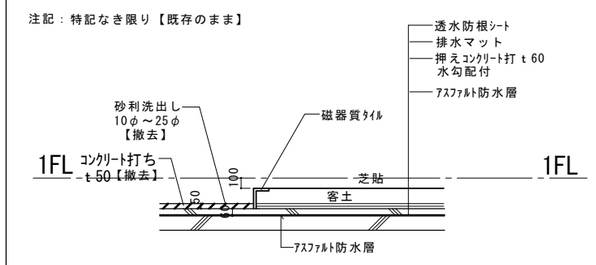
C—C 断面図 1/30

注記：特記なき限り【既存のまま】



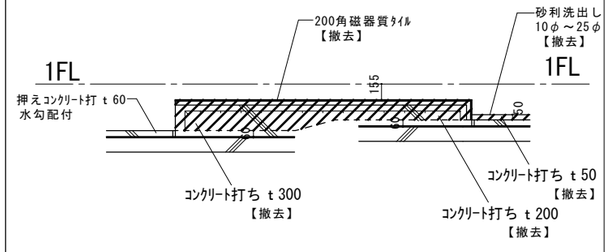
D—D 断面図 1/30

注記：特記なき限り【既存のまま】



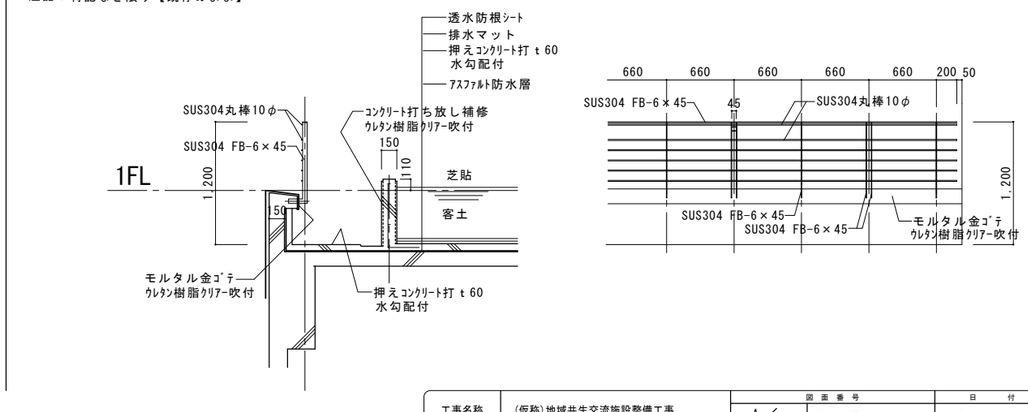
E—E 断面図 1/30

注記：特記なき限り【既存のまま】



F—F 断面図 1/30

注記：特記なき限り【既存のまま】

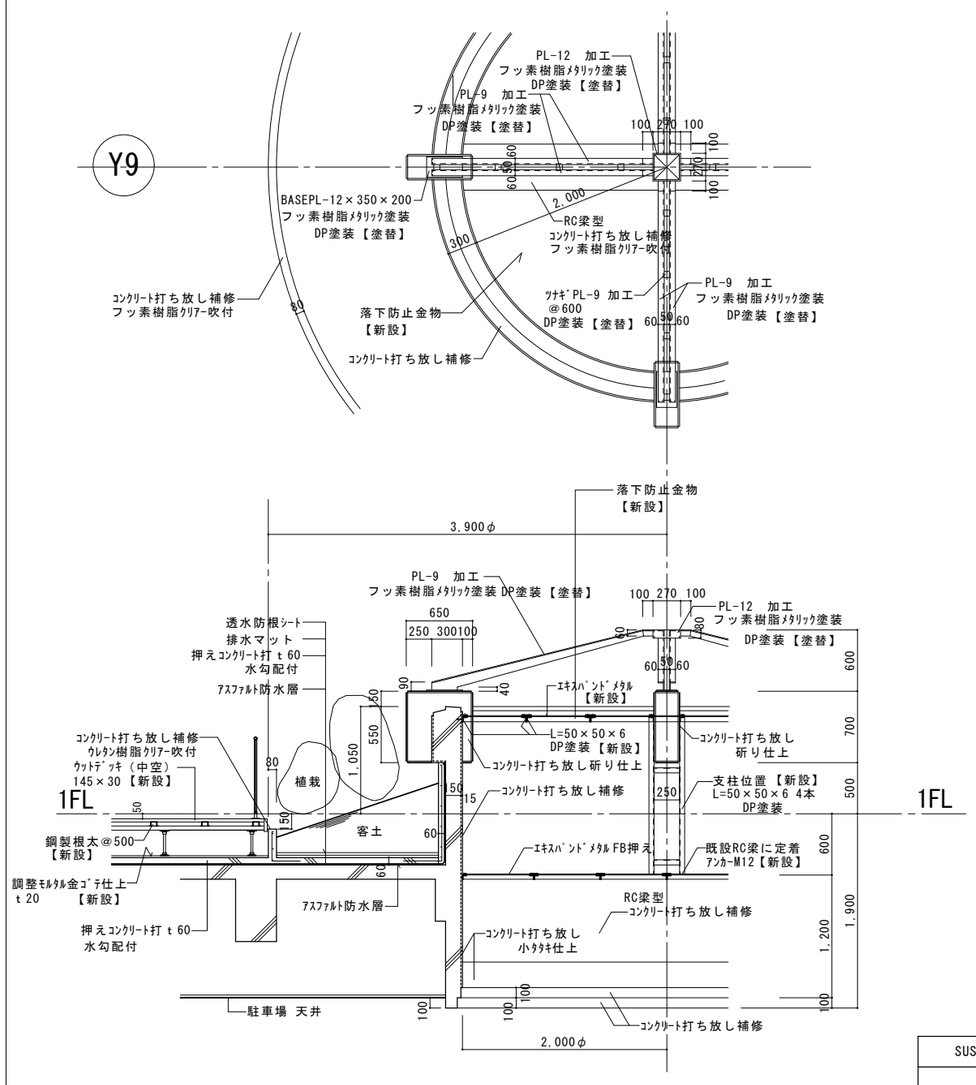


1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図
		A／00	意・構・電・設	令和８年 月 日				
図名	現況・撤去図 1階中庭部分詳細図	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠				

A—A 断面図 1/30

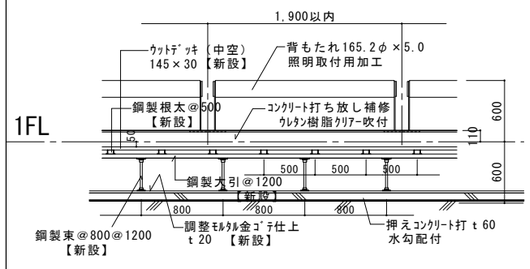
注記：特記なき限り【既存のまま】
鉄部は全て DP塗装【塗替】

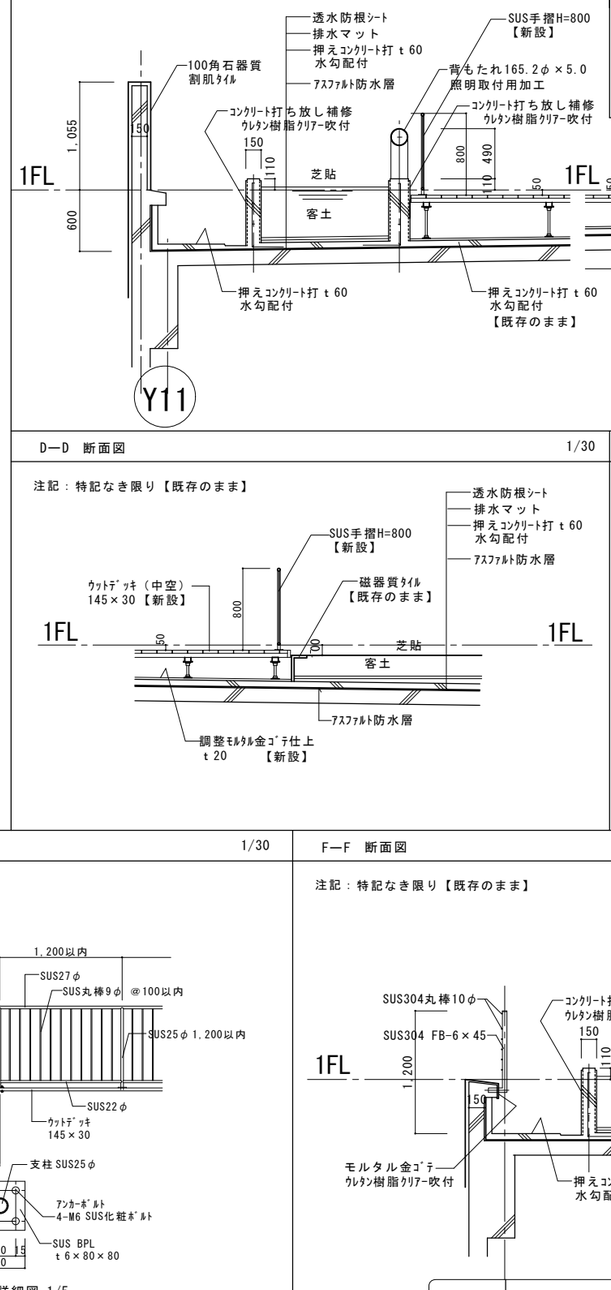


注記：特記なき限り鉄部材はL-50×50×6
鉄部は全て DP塗装
点検ﾀﾗｯﾌﾟの位置に開放可能な開口を設置

B—B 断面図 1/30

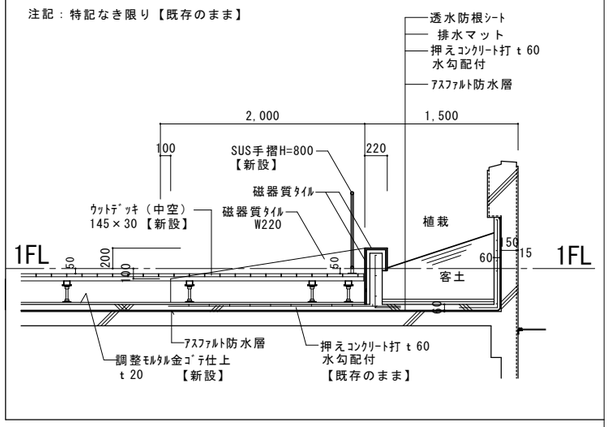
注記：特記なき限り【既存のまま】





C—C 断面図 1/30

注記：特記なき限り【既存のまま】

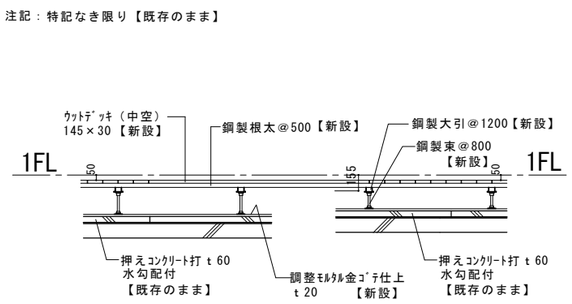


D—D 断面図 1/30

注記：特記なき限り【既存のまま】

E—E 断面図 1/30

注記：特記なき限り【既存のまま】

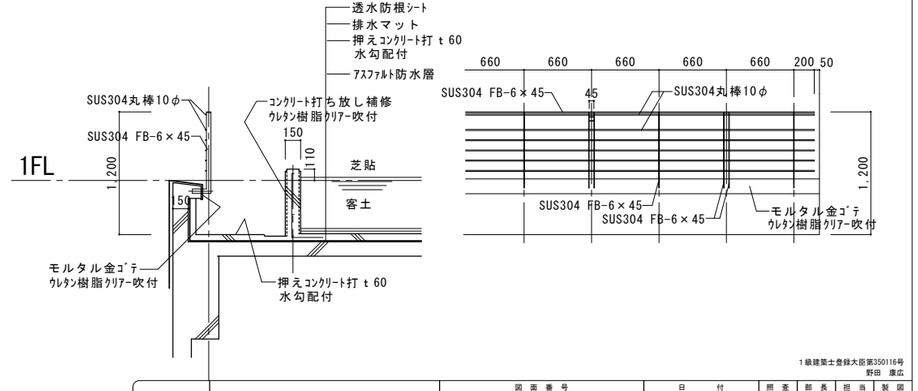


SUS手摺H=800 【新設】 1/30

柱脚詳細図 1/5

F—F 断面図 1/30

注記：特記なき限り【既存のまま】

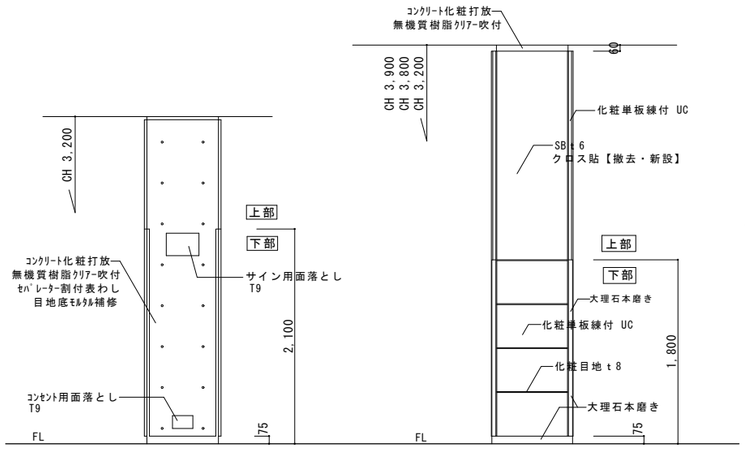


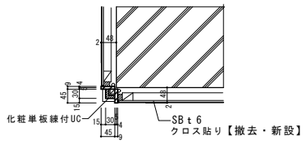
1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号 A/39 意・構・電・設	日付 令和8年 月 日	照査	部長	担当	製図
図名	現況・撤去図 1階中庭部分詳細図	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠				

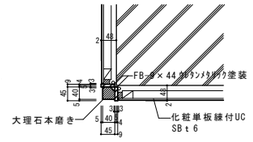
柱廻り詳細図　（現況）　【新設】　【改修】

1/30　1/10

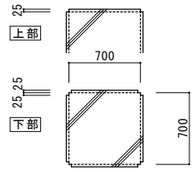




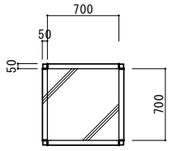
上部 1/10



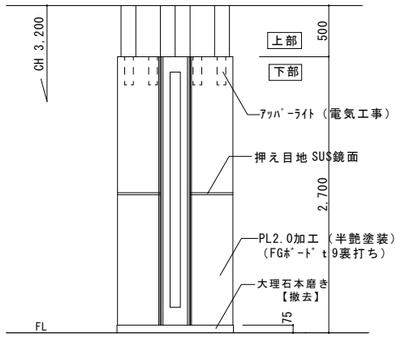
下部 1/10

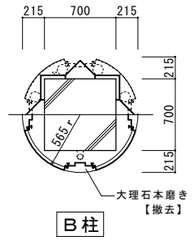


C柱

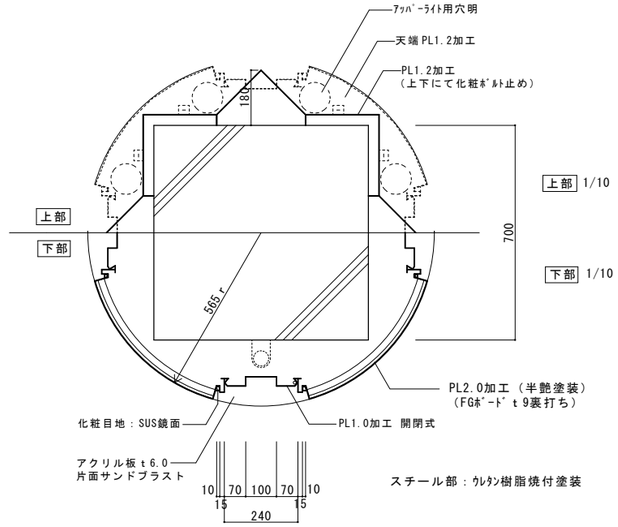


A柱



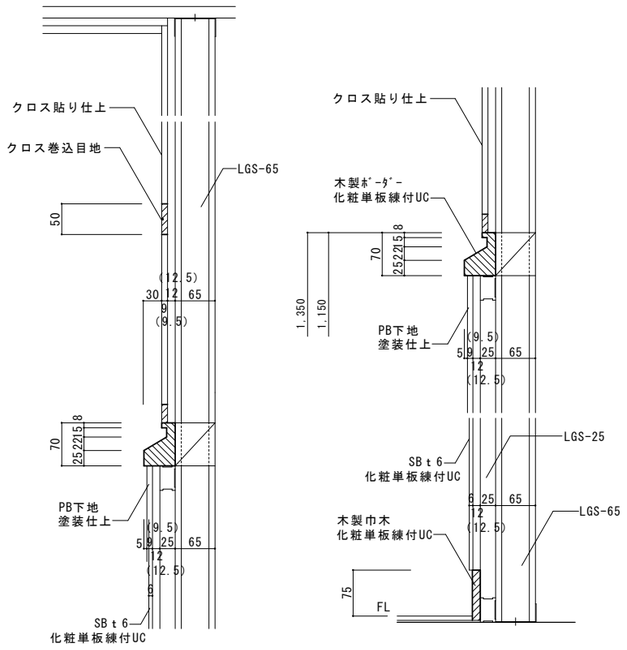


B柱



注記：　上部・下部の金物仕上および下地材ともすべて全撤去とする。
巾木大理石・すべて全撤去とする。
躯体柱状態にする。
改修はＡ柱仕上内容に準じて施工を行う。

壁面詳細図 【現況・撤去】　【新設】　1/5

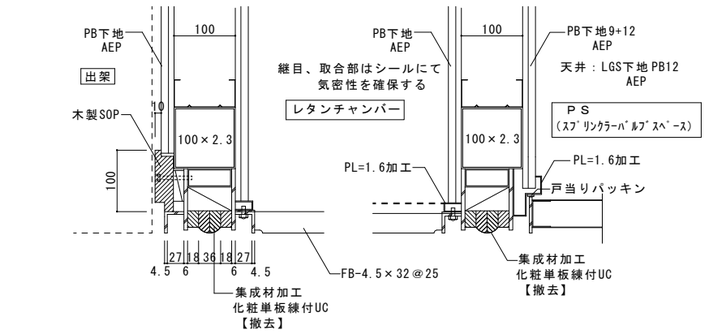


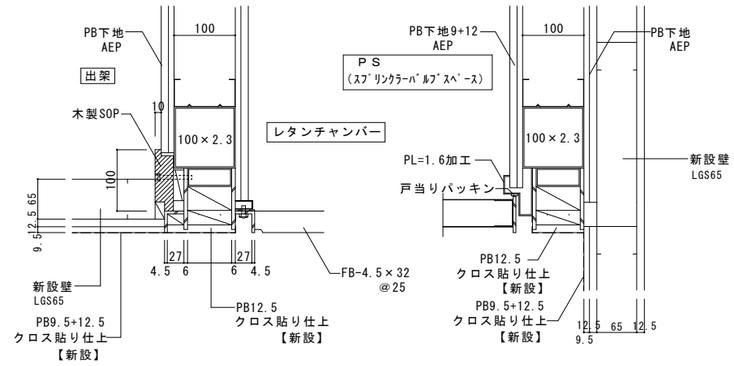
上部　　下部

注記：（　）内数値は新設壁
施工時の数値を示す。

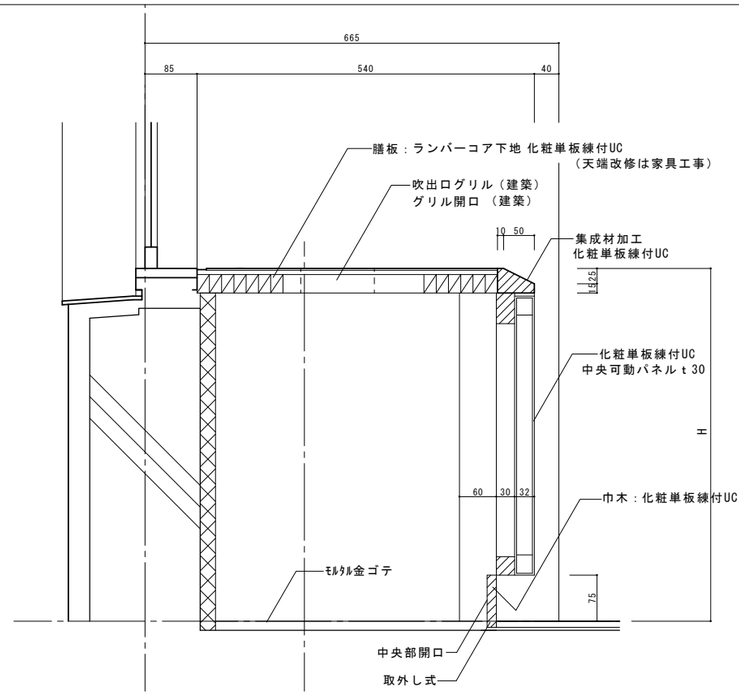
レタンチャンバー 枠回り詳細図　（現況）　【新設壁】　1/5

壁面詳細図





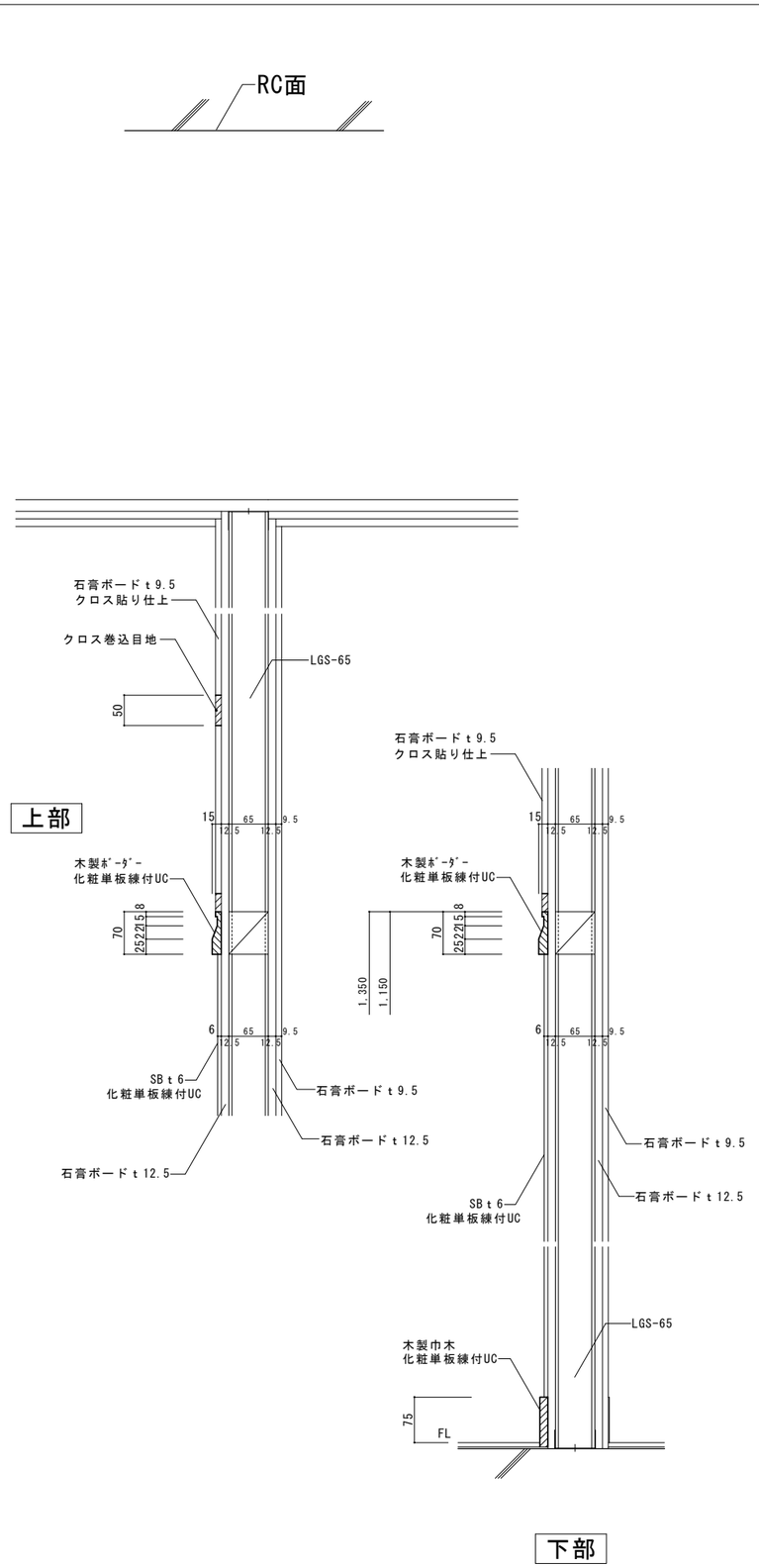
ファンコイルカバー（膳板）詳細図　（現況）　【新設】　1/5



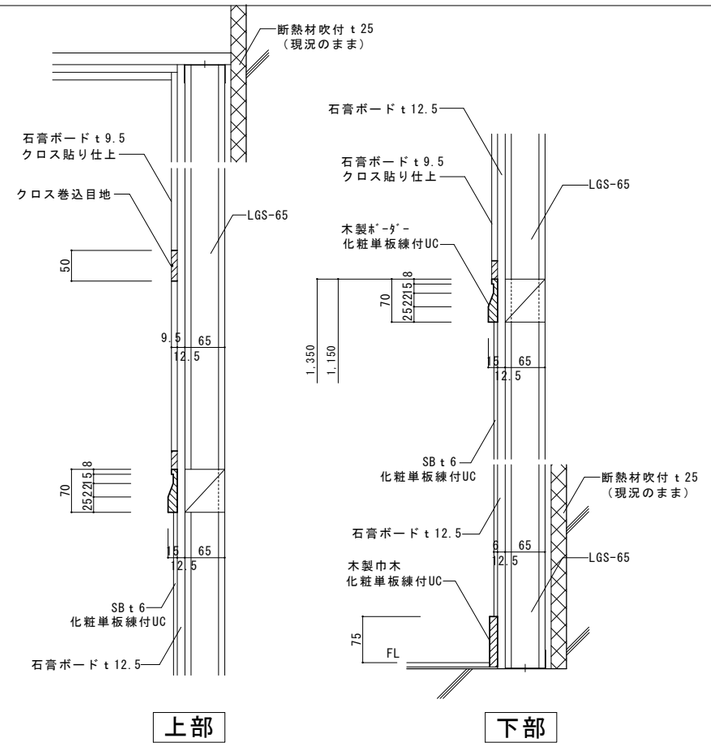
工事名称	（仮称）地域共生交流施設整備工事	図面番号 A／40 意・構・電・設	日付 令和８年　月　日	照査	部長	担当	製図
図名	現況・撤去図　改修図 断面詳細図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所				

１級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号
１級建築士登録大臣第280194号　手島　誠
１級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

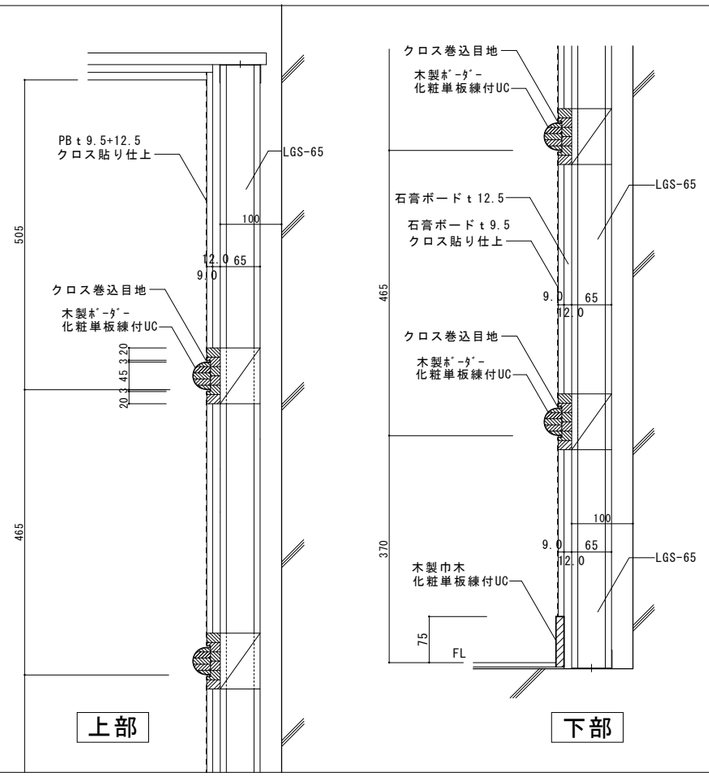
壁面詳細図　（新設壁廻り）　1/5



壁面詳細図　（外壁廻り内部壁新設）　1/5

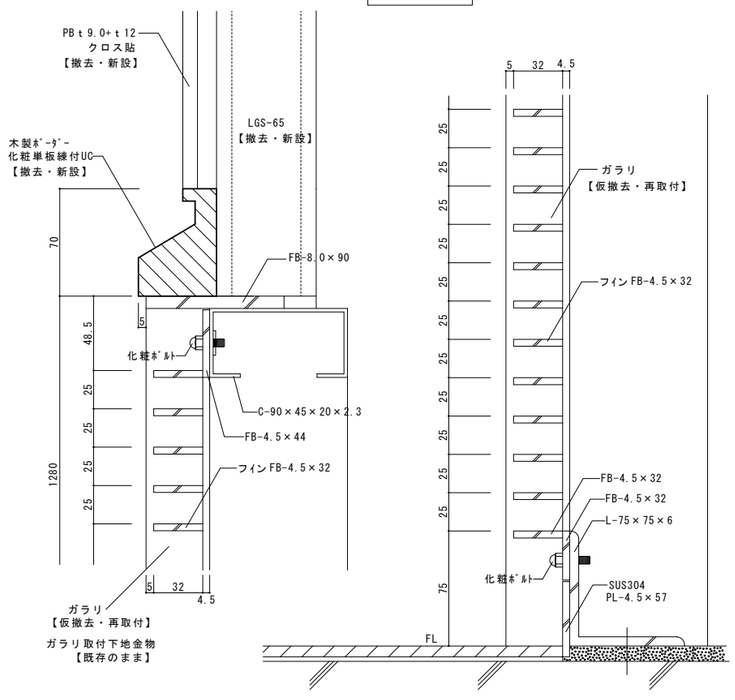


壁面詳細図　（ホール廻り内部壁）　1/5

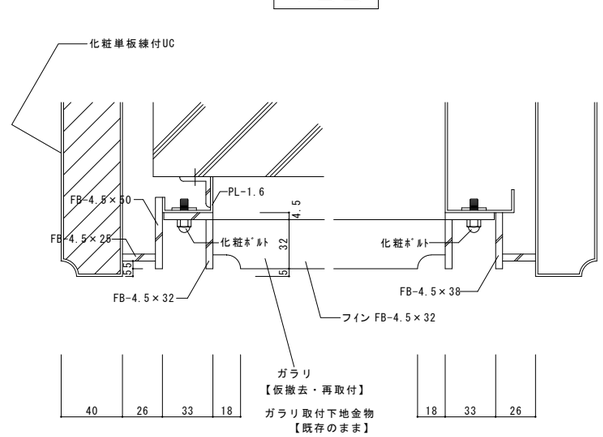


ＲＡガラリ廻り詳細図　1/2

断面図



平面図



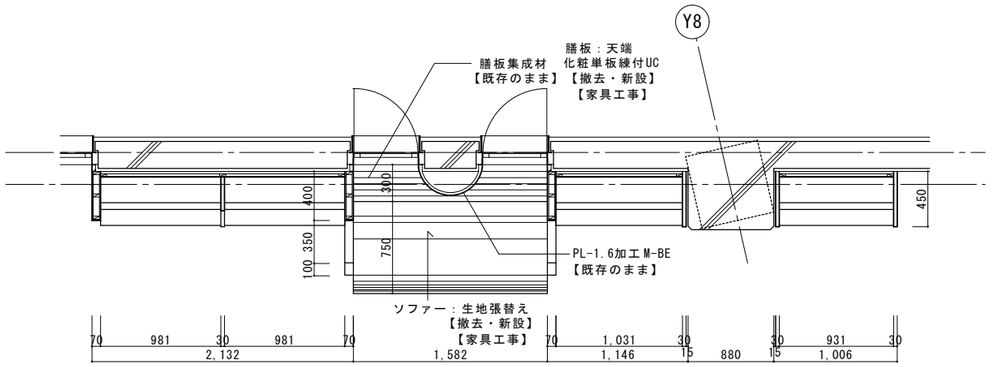
施工時の数値を示す。

1級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
		A／41　意・構・電・設	令和８年　月　日				
図名	改修図 断面詳細図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所				

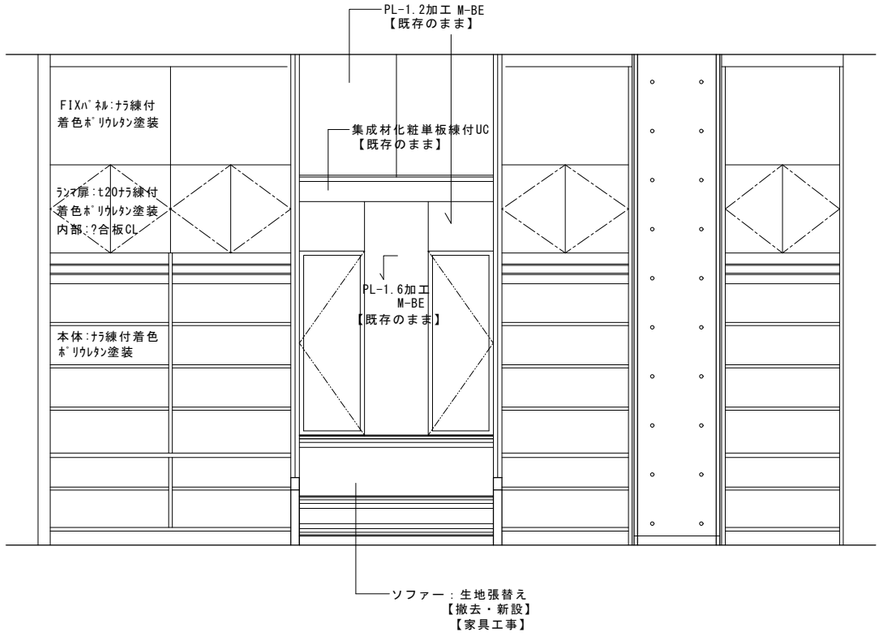
１級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号
１級建築士登録大臣第280194号　手島　誠

ソファー組込ランマ扉付高書架　1/25



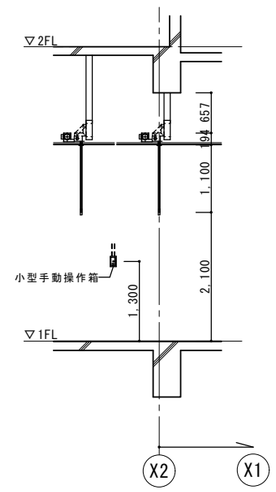
平面図

両ｻｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ付2連書架×計2カ所	組込ｿﾌｧｰ×計4カ所 【撤去】	左ｻｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ付書架×計2カ所 右ｻｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ付書架×計2カ所 (1カ所はW900)	1連書架×計1カ所

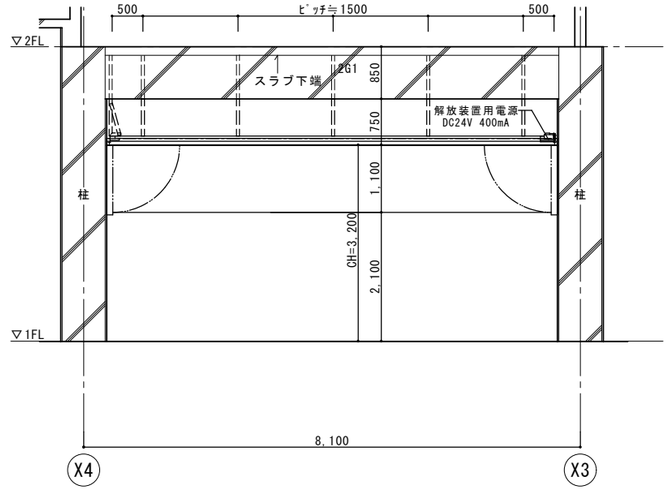


姿図

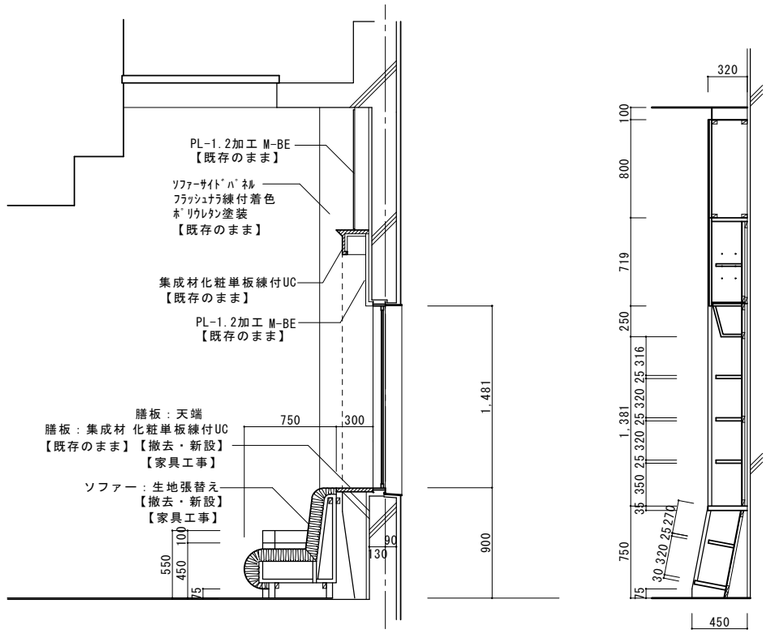
防煙スクリーン詳細図　1/50



断面図



姿図



断面図

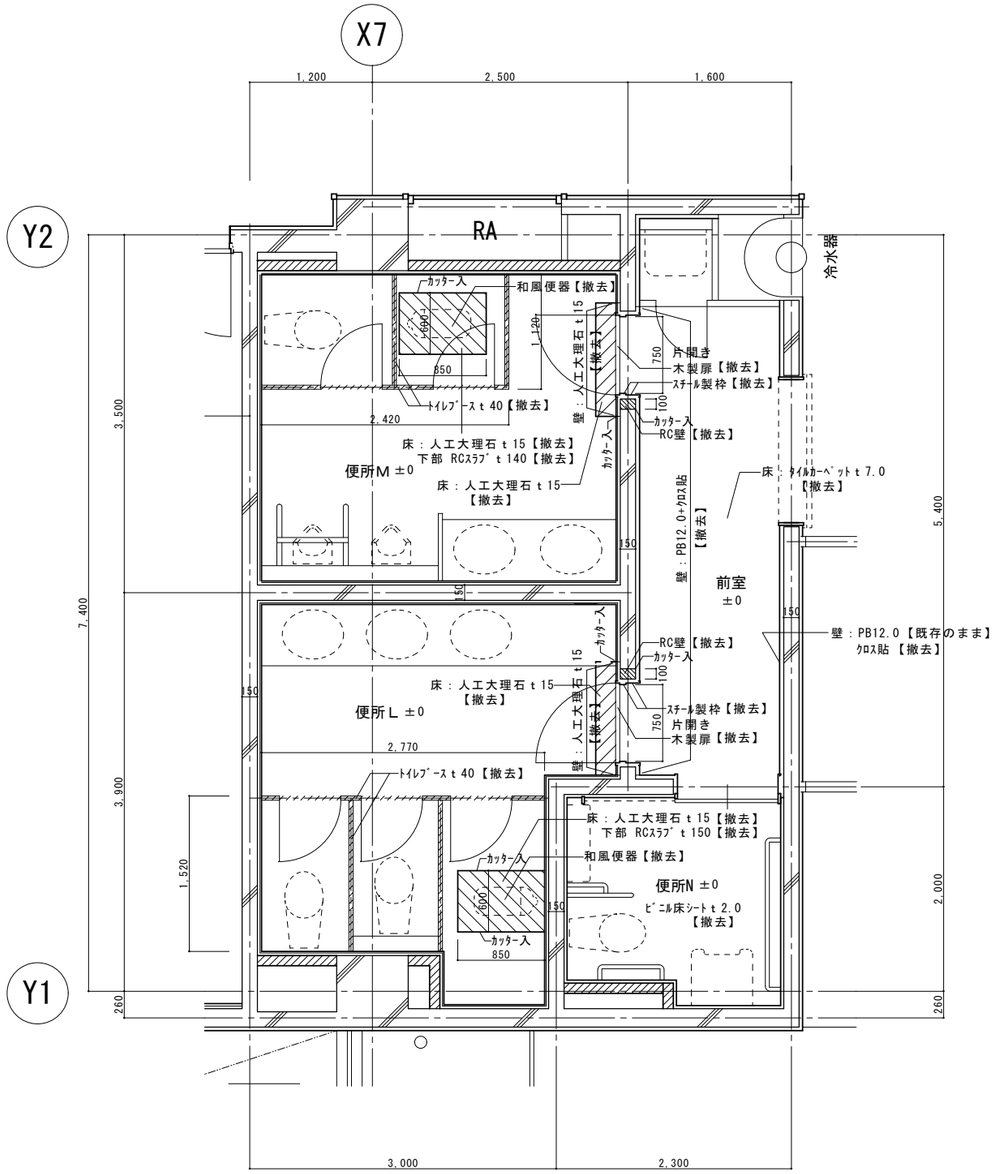
1級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
		A／42 意・構・電・設	令和８年　月　日				
図名	雑詳細図 (3)	縮尺 A1:1/25・1/50 A3:1/50・1/100	株式会社 手島建築設計事務所				

１級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号
１級建築士登録大臣第280194号　手島　誠

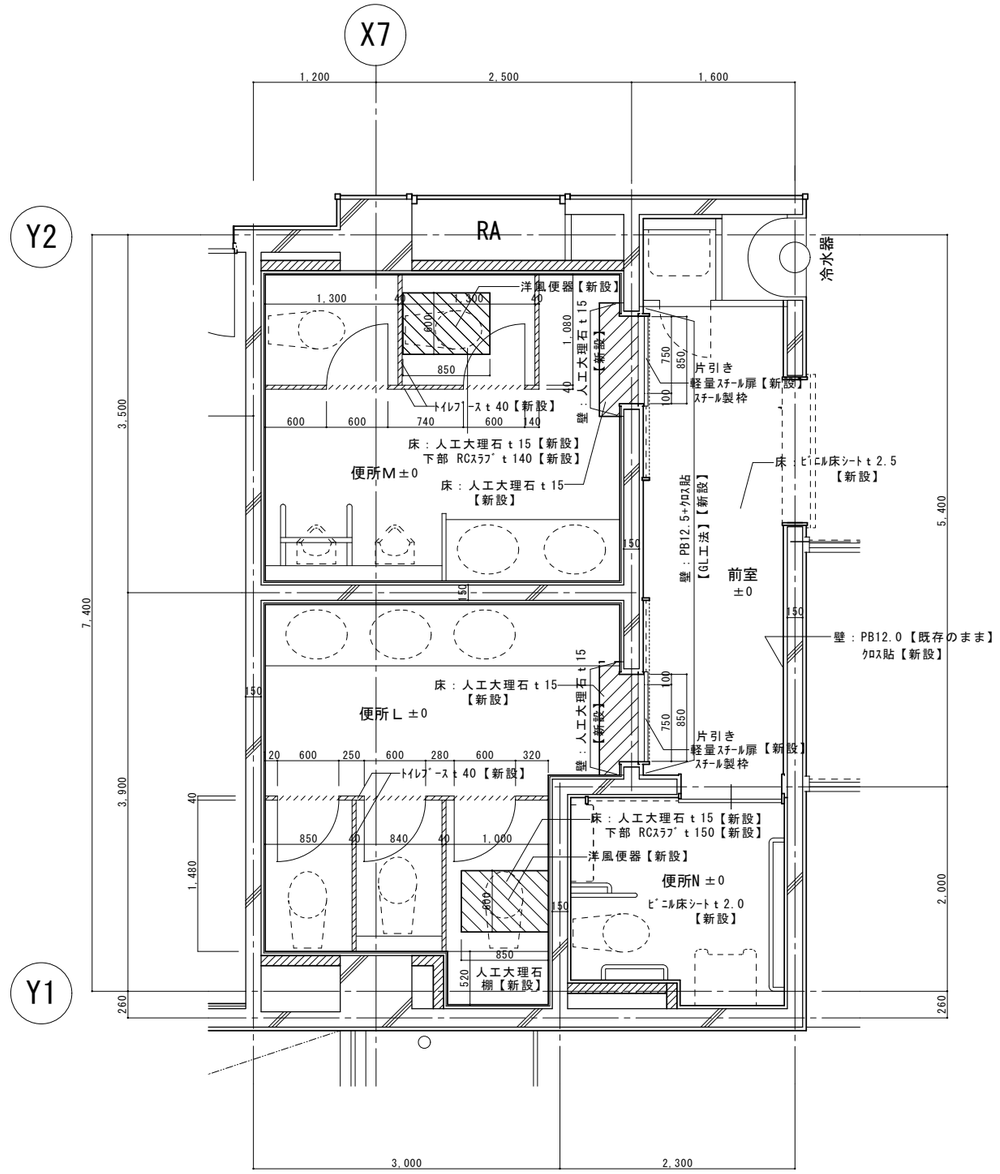
図書館便所　現況・撤去　平面図　1/30

注記：特記なき限り【既存のまま】



図書館便所　改修　平面図　1/30

注記：特記なき限り【既存のまま】



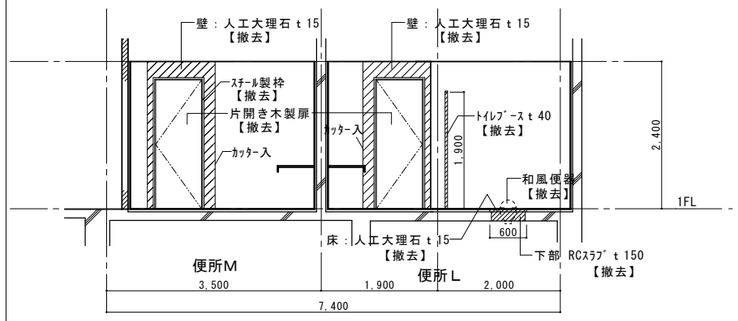
1級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

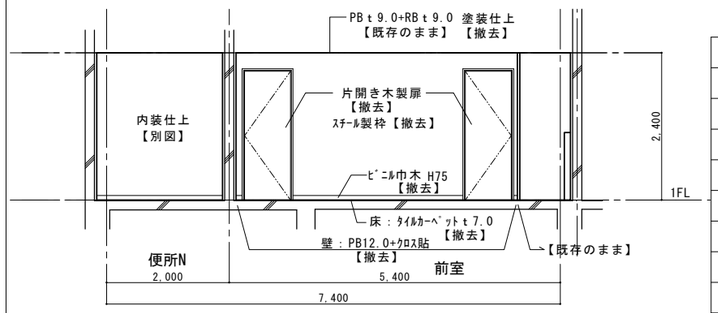
工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図
図名	現況・撤去図　改修図 1階平面図　各便所	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	A／43 意・構・電・設	令和８年　月　日				

株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号
1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠

現況・撤去　展開図　1/50

注記：特記なき限り【既存のまま】



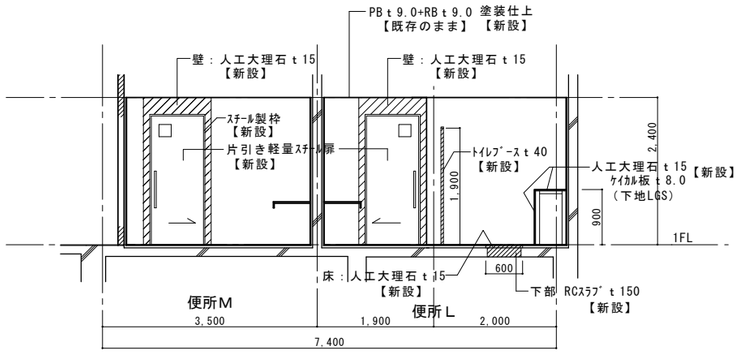


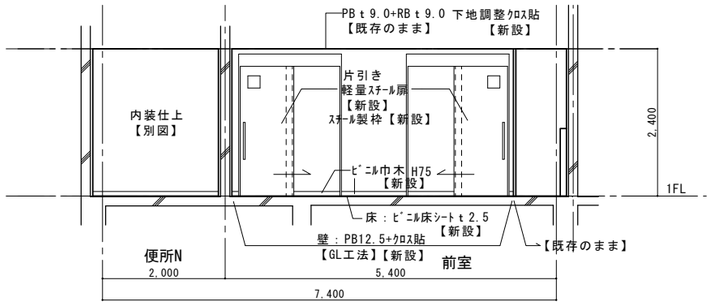
前室　現況・撤去

部位	仕上	
床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ7.0 【撤去】	
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H75 【撤去】	
壁	RC壁 PBｔ12 GL工法 【撤去】	
	ｸﾛｽ貼 【撤去】	
	RC壁 PBｔ12 GL工法 【既存のまま】	
	ｸﾛｽ貼 【撤去】	
天井	PBｔ9.0+RBｔ9.0 【既存のまま】	2400
	塗装仕上 【撤去】	

図書館便所　改修 展開図　1/50

注記：特記なき限り【既存のまま】



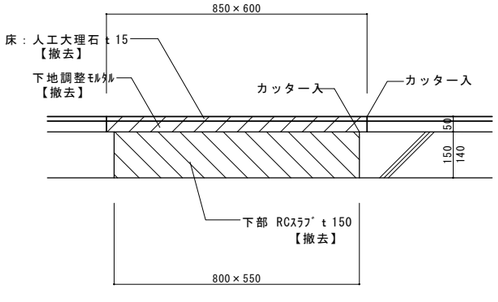


前室　改修

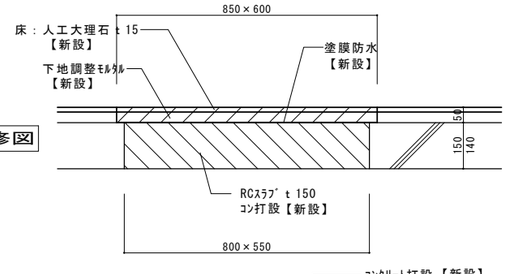
部位	仕上	
床	下地調整 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄｔ2.5 【新設】	
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H75 【新設】	
壁	RC壁PBｔ12.5GL工法 【新設】	
	ｸﾛｽ貼 【新設】	
	RC壁 PBｔ12GL工法 【既存のまま】	
	下地調整 ｸﾛｽ貼 【新設】	
天井	PBｔ9.0+RBｔ9.0 【既存のまま】	2400
	下地調整 ｸﾛｽ貼 【新設】	

図書館便所　和風便器撤去・改修詳細図　1/10

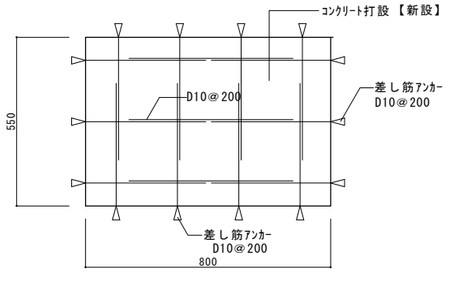
撤去図



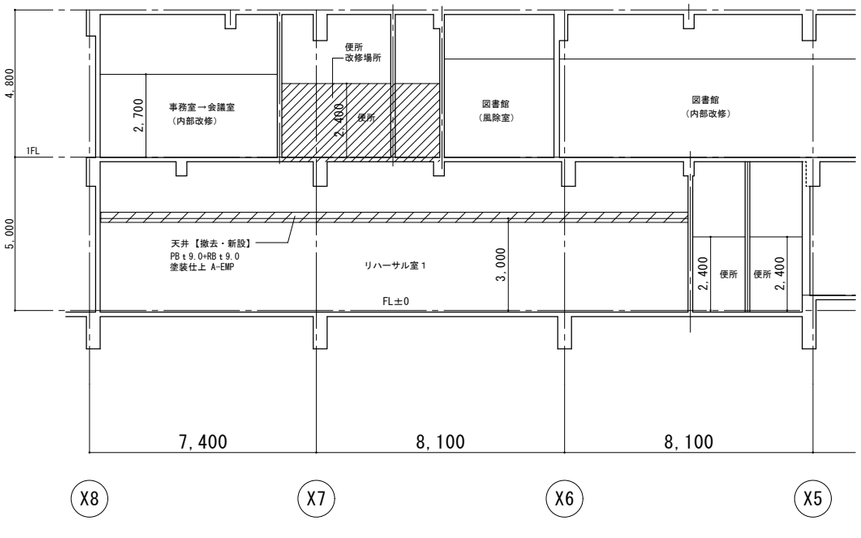
改修図



配筋要領



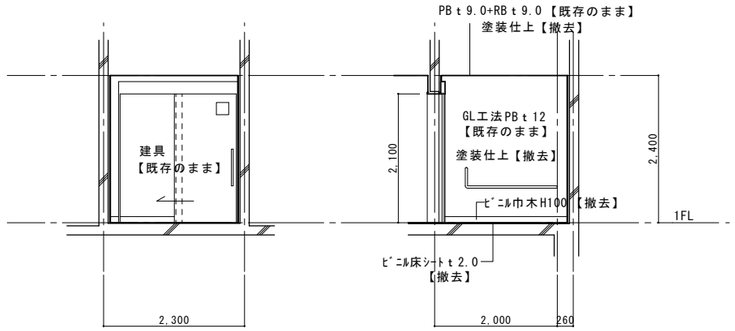
図書館便所　便所改修により下階の天井材の撤去・新設の範囲　1/100



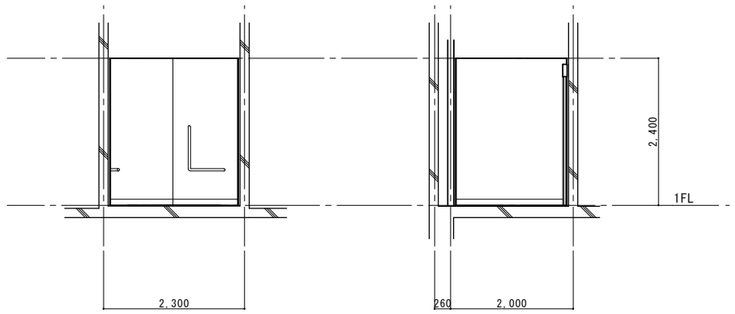
1級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

工事名称	（仮称）地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図名	現況・撤去図　改修図 各便所　展開図（1）	A／44　意・構・電・設	令和８年　月　日				
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1ー11499号 1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠				

図書館便所Ｎ　現況・撤去　展開図　1/50



Ａ面　Ｂ面

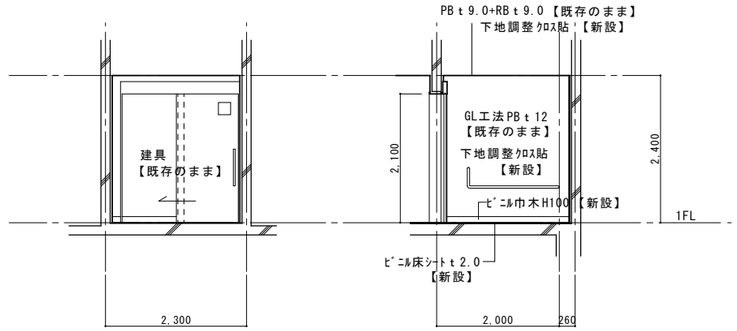


Ｃ面　Ｄ面

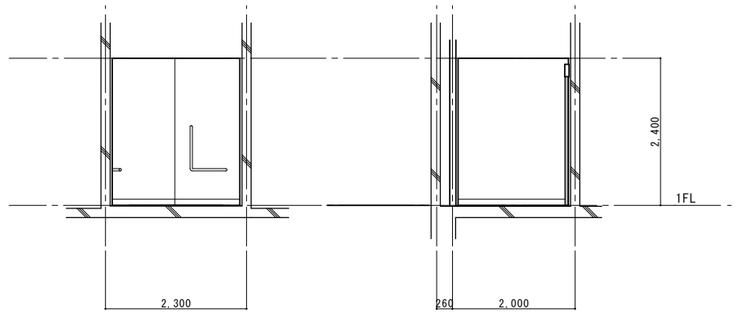
便所N　現況・撤去

部位	仕上
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t 2.0 【撤去】
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H100　【撤去】
壁	RC壁 GL工法 PB t 12 【既存のまま】
	塗装仕上 【撤去】
天井	PB t 9.0+RB t 9.0 【既存のまま】
	塗装仕上 【撤去】　CH=2400
備考	

図書館便所Ｎ　改修　展開図　1/50



Ａ面　Ｂ面



Ｃ面　Ｄ面

便所N　改修

部位	仕上
床	下地調整 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t 2.0 【新設】
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木　H100　【新設】
壁	RC壁 GL工法 PB t 12 【既存のまま】
	下地調整　ｸﾛｽ貼 【新設】
天井	PB t 9.0+RB t 9.0 【既存のまま】
	下地調整　ｸﾛｽ貼　【新設】　CH=2400
備考	

1級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図
		A／45	意・構・電・設	令和８年　月　日				
図名	現況・撤去図　改修図 各便所　展開図 (2)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠				

N

X15 X13 X12 X11 X10 X10' X9 X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1

104,905

11,905 7,400 7,400 7,400 7,400 7,400 7,400 800 6,600 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100

Y13 Y12 Y10 Y8 Y7 Y5 Y3 Y1

18,000 5,000 6,000 7,400 4,505 7,865 7,865 7,865

Y13 Y12 Y11 Y10 Y9 Y8 Y6 Y4 Y2 Y1

2,800 200 5,300 8,100 46,500 8,100 4,500 7,400

換気塔
換気塔
メインエントランス
風除室1
アトリウム
ギャラリー
SS
控室
準備室
EV
DS
受付事務室
救護室
救急
倉庫
CDコーナー
階段室A
ふれあいプラザ
消火機器庫
EV
DS
便所H
便所G
前室1
フライギャラリー
ステージ上部
事務室
印刷室
給湯室
便所I
便所J
便所
階段室
更衣室
ホワイエ
喫茶ラウンジ
厨房
客席
親子室
風除室2
前室2
駐輪場
スロープ
階段室
エレベーター
便所M
便所L
風除室3
読み聞かせ部屋
市民図書館
和室エリア
ボランティアスペース
サービスカウンター
サービスカウンター
朗読
消火器
EV
EPS
駐輪場

11,905 7,400 7,400 8,200 6,600 7,400 7,400 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100 8,100

104,905

X15 X13 X12 X11 X10 X10' X9 X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号 A／46 意・構・電・設	日付 令和8年 月 日	照査	部長	担当	製図
図名	現況 家具キープラン	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠			

N

X15 X13 X12 X11 X10 X10' X9 X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1

11,905 / 7,400 / 7,400 / 7,400 / 800 / 6,600 / 7,400 / 7,400 / 8,100 / 8,100 / 8,100 / 8,100 / 8,100 / 8,100 = 104,905

Y13 Y12 Y10 Y8 Y7 Y5 Y3 Y1 Y9 Y11 Y6 Y4 Y2

18,000 / 5,000 / 6,000 / 7,400 / 4,505 / 7,865 / 7,865 / 7,865 = 46,500

5,300 / 2,800 / 2,200 / 8,100 / 8,100 / 4,500 / 7,400 = 46,500

換気塔

メインエントランス

風除室1

アトリウム

ギャラリー

SS

控室

準備室

EV

DS

受付事務室

救護室
救急

倉庫

CDコーナー

階段室A

UP

ふれあいプラザ

消火積火器

EV

DS

便所H

便所G

前室1

フライギャラリー

事務室

階段室

印刷室

給湯室

更衣室

便所I

便所J

便所

厨房

ホワイエ

喫茶ラウンジ
±0

テラス

通路

ウッドデッキ新設
±0

客席

親子室

風除室2

前室2

ステージ上部

駐輪場

スロープ

ホール

倉庫新設

図書館主導線

図書カート車椅子置場

除菌室

会議室

便所M

便所L

風除室3

ペンダントライト
(建築工事)

インフォメーション

閲覧ゾーン①

閲覧ゾーン②

閲覧ゾーン③

開架エリア(既存) 計74,990冊

開架エリア(新規)
計14,350冊

奴国展示ゾーン
計840冊

奴国展示ゾーンイメージ

奴国展示ゾーン+図書架イメージ

市民図書館

レファレンスコーナー

コピー機

倉庫

事務室

消火栓

EV

EPS

RA

駐輪場

<既存書架リノベーション>
① 木製模式書架33台(小口無垢材補修の上、ｵﾙﾃｨﾉｰﾄ貼)(既存書架サイン撤去含む)
② 木製壁面書架 単式：6段1連(ｵﾙﾃｨﾉｰﾄ貼、小口無垢材は貼替)
※可動棚板はポリ合板にて作り替え
③ 木製壁面書架 単式：6段2連(ｵﾙﾃｨﾉｰﾄ貼、小口無垢材は貼替)
※可動棚板はポリ合板にて作り替え
④窓際腰天板・空調パネル(天板：合板+メラミン化粧板 t 10.0)
(パネル：ｵﾙﾃｨﾉｰﾄ貼)

座席名称	人数
イベントスペース	36人分
閲覧ゾーン①	20人分
閲覧ゾーン②	11人分
B-4(既存ソファ)	6人分
ポプ	20人分
新聞閲覧・レファレンス席	10人分
合計	103人分

<新規書架・家具リスト>
① キャスター付展示架[EBD-25LK] 模式×4台
② 木金書架[BIM-23HW] 模式3段4連×5台：4,200冊
③ 木金書架[BIM-25HW] 模式5段5連×1台：1,750冊
木金書架[BIM-25HW] 模式5段6連×4台：8,400冊
④ 柱巻き展示架×2台
⑤ 木金雑誌架[BWO(側・天板付)] 単式4段2連×2台：24誌(面陳)
木金雑誌架[BWO(側・天板付)] 単式4段4連×5台：120誌(面陳)
(※上2段面陳、下2段平置を想定)
⑥ 木金書架[BIM-23HW] 模式2段2連×3台：840冊
⑦ 受付カウンター ×3台
⑧ カウンターバック棚[KBR-162] 単式7段4連(内2連W700)×1台
カウンターバック棚[KBR-162] 単式7段6連×2台
⑨ 木製利用者端末台(検索台)×3台
⑩ 木製記載台×1台
⑪ 木製車椅子用記載台×2台
⑫ 木金新聞架[BIN-142] 単式6段7連×1台
⑬ 木製閲覧机[KFT-214]×2台
⑭ 木製展示架×2台
⑮ スツール[ポプS(相合家具)]×20台
⑯ 閲覧椅子[セテス(相合家具)]×36台
⑰ 閲覧椅子[フォーゲル(相合家具)]×11台
⑱ 閲覧椅子[リムカ和(相合家具)]×20台
⑲ 閲覧椅子[バインダーアッシュ(相合家具)]×10台
⑳ 事務用椅子[UELA2-300P-WS]×8台
21 ブックポスト×2台

▽ 収容冊数計：90,180冊(15,190冊(新規)+74,990冊(既存))
：面陳144誌(雑誌)

[1段当り冊数(W900)]
・一般：35冊/段
※W900開口以外は割合により算出。

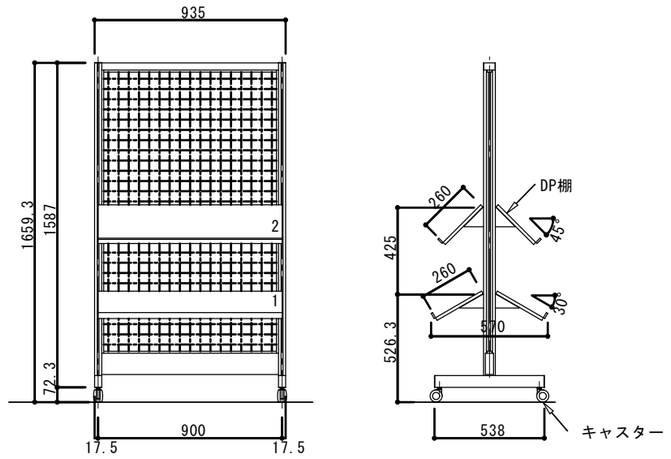
赤：既存再利用
青：新規

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
		A／47 意・構・電・設	令和8年 月 日				
図名	改修図 1階家具キープラン	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1ー11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠			

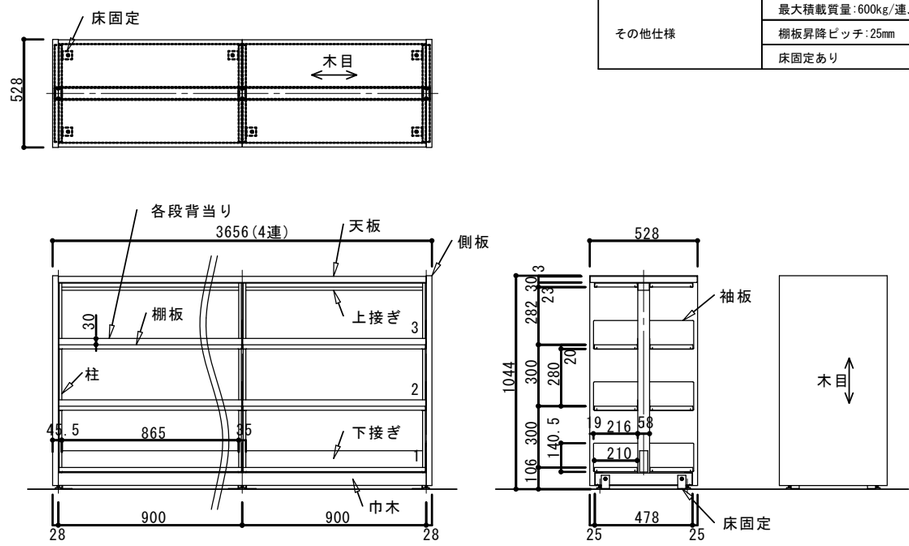
1 キャスター付き展示架[BMD-25LK]:複式2段*4台

DP棚・背当り	スチール焼付塗装 塗色:F04(ブラック)
上接ぎ・下接ぎ	
柱・袖板・巾木	
その他仕様	最大積載質量:250kg/連、10kg/段
	棚板昇降ピッチ:25mm
	キャスター(片側ストッパー付き) :G7N10*2、G7N10S(ストッパー付)*2



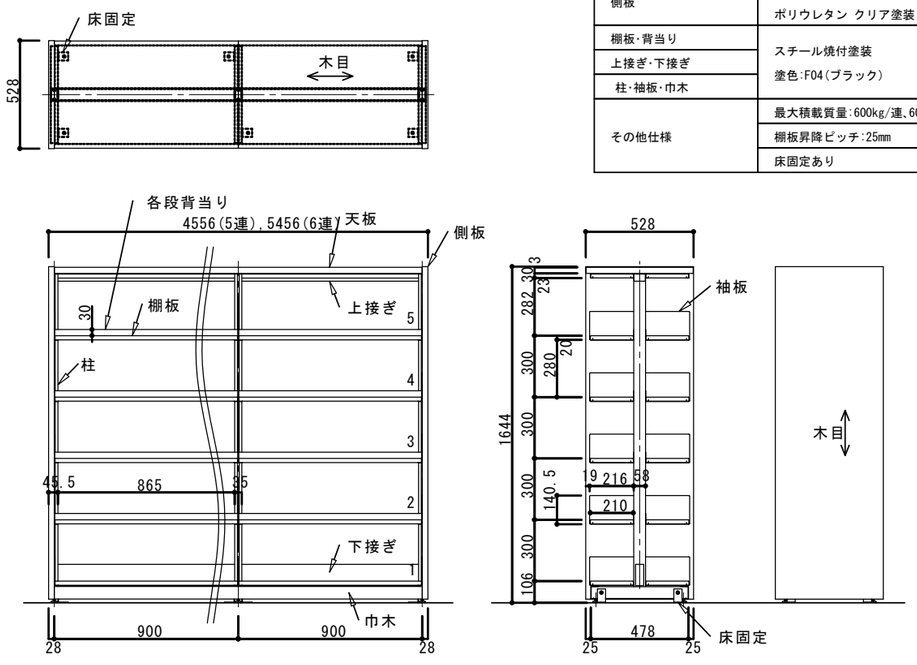
2 木金書架[BIW-23HM]:複式3段4連*5台

天板 側板	ホワイトアッシュ柾目天然木化粧合板 木口同材t3挽板貼り ポリウレタン クリア塗装
棚板・背当り	スチール焼付塗装 塗色:F04(ブラック)
上接ぎ・下接ぎ	
柱・袖板・巾木	
その他仕様	最大積載質量:600kg/連、60kg/段
	棚板昇降ピッチ:25mm
	床固定あり



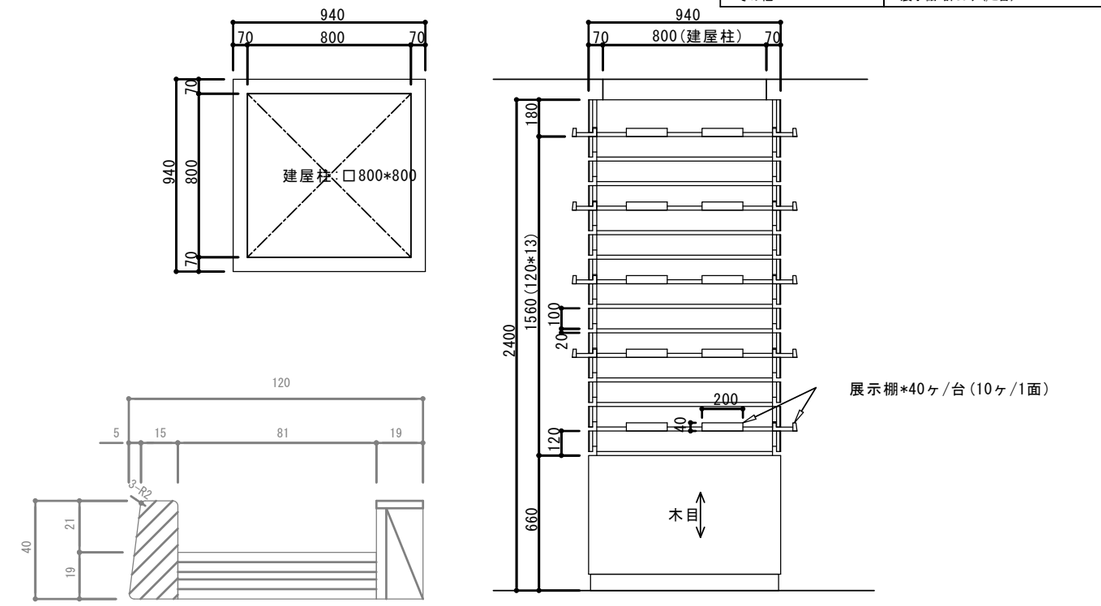
3 木金書架[BIW-25HM]:複式5段5連*1台、複式5段6連*4台

天板 側板	ホワイトアッシュ柾目天然木化粧合板 木口同材t3挽板貼り ポリウレタン クリア塗装
棚板・背当り	スチール焼付塗装 塗色:F04(ブラック)
上接ぎ・下接ぎ	
柱・袖板・巾木	
その他仕様	最大積載質量:600kg/連、60kg/段
	棚板昇降ピッチ:25mm
	床固定あり



4 柱巻き展示架*2台

本体	ホワイトアッシュ柾目天然木化粧合板 木口同材t3挽板貼り ポリウレタン クリア塗装
その他	展示棚:計80ヶ(/2台)



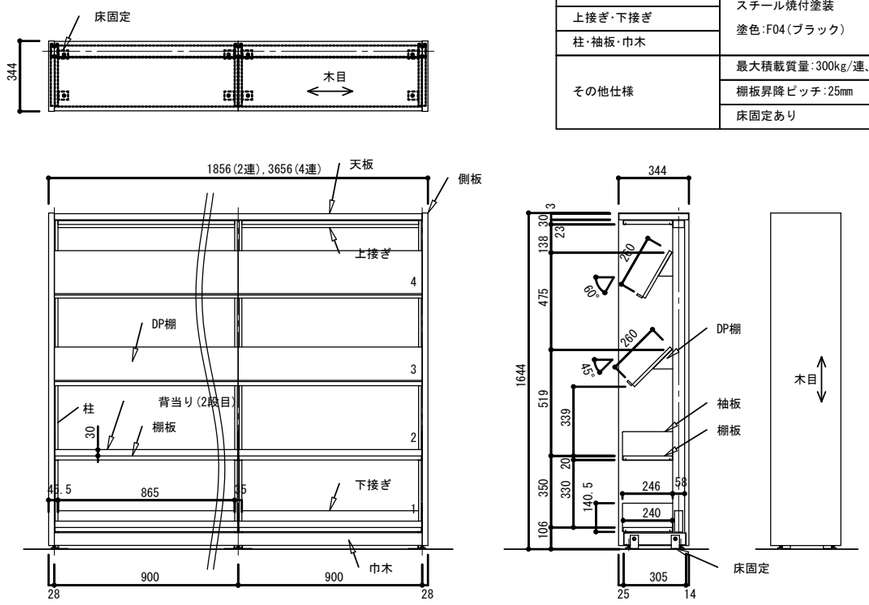
1級建築士登録大臣第350116号
野田 直広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
図名	書架・家具姿図(1)	縮尺 A1:1/15 A3:1/30	A/48 意・構・電・設	令和8年 月 日				

株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠

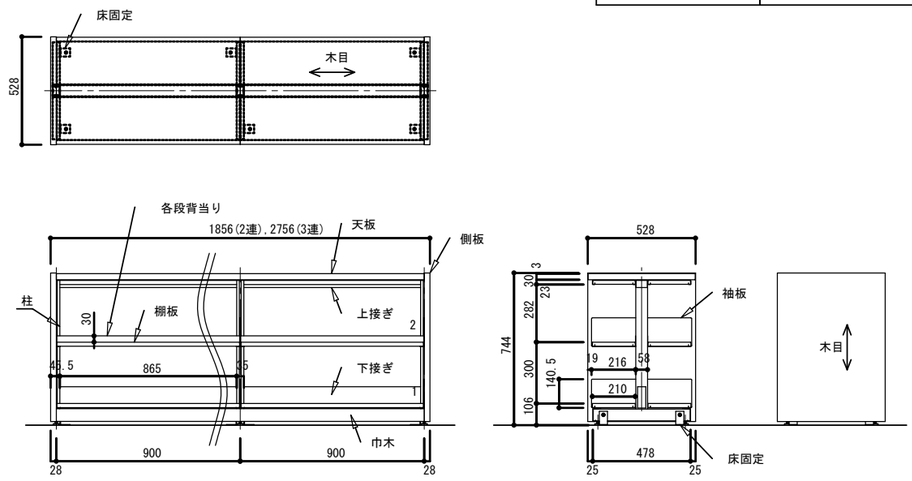
5 木金雑誌架[BDO-16L'(側･天板付)]:単式4段2連*2台、単式4段4連*5台

天板 側板	ホワイトアッシュ柾目天然木化粧合板 木口同材t3挽板貼り ポリウレタン クリア塗装
棚板･DP棚･背当り	スチール焼付塗装 塗色:F04(ブラック)
上接ぎ･下接ぎ	
柱･袖板･巾木	
その他仕様	最大積載質量:300kg/連、10kg/段
	棚板昇降ピッチ:25mm
	床固定あり



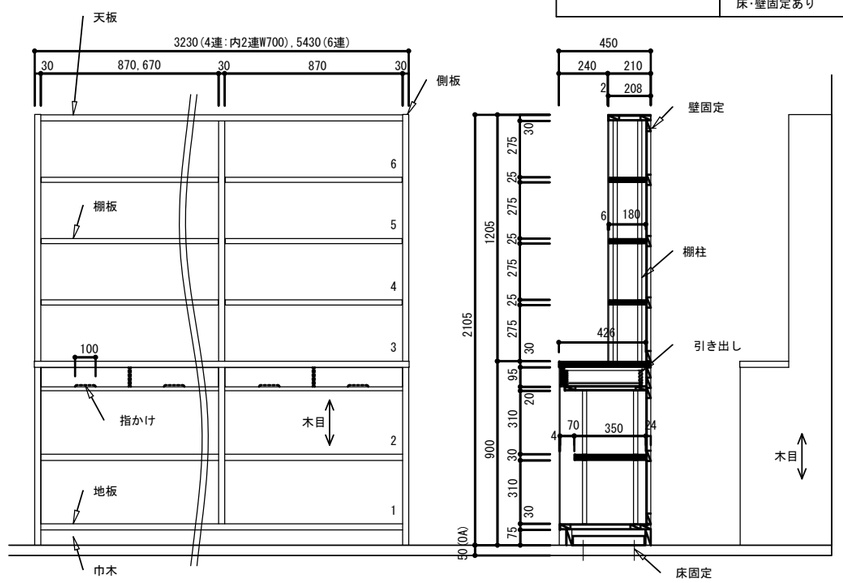
6 木金書架[BIW-22HM]:複式2段2連*1台、複式2段3連*4台

天板 側板	ホワイトアッシュ柾目天然木化粧合板 木口同材t3挽板貼り ポリウレタン クリア塗装
棚板･背当り	スチール焼付塗装 塗色:F04(ブラック)
上接ぎ･下接ぎ	
柱･袖板･巾木	
その他仕様	最大積載質量:600kg/連、60kg/段
	棚板昇降ピッチ:25mm
	床固定あり



8 カウンターバック棚[KBR-162] 単式6段4連(内2連W700)*1台、単式6段6連*2台

本体	ホワイトアッシュ柾目天然木化粧合板 木口同材t3挽板貼り ポリウレタン クリア塗装
その他	棚柱:SUS,12.5mmピッチ
	引き出し:スライドレール
	床･壁固定あり



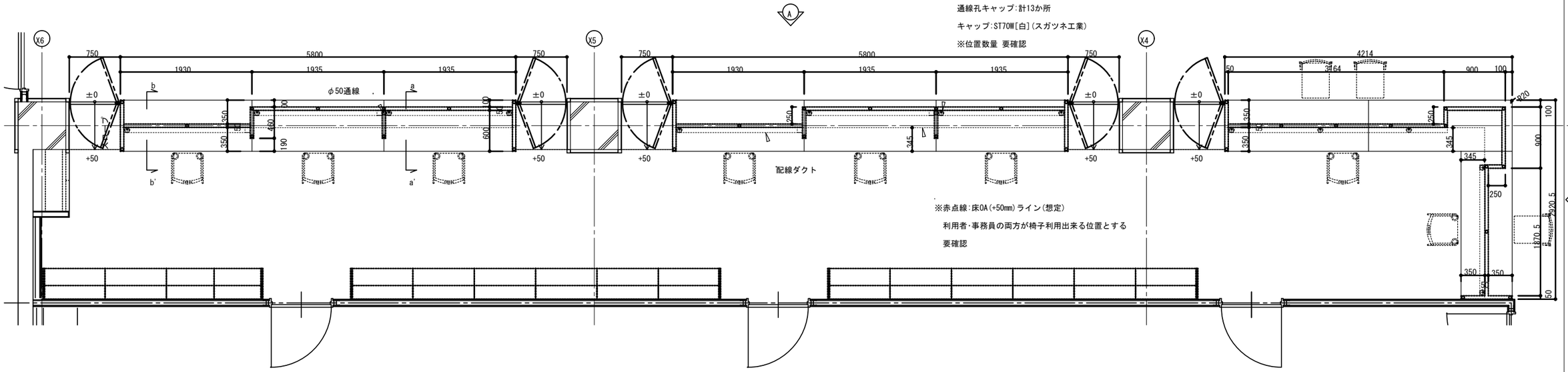
1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

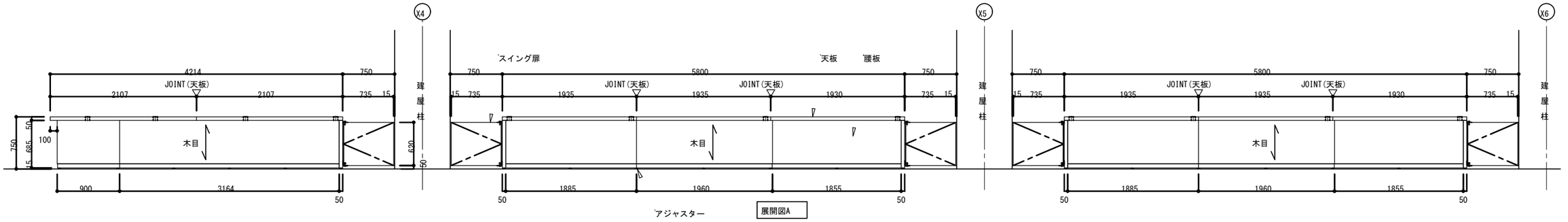
工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	担当	部長	担当	設図
		A/49	意・構・電・設	令和8年 月 日				
図名	書架・家具姿図(2)	縮尺 A1:1/15 A3:1/30						

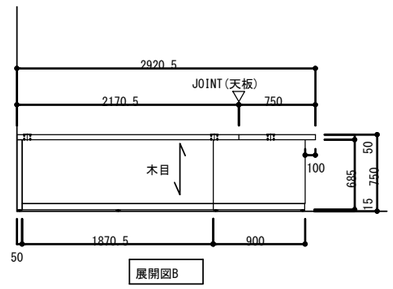
株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠

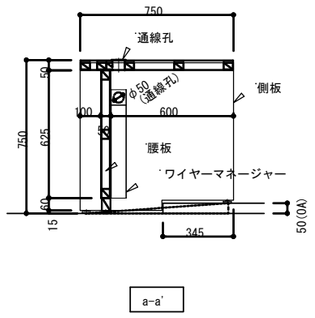
7 受付カウンター *3台

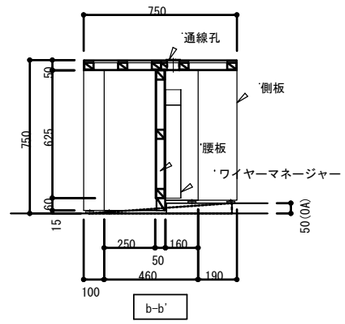
天板	天板上面:メラミン化粧板(木合わせ・下地2枚貼り)
腰板	その他:ホワイトアッシュ柾目天然木化粧合板
スイング扉	木口同材t3挽板貼り
	ポリウレタン クリア塗装
その他仕様	通線孔キャップ:スガツネ[ST70W(白)]
	アジャスター:イシグロ[A110-40]









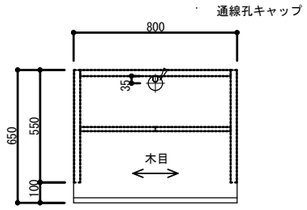


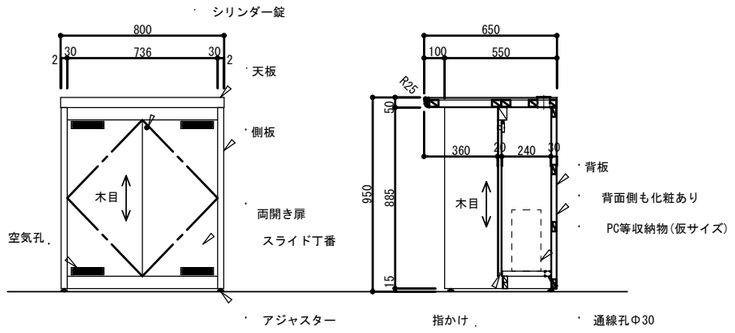
1級建築士登録大臣第350116号
野田 廣広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	担当	部長	担当	製図
		A/50 意・構・電・設	令和8年 月 日				
図名	書架・家具姿図(3)	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号			
				1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠			

9 木製利用者端末台(検索台)*3台

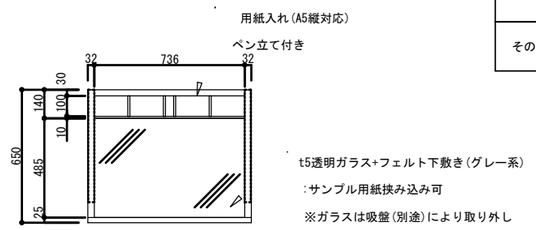
天板 側板 背板	ホワイトアッシュ柾目天然木化粧合板 ※天板上面2枚貼り 木口(天板利用者側) 同材無垢材 (その他) 同材t3挽板貼り ポリウレタン クリア塗装
その他仕様	通線孔キャップ:スガツネ[ST70W(白)]
	空気孔:スガツネ[APK-K 160A-SL] :アルミ製(シルバー)
	シリンダー錠:スガツネ[A-628R]
	スライド丁番:スガツネ[151-D26/0T]
	アジャスター:イシグロ[A110-28]

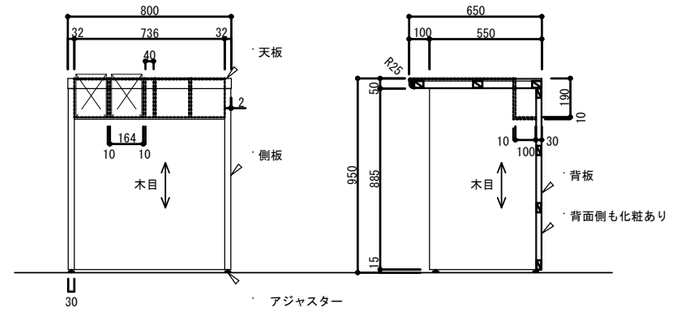




10 木製記載台*2台

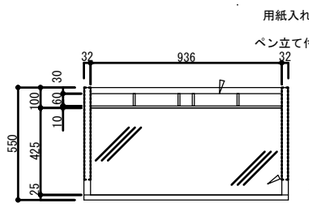
天板 側板 背板	ホワイトアッシュ柾目天然木化粧合板 ※天板上面2枚貼り 木口(天板利用者側) 同材無垢材 (その他) 同材t3挽板貼り ポリウレタン クリア塗装
その他仕様	天板上面 t5ガラス(+フェルト下敷き) アジャスター:イシグロ[A110-28]

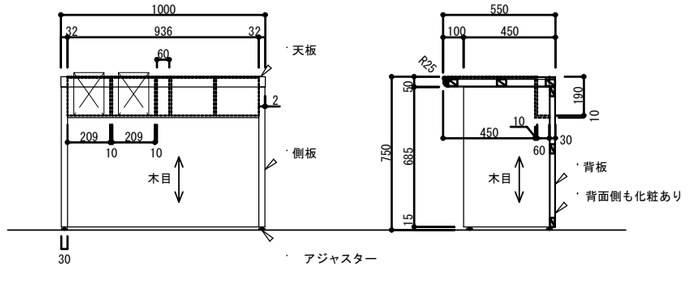




11 木製車椅子用記載台*2台

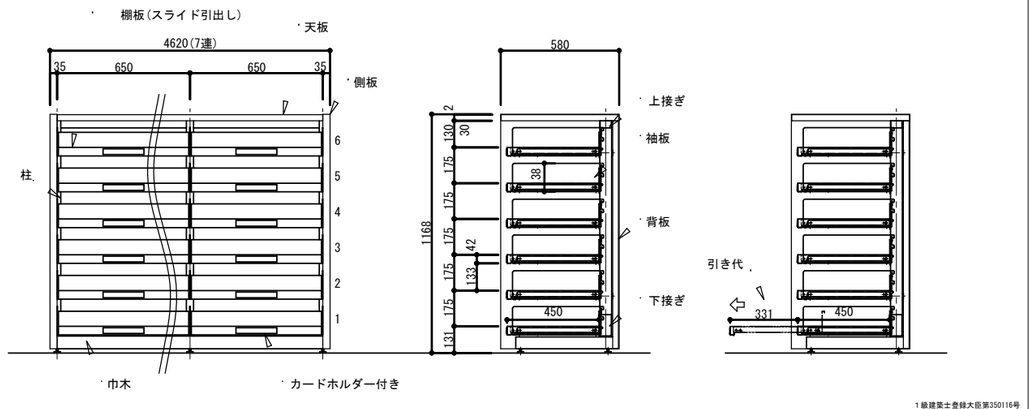
天板 側板 背板	ホワイトアッシュ柾目天然木化粧合板 ※天板上面2枚貼り 木口(天板利用者側) 同材無垢材 (その他) 同材t3挽板貼り ポリウレタン クリア塗装
その他仕様	天板上面 t5ガラス(+フェルト下敷き)
	アジャスター:イシグロ[A110-28]





12 木金新聞架[BIN-142]:単式6段7連*1台

天板 側板 背板	ホワイトアッシュ柾目天然木化粧合板 木口同材t3挽板貼り ポリウレタン クリア塗装
棚板(スライド引出)	スチール焼付塗装 塗色:F04(ブラック)
上接ぎ・下接ぎ	
柱・袖板・巾木	
その他仕様	カードホルダー:PET(t1.0) 無色透明
	各段スライドレール



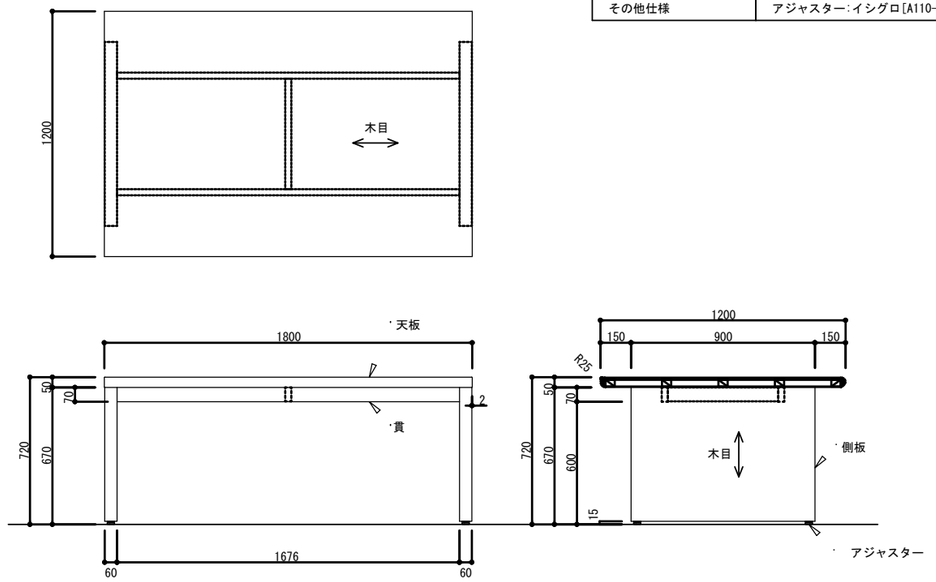
1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図	
図名	書架・家具姿図(4)	縮尺 A1:1/15 A3:1/30	A/51 意・構・電・設	令和8年 月 日				

株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録一福岡県知事登録第1一11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠

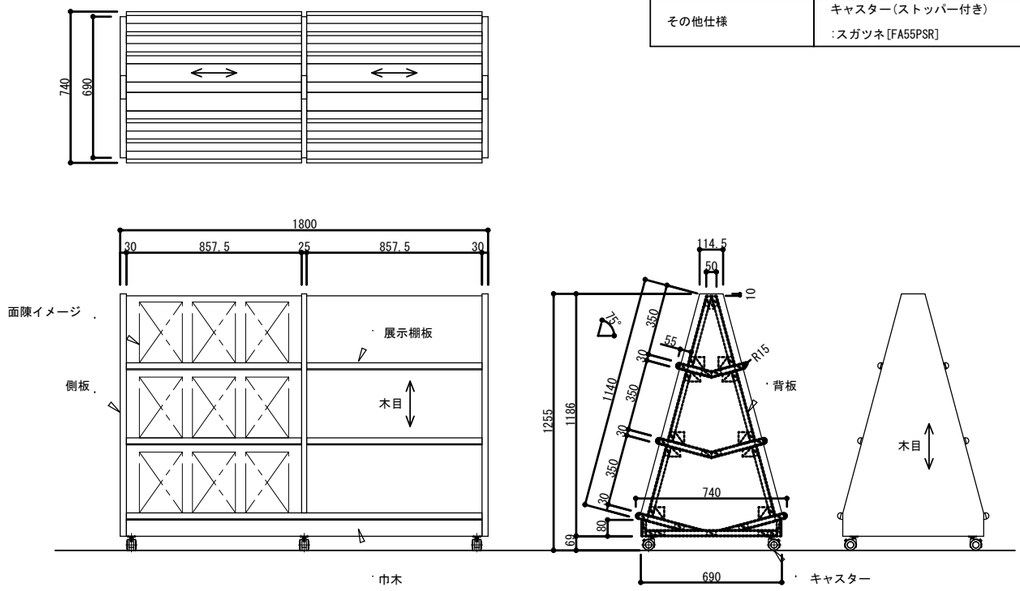
13 木製閲覧机[KFT-214]*2台

天板	ホワイトアッシュ柾目天然木化粧合板 ※天板上面2枚貼り
側板	木口(天板利用者側) 同材無垢材
貰	(その他) 同材t3挽板貼り ポリウレタン クリア塗装
その他仕様	アジャスター:イシグロ[A110-50]



14 木製展示架*5台

側板	ホワイトアッシュ柾目天然木化粧合板
背板	木口(展示棚板) 同材無垢材
展示棚板	(その他) 同材t3挽板貼り
巾木	ポリウレタン クリア塗装
その他仕様	キャスター(ストッパー付き) :スガツネ[FA55PSR]



15 スツール[ボブS(相合家具)]*20台

仕様	
上部	軟質モールドウレタン
脚端	アジャスター
寸法	W490*D490*H450
その他	



16 閲覧椅子[セテス(相合家具)]*36台

仕様	
上部	ポリプロピレン
脚部	ビーチ材 ウレタン塗装
脚端	樹脂パーツ
寸法	W470*D490*H800(SH440)
その他	スタッキング可(4台)



17 閲覧椅子[フォーゲル(相合家具)]*11台

仕様	
上部	軟質モールドウレタン
脚部	アッシュ材 ウレタン塗装 受座回転式
寸法	W920*D690*H785(SH420, AH595)
その他	



1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	設図
		A／52 意・構・電・設	令和８年 月 日				
図名	書架・家具姿図(5)	縮尺 A1:1/15 A3:1/30	株式会社 手島建築設計事務所				

１級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号
１級建築士登録大臣第280194号 手島 誠

18 閲覧椅子[ルシェ･H WD(相合家具)]*20台

仕様	
上部	成型合板芯
脚部	ホワイトアッシュ材 ウレタン塗装
脚端	セレクトプラパート
寸法	W465*D505*H805(SH450)
その他	



19 閲覧椅子[バインダーアッシュ(相合家具)]*10台

仕様	
フレーム	ホワイトアッシュ材 ウレタン塗装
脚端	セレクトプラパート
寸法	W460*D540*H790(SH455)
その他	スタッキング可(3台)

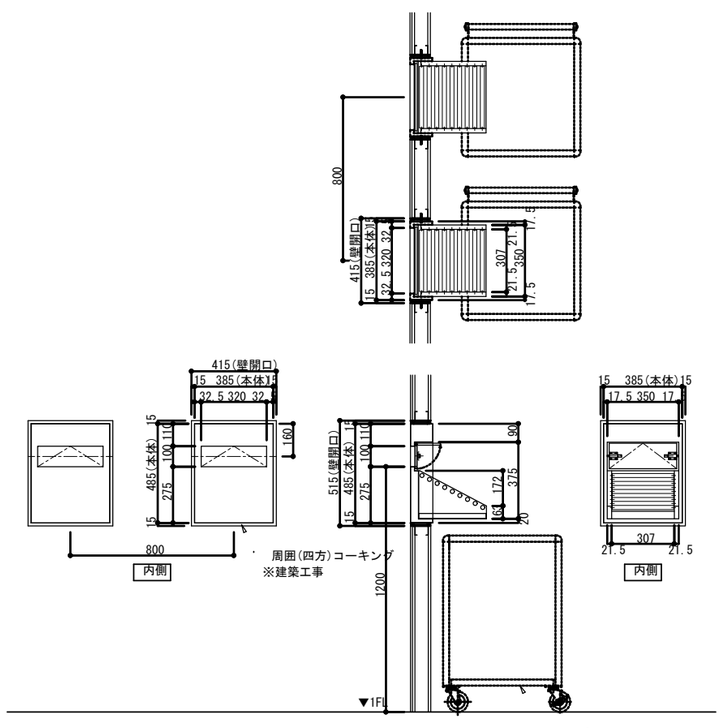


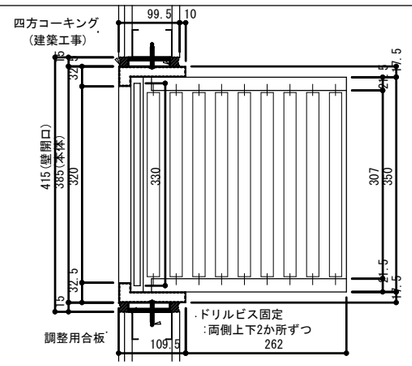
20 事務用椅子[UELA2-300P-WS]*8台

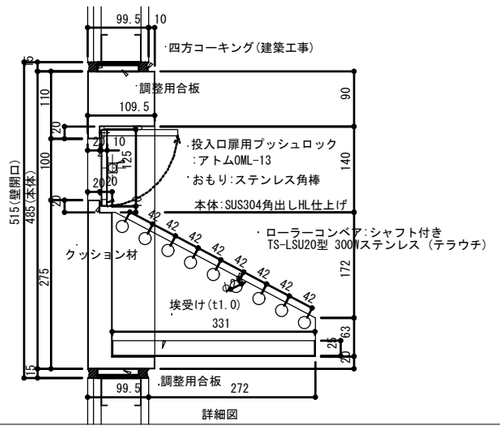
仕様	
座部	モールドウレタン 布張り
寸法	W(φ)647*D557～607*H880～970
その他	肘なし､キャスター付き



21 ブックポスト*2台



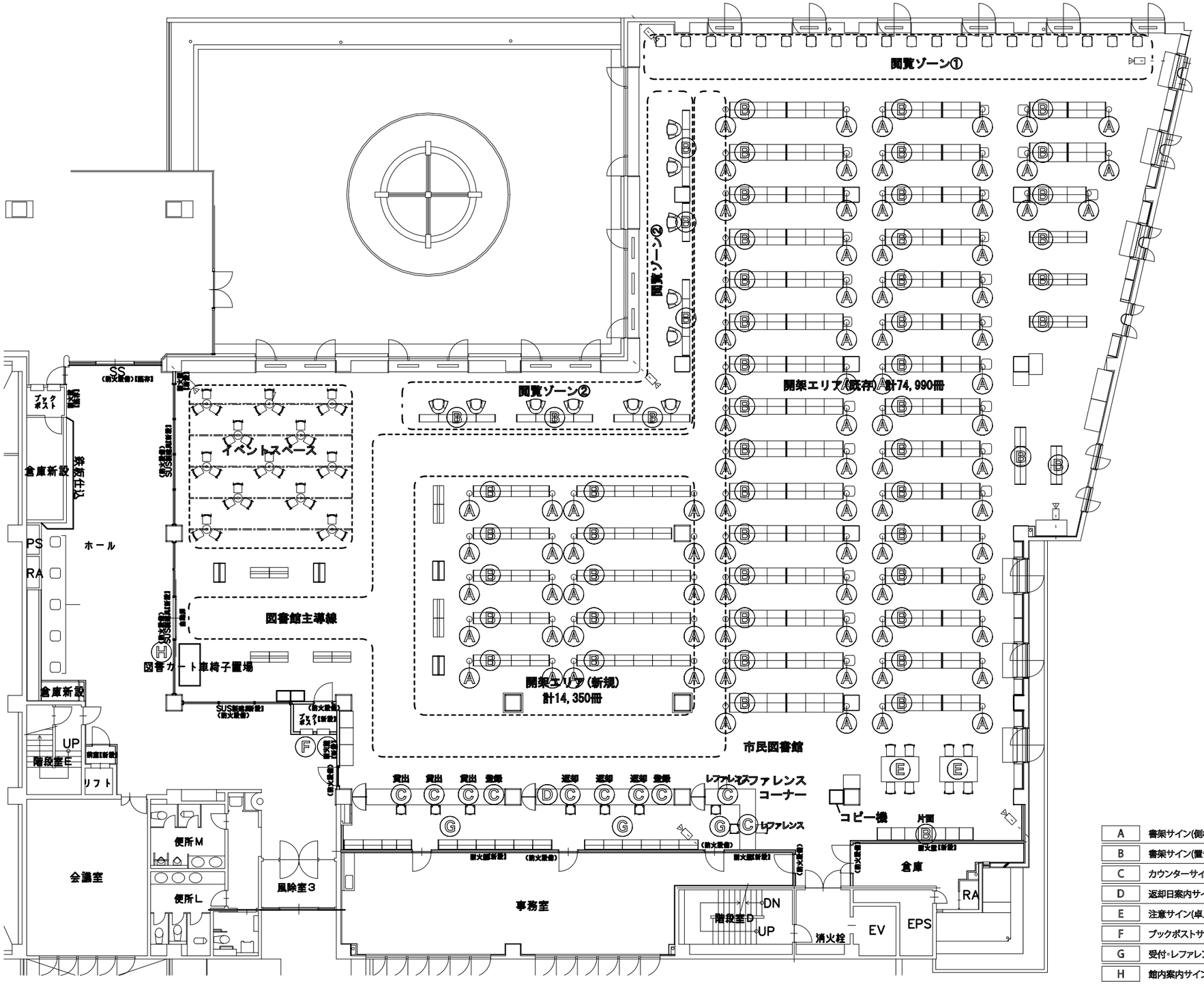




1級建築士登録大臣第350116号
野田 直広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
		A／53 意・構・電・設	令和８年 月 日				
図名	書架・家具姿図(6)	縮尺 A1:1/15 A3:1/30					

株式会社 手島建築設計事務所
1級建築士事務所登録一福岡県知事登録第1一11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠



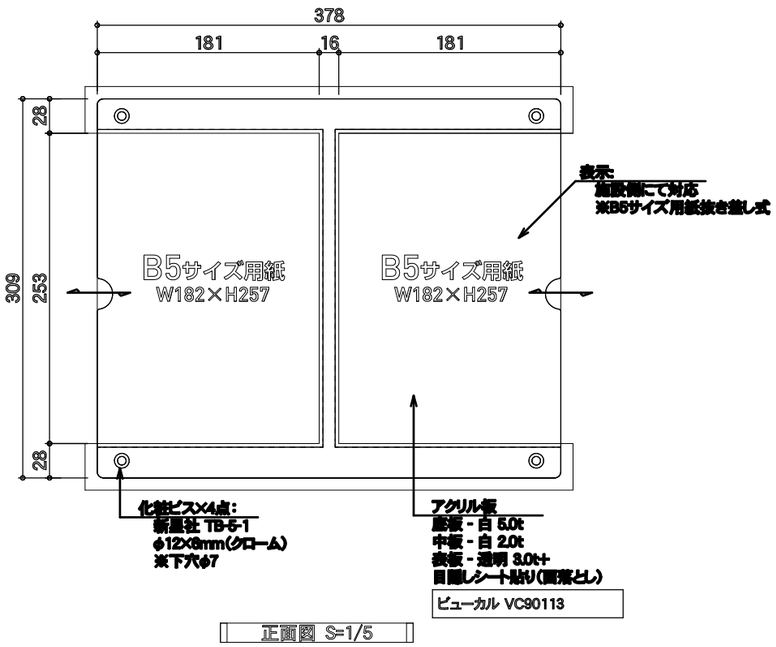
A	書架サイン(側板取付用)		86ヶ所
B	書架サイン(置き型)	□両面表示タイプ×54カ所 □片面表示タイプ×1カ所	55ヶ所
C	カウンターサイン(卓上型)		10ヶ所
D	返却日案内サイン(卓上型)		1ヶ所
E	注意サイン(卓上型)		2ヶ所
F	ブックポストサイン		2ヶ所
G	受付・レファレンスサイン(天吊型)		3ヶ所
H	館内案内サイン(出入口ガラス面)		1ヶ所

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

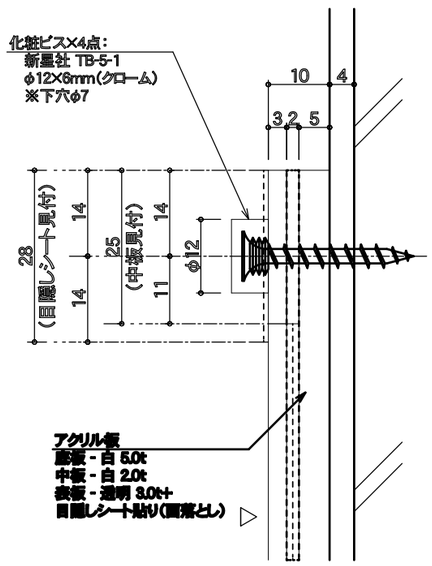
工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	設図
		A／54 意・構・電・設	令和8年 月 日				
図名	改修図 サインキープラン	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	株式会社 手島建築設計事務所				

1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号
1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠

サイン記号	A	サイン名称	書架サイン(側板取付用)	数量	86ヶ所



正面図 S=1/5

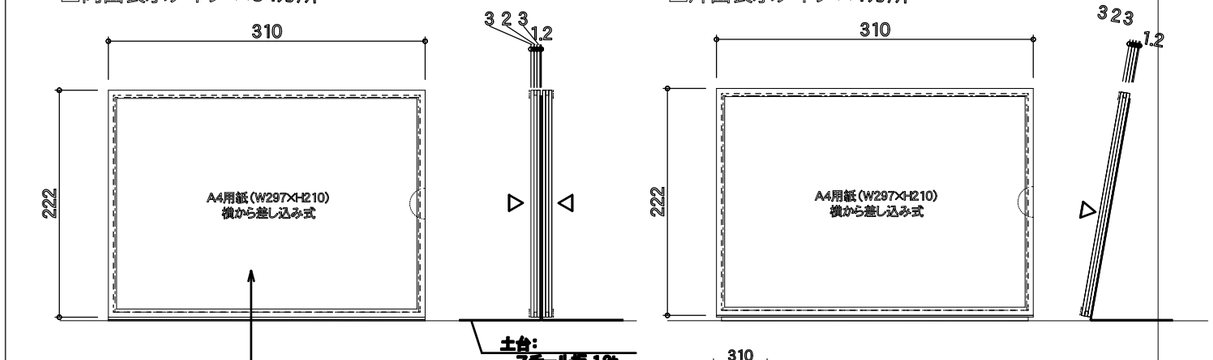


側断面図 S=1/1

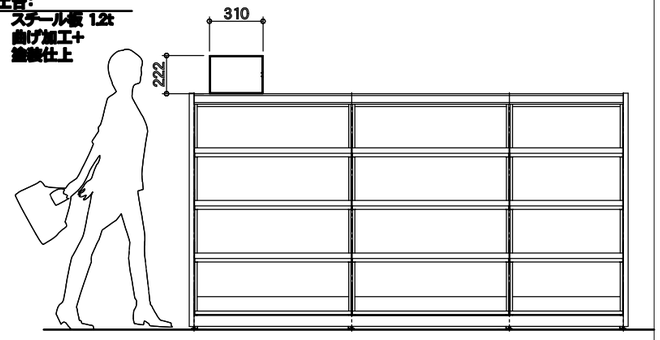
サイン記号	B	サイン名称	書架サイン(置き型)	数量	55ヶ所

□両面表示タイプ ×54カ所

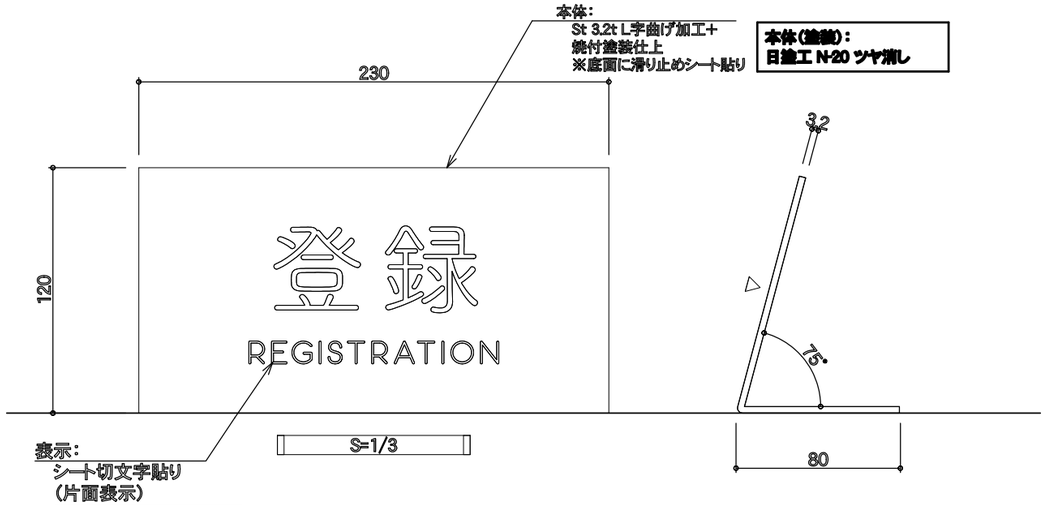
□片面表示タイプ×1カ所



S=1/6



サイン記号	C	サイン名称	カウンターサイン(卓上型)	数量	10ヶ所



S=1/3

貸出×3ヶ所



返却×3ヶ所



登録×2ヶ所

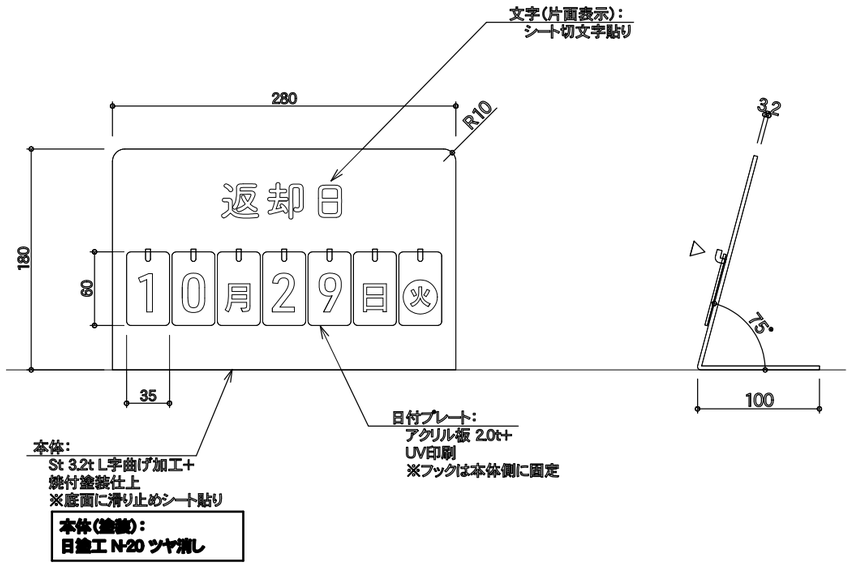


レファレンス×2ヶ所



S=1/10

サイン記号	D	サイン名称	返却日案内サイン(卓上型)	数量	1ヶ所

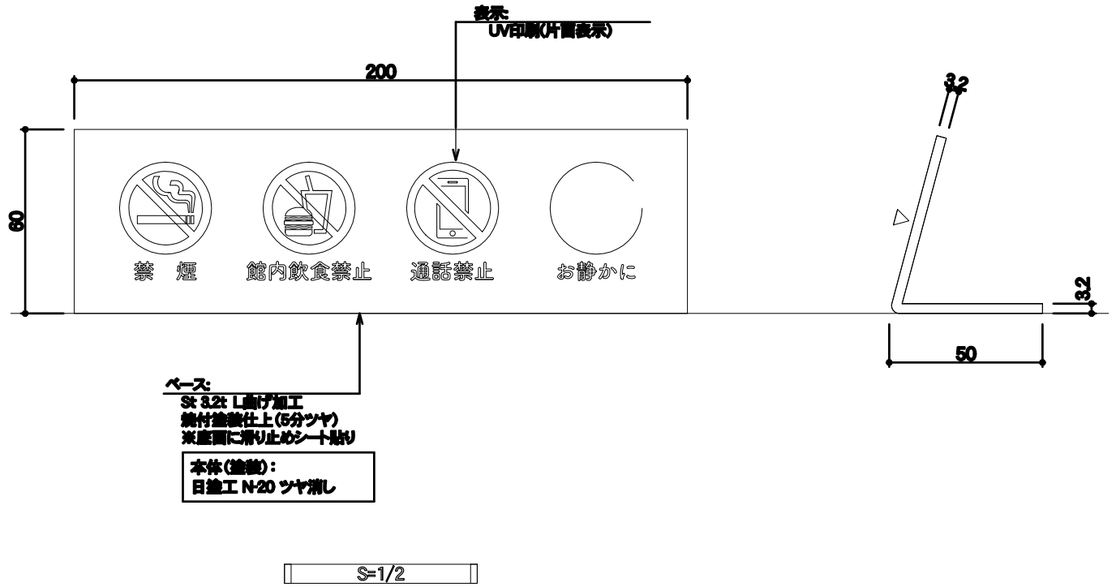


S=1/5

1級建築士登録大臣第350116号
野田 康広

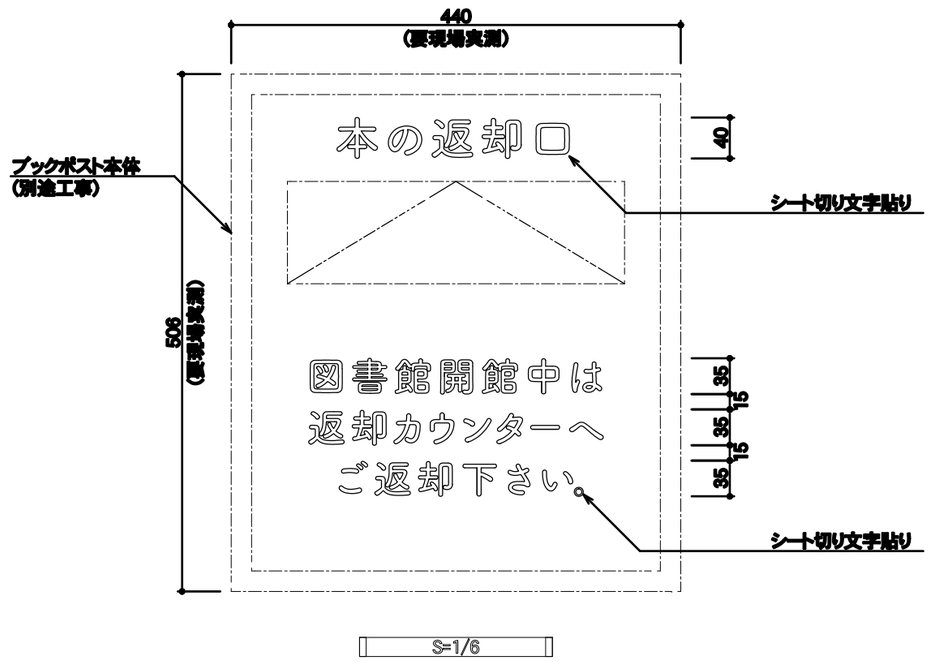
工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
		A/55 意・構・電・設	令和8年 月 日				
図名	改修図 サイン詳細図 (1)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録ー福岡県知事登録第1ー11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠			

サイン記号	E	サイン名称	注意サイン(卓上型)	数量	2ヶ所

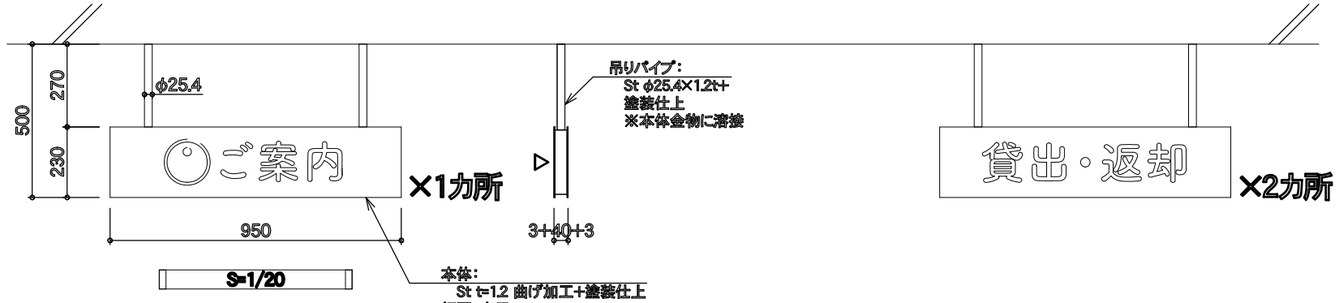


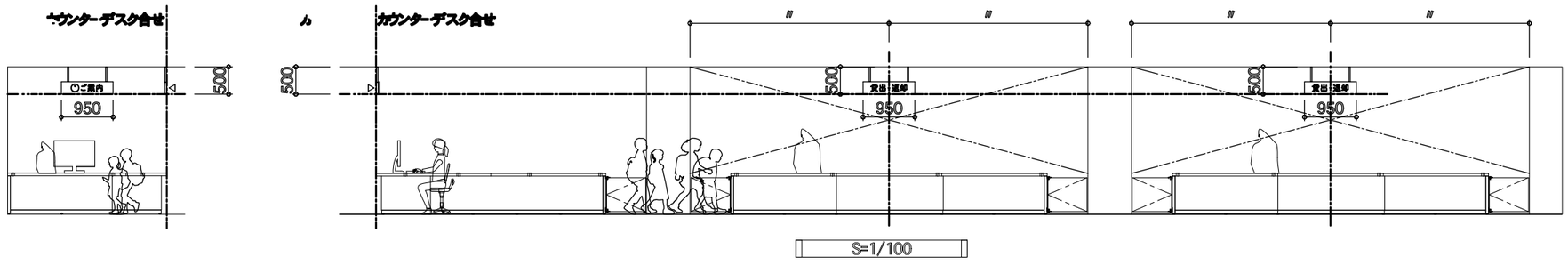
サイン記号	F	サイン名称	ブックポストサイン	数量	2ヶ所

※サイズについては現場実測の上決定とする。



サイン記号	G	サイン名称	受付･レファレンスサイン(天吊型)	数量	3ヶ所

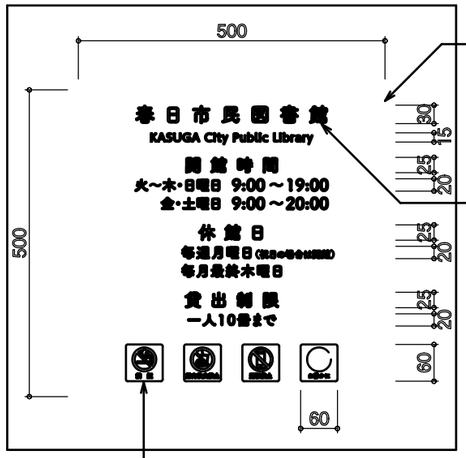




1級建築士登録大臣第350116号
野田　康広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号		日付	照査	部長	担当	製図
		A／56	意・構・電・設	令和８年　月　日				
図名	改修図 サイン詳細図(2)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号　手島　誠				

サイン記号	H	サイン名称	館内案内サイン(出入口ガラス面)	数量	1ヶ所

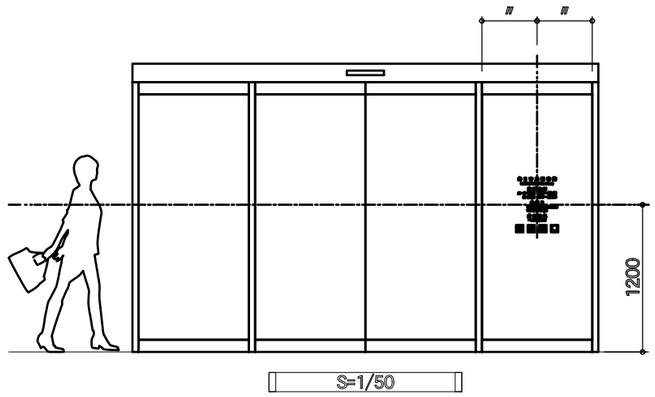


ベース:
スリガラス調シート貼り
(中川ケミカル C-718 サンドホワイト)
(裏貼り)

表示:
シート切り文字貼り
(表貼り)

注意事項表示:
インクジェットシート貼り
(表貼り)

正面図 S=1/10



S=1/50

1級建築士登録大臣第350116号
野田 廣広

工事名称	(仮称)地域共生交流施設整備工事	図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
		A／57 意・構・電・設	令和８年 月 日				
図名	改修図 サイン詳細図(3)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録－福岡県知事登録第1－11499号 1級建築士登録大臣第280194号 手島 誠			